

特⁵⁴
用適書科教定國

教科書研究會編纂

第三學年
前期用

高等
小學
六學科通解

東京

嵩山堂發行

193

2x-5

第三學年前

緒言

一、本書は國定教科書により高等小學校生徒の自
 宅復習の助けに資せんがため編せしものなり思ふに優
 秀なるものは、しばらく措き普通の生徒は兎角自宅復習の際
 に臨み或は音訓意義の明かならざるものもあり或は全
 く忘れたるもの若しくは欠席して教を受けざるなどの
 箇所も多かる故に教師より「歸宅セバ復習セヨ」この
 嚴命も實に背むかんににはあらねど如何にせん讀むに
 も讀めず調ぶるにも調べ得ずして只苦しむもの、數多
 き事は編者の多年實驗せる所なり偶々家庭にさるべき
 人ありて教を請ふことを得るものは格別なれども其便
 なきものは如何ともなしがたく憐れにも又無理ならぬ

内交

◎緒言

事どもなり此著は此等の生徒を教はんこの微意に外ならざるものなり。

二、本書は單に音訓のみに止まらず専ら事實の解釋を主とせり例へば「鐵道ヲ通ズ」とあるは「鐵道ガ通ッテナル」と解すれば字面の意味は、つくせるも只其れのみにては何等の益もなければ「何々鐵道ニシテ何レヨリ何レニ通ズル何哩ナリ」と云ふが如く其事實を載せたり又其文字のみにては、さる意味なきも前後文章の續き合ひにて自から或意味を含めるものは、あながち字義のみに拘泥せざるもの多し

三、傍訓又は解釋するにあたり字音は主として同假名遣ひ法によれども其他は成るべく發音の儘を用ひ必ずし

第三學年前

第三學年前

も假名遣ひ法によらざるもの多し例へば苗ナヘを苗ナエと訓めるが如し

又解釋には成るべく漢字を省き假名を用ひたる爲め其文句の長きものは甚だ読み難き恐れあり、されは地名人名又は其他の名詞には、まゝ平假名を用ひたるものあり又句點も殊更に多く用ひたる所尠ならずこれ生徒の読み易きを主とせざるがためなり

四、本書は六學科通解と題せるも書き方は國語科中の一つにして一學科には、あらざるも見分け易きを主とし此くは名づけ、たるものなれば深く咎むることなかれ

五、修身地理歴史の三學科は各上欄に問題を掲げたり、これ生徒等の記憶は漠然として要領を把握し得ざるも

の多ければ、これを指示せると共に復習の便を與へんが爲なり

六、讀本にては新字及び須要なる文字語句を書取らしめんが爲めに上欄には其問題を掲げたり但し其方法は平假名の部分を漢字に改めしむるものなり

七、習字科にては執筆法、永字八法、八病等の圖解を掲げ尙上欄には習字上の諸注意を載せたり常に會得して、なほざりに、せざらんことを要す

八、算術科に於ては小學校令施行規則、各學年配當表に基き諸法の解説、運算法及び練習問題三百餘問を掲げ且つ終りに答數、解式、運算等を加へ尙上欄には注意すべき要項を載せ最も自習の便を計れり

二學年以上に於ける比例は分數式、比例式など各地、各校區々に涉れり由て本書には其何れにも適用せしめんがため一問の下に(分)(比)兩様づゝの算式を加へたり二學年以上には各珠算九々表を附録す
一學年に於ける貨幣の各種及び尺度の圖は何れも實物を寫せるものにて想像畫にはあらず此れ本書の特に意を用ひたる所なり

九、本書は各學年の始め四月より九月末にいたる前半期分にして其十月より翌年三月にいたるの課程は更に後期分として別冊とす

十、本書は教科書の發行豫定より後れし等のため短日月匆々の際に編纂せるものなれば杜選の點も尠なからざ

るべし此等は再版の期を待つて改竄訂正する所あらん
明治三十七年三月

編 者 識 す



第三學年前

第三學年前

高等小學 六學科通解

第三學年前期用

目 次

高等小學	修身書第三	自第十四課	解釋及問題
高等小學	讀本五	自第二十課	解釋及書取問題
高等小學	書キ方手本上	自第三十三葉	解釋及筆法
小學	地理二	自第三	解釋及問題
小學	日本歴史二	自第十	解釋及問題
算術	珠算割リ聲表	自繁分例	解釋及問題二百十二問

高等小學科通解 第三學年前期用

教科書研究會編纂

高等小學修身書第三

家庭における心得

第一課 家族

復習問題

- 汝等ノ幸福トハ如何ナルコトヲイフカ、
- 幸福ヲ得ルノ工夫ハ如何、
- 家族ハ國家ノ基ナリトハ如何ナルコトカ、
- 國ト家トノ關係ヲノベヨ、
- 汝ノ常ニツトム

<p>高等小學修身書第三 家庭における心得 第一課 家族</p>	<p>親子兄弟 トアニ、オ トウト、</p> <p>姉妹 ア子、イ モウト、</p> <p>親睦して シタシミ、 ムツマシク</p>	<p>生活 スギハ</p> <p>幸福なり コト、</p> <p>家族の人人 一家ノ 中ノ人</p>	<p>助け 繁榮 ハフコト、</p> <p>心づくべし 心ニツスレヌ、 イニ、セ子バナナ</p>	<p>家業に勉励し イヘノシエトニ、 セイダスコト、</p> <p>無益の費用をけ ム、</p>	<p>ぶきムダナ、イリヨ ーチャメテ、</p> <p>正しき方法 ホーホー シカタ、</p> <p>家を富 イヘ</p>
--	--	--	--	--	--

●格言ノ解チアゲ
ベキコトハ如何
ニ

●養育ノ恩チ受ケ
シ人チ述ベヨ、
●父母ト同ジク愛
敬スベキ人ハ誰
カ、
●子タルモノ、盡
スベキ道ハ何ニ

●親チ安ンセシム
ル工夫ハ如何、
●格言チ解セヨ、

●友愛ノ道トハ如
何ナルコトカ、
●年長セシ人ト、
長セザル人トニ
關スル心得、

ます、ことイヘンシンダイ、
チ、フヤスコト、
●國家の基にして、クニヤ、イヘ

テ、
●家家の風儀、
シキタリサホウ、
おのづからニ、

●善良なる家風、
ナラハセ、
必要ナコト、
格言テホント

ナル、コ
●家ことのふて國治る、
イヘガ、ユクト、ノヘバ、
國モ、シセンニ、ユク、チサ

マルコ

第二課 孝行

●養育を受け、
ラレ、コト、
成長するものなれば

オホキクナル、
●恩を思はざるは、
ハナイモノハ、
心得違

なり、
心を安んぜざるべからず、
アンシン、シナケ

しからざる行、
シカダ、
從順にして、
オトナシク、ス

第三學年前

第三學年前

●に從ひ、
イヒツケニ、シ
愛敬の念を失ふべからず、
イ

シ、ウヤマフ心チ、ナ
●行を慎み、
身ノ、オコナイカタチ、
身を

立て、
出世、
家を興し、
家チトマシ、名

ユイユイノ、シ
●父母ノ恩ハ山ヨリモ高ク海ヨリモ

深シ、
チチハハノ、ゴオンハ、山ノ高イコト、ヨリモ、マダ、高
ク又海ノ、フカイコトヨリモ、ナホフカイト云フコト、
●孝ハ

●親チヤスズルヨリ、
大ナルハナシ、
ユイユイチス
ルノハ、親

チ安心サセルヨリ、
ウエナコトハナイ、

第三課 友愛

●友愛の道をつくし、
兄弟ハ互ニ、ダスケアヒ
●悲しきこ

こ慰むべし、
安心スルコト、
●年齢も長じ、
年モオホキ

三

- 兄弟ハ両手ノ如シトハ如何
- 友愛ニ關スル格言ヲ擧グテ之ヲ解セヨ

慮もすぐれチエモ考(カシ)ヘ、いたはりカアイガ、模範モバンと、
 テホン 幹ミキよりホノモトトナル、フ、名譽メイヨを全マツクふしホマレチ、オ
 トサ、ナイヨ
 トニスルユト 心ココロわくべしキチツクチ、兄弟ケイテイハ両手ヨウテノゴ
 トシ 兄弟ケイテイハニホンノ、
 手テノヨイデアアル、

第四課 祖先

- 古來我國ノ美風ハ、如何ナルコトカ
- 祖先ニ對スル心得ヲ述ベヨ
- 祖先ノ祭チ、オロンカニスルコトアラバ、如何ニスルカ

祖先ソゼンを敬レイヤふはセンツチ、マイセ 古來コライノ美風ビフイなりカム
 シカラノヨイナラ ハセデ、アルユト、子孫ソソンに傳ツクへざるべからず子ヤ、マゴ
 カチバ 名ナを汚ケガさざる名チ、ヨゴサナイ、業ギョウを勵ハゲ
 ランナ 名ナを汚ケガさざるヨイニ、スルユト、業ギョウを勵ハゲ
 みシゴトチ、セ 家産カサンを保持ホシしツマデモ、モツユト、家カ
 イダスユト、
 産サンを破ヤブる家ノシンダイチツツ、シマウユト、

第三學年前

第三學年前

第五課 親族

- 親族ニ對スル心得如何
- 親族ト親族トノ間ニテ、尤モ大切ニスベキ事ハ如何
- 親族中ニ不時ノ災オユラバ、如何ニスルカ
- 格言ヲ擧グテ之ヲ解セヨ

貧ヒシしき親族シンゾクなりピンボーナ、シンてバクシヤトテ、 賤イオンむイオン、こイオンなイオン
 かれ 依頼イヤライするハ、ナリマセン、、 困難コンナンす困ナン
 るキヨリヨク、こオコ起オコらばデキタナラバ、 協キヨリヨク力リキしてカチアハ、 不フ時ジ
 の災厄サイヤクにあフはばフイノ、ナンギニ、、 かカうウむムらラしシむムる
 カケルヨ
 ナユト、 禮儀レイギをおオるカにカすスべベかカらラずギヨイギチ
 シテハ、 親シンシシキキナナカカニニモモ禮儀レイギアリナカノヨイ、中ニモ
 ナラソ、
 イカカイガ、デキテ、十分ニシタシムユトガ
 ナイト云フ、イマシタノユトハザデアアル、

第六課 主人と奴婢

- 奴婢ヲ使フノ心得如何
- 奴婢ノユシアシ

奴婢ボウヒを苛酷カコフに使ツカふはオトコシヤ、オナゴシ、 過失カシツを責セ

- ニヨリテ、一家ニウクル利害ヲ述ベヨ、
- 世ニハ、職工共ニ酷ニ扱フ人アリ汝等如何ニオモフカ、
- 僕婢トシテ、主人ニ對スル心得ヲ述ベヨ、
- 格言ヲ擧ゲテ之ヲ解セヨ、
- 社會ニ生活スルモノノ、心得ベキコトハ如何、
- 社會ニヨリテ、

むる、ことなかれ アヤマチヤ、ソツイチ、シカ つこめし

む セイイチ、ダサセル 無理をいひかくる サ、コト

こ、なからしめよ、 ムリナコトヲ、云ヒ、カケル、ヨ 從順 ジユイジユン

にして忠實なるを要す オトナシク、スナホニシテ、シンセツニ、ヨクハタラカチバ、ナラン、

そしる ワルクチ はかる、こと シヨト、オ 良主ノモ

トニ良僕あり ヨキシユジンノ、モトニハ

社會における心得 シヤカイ

第七課 社會 シヤカイ

社會一般 便益を受く ベンリデアツテ、リ つこめを

有す ツクサチバ、ナラ 共同なり キョウドウニ 人人ト共ニユトチ、 ソノ 習慣 シヤカイ

第三學年前

受クル利益ヲノベヨ、

- 朋友ノ大切ナル理ヲノベヨ、
- 朋友ニ交ルノ、ミナチノベヨ、
- 人ガヲノ、ヨシアシチシルハ、何ニヨルカ、
- 朋友ニ關スル格言ヲ擧ゲテ之ヲ解セヨ、

ナラハ

各自のためならず メイメイシブノダ

第三學年前

第八課 朋友 トモ

喜あるこそき ウレシキ 朋友 トモ 半を減ず ハンブンハ

大切 ダイセツ 感化力を有す カンガリヲ コユロチ、ウゴカシ、カヘ 交を結びし

らばざるべからず ケチバ、ナラン、

上は ツキアイチ、 かりそめ チヨット 信義にそむく シンギ

べからず ムイテバ、ナラン 一旦 イツ やむを得ざる

相戒め アヘイジ 互ニキチ、ツ ハツ 發達進歩 ハツツシン モノゴトガ、ヨク

水ハ方圓ノ器ニシタガヒ、人ハ善惡ノ友 スイハホウエンノキウニシタガヒ、ヒトハゼンアクノトモ

ニヨル 水ハ圓(ハ)ト、シカクイトノ器ニユツテカワル、ユツテ人モ善キ人ニツキアヘバ、ヨクナリ、悪キ人ニツキアヘバ、ワル

クナルトイ
フコト
善チ責ムルハ朋友ノ道ナリ
セメテ、サセ

第九課 近所の人

近所ノ人トイ
公衆衛生に注意セ
オホセイノ、ナカマニ、
カカツテオル、エイセイ

道路を修繕す
ヒ、ナホスユト、
共同
トモトモ
ニスル、

古語フルイ、
おのれの欲せざるころ
シブンガ、イ
ヤシヤト、オ

人に施すことなかれ人モ、イヤデ、アロート、オモ
サセヌヨニスルガヨ

守らざるべからず
マモラチバ
ここに大切
カク
ベツ

ダイジ、ナ
ユトシヤ、

第十課 他人の身體

第三學年前

第三學年前

他人の身體生命は
ホカノ人ノ、カラダヤ、
重んぜざ

るべからず
オモセツニ、セ
社會の安寧秩序を保ち

かたし
世ノ中ガ、アンシンニ、カミシモ、ノ
殺害せん
コロス

場合には、
防衛のため
フセグ
復讐
カタキ、ウ

暴行を受けしときには
ランポーナル、ユトチ、
相當の

手續
アタリマヘノ
法律の制裁を請ふべし
キソクニ、ヨ
ツテ、サイバ

腕力
ウデダテ
是非曲直を決せん
ヨシアシチ、
サダメヨ、

第十一課 他人の財産

他人の財産ニ對
スル心得如何、
金錢其他ノ物品
ヲ借りタル時ノ
心得ハ如何

他人の所有
他人ノモノ、
侵すべ

●身體ノ防衛トハ如何、
●法律ノ制裁トハ如何、

●他人ノ財産ニ對スル心得如何、
●金錢其他ノ物品ヲ借りタル時ノ心得ハ如何

●他人ヨリ預リタル物品ニダイシテハ如何ニ扱フベキカ

からずトナラン、

詐欺脅迫の手段によりて

チ、モツテ、人ヲオドシツケテ、モノヲトル、シカタニ、ユツテ、トイフコト、

奪ふルコト、

約束セ

し期限 トリキマタル、ト

丁寧にして

損ぜぬ アシク、ナラヌヨ

第十二課 他人の自由

妨げざるかぎり

行動の自由を有す

ウゴキ、ハダラクコト

思想の自由を有す

ツテアル、モ

信仰の自由を有す

イスルコト

信仰を妨ぐべからず

社会の安寧秩序

世ノ中ガ、ヤスラカニ、シユン

第三學年前

第三學年前

第十三課 他人の名譽

傷けざるイヌメナ

嫉妬心

黨派心

ナカマチツク

競争心

復讐の念

トスルコ

私情

あばきて

信用

を失はしめ

人を誣ふる

事實を捏造

クコシラへ、

人を誣ふる

第十四課 謝恩

感謝の心

道にかなへるここに

らずトナイ、

恵まれ

志を空

しうせざる

施シタ恩ハオモフ

●社会ノ、安寧秩序ヲ妨グルトハ如何ナルカ、
●思想ノ自由トハ如何、
●信仰ノ自由トハ如何、

●他人ノ名譽ヲ妨グントスル行爲ハ如何、
●他人チツシリ、又ハ過失チアバキカヘツテ快ト思フ如キハ、如何ナル行ヒカ、

●恩ヲ受ケシトキノ、心得ハ如何、
●恩ヲ施セシトキノ、心得ハ如何、
●汝等今日マデニ恩ヲ受ケシ人チ學グモ、

●恩ヲ受ケテモ忘ル如キ人ハ、如何ナル人カ、
●謝恩ニ關スル、格言ヲ擧ゲ解セ

ナ 人ニ、オノレガ、アタヘタ、オ
ンハ、ワスレテ、シマヘ、
リ、ウケタ、ゴオンハ、
ワスレテハ、ナラン、

受ケタ恩ハ忘レルナ人



第三學年前

第三學年前

書取問題

〔ひらかなを本字に書きなほせ〕

第一課

- よニおろかなル
- おとこアリ、
- てニとルをのガ
- おもシトテ、
- こびき。のこぎ
- り。だいく。てう
- な。
- やねノたかキニ
- おごろキテ、
- たたみ。かぢや。
- のいふ。
- なつノあつサニ
- こまりタリ、
- ユエくさケレバ
- イヤニナリ、
- さね。しめつき。
- かみくづ。

高等小學讀本五

第一課 氣のかげり易き男

愚なる男 <small>オホガ</small>	トイフユト、	そま	山ニ入りテ、キユリ	斧 <small>オノ</small> の
が重し <small>オモ</small>	こて	イフテナリ、	木挽 <small>コ</small>	木ヲ板ナドニ、ヒキ
れど <small>レド</small>	レハ、ツテア	鋸持 <small>ノコギリ</small> つ	木ヲヒクドグノ名	うちす
てステテシマ	ウユト、	今度 <small>コノトキ</small>	大工 <small>ダイク</small> 人 <small>ヒト</small>	家ナドヲ建ツル、職
アラケツリ、シタルモ	ノチ、平ニスル道具、	恐 <small>オソ</small> れて	屋根屋業 <small>ヤチノヤ</small>	ヤチヲフク、シ
きて	ビツクリシ	テナリ、	つこまらず	ツトメガデキン
コシラヘルシゴ	トチスルユト、	鍛冶屋 <small>ガヤ</small>	金属 <small>メタル</small> 諸道具 <small>シヨウドウグ</small> ヲ作ルモノ、	困 <small>コト</small> りたり
ト、職業 <small>シゴク</small> ト、	シゴク	こは臭 <small>クサ</small> ければ	スルユト、	何 <small>ナニ</small> なるぞ

- いやシキ、わざり、トテ、はいシケ
- わかきむかしノおこたりチ
- くイテ、なケドモいかニセン、みハ、ハヤおイテハ、キカズ、ひとノめぐみチタノミニテ、チマタニ、さけヒかごニヒ

- 第二課
- あたいモ、ヤス
- ひと、つつみ、

デアルカ、ト	杵重ければ	紙屑拾賤しきわざ	あーソクスルユトバ	悔いて	老いて	人の恵	命のあはれさま	第二課 分業	ささいユト、
イフユト、	ハ米モナナド	ト、トイフユト、	ソクスルユトバ	ルユト、	年ガユツテ、老	ケノユト、	命チ、ツナイテナル、アリサマノ、	アハレナユトユト、イフユト、	ツツカノ
りつ	米搗見限	ト、トイフユト、	バ	ルユト、	人トナルユト、	ケノユト、	アハレナユトユト、イフユト、	ツツカノ	ツツカノ
しげり	若き昔の怠	ト、トイフユト、	バ	ルユト、	人トナルユト、	ケノユト、	アハレナユトユト、イフユト、	ツツカノ	ツツカノ
を	泣け	ト、トイフユト、	バ	ルユト、	人トナルユト、	ケノユト、	アハレナユトユト、イフユト、	ツツカノ	ツツカノ
ども	泣け	ト、トイフユト、	バ	ルユト、	人トナルユト、	ケノユト、	アハレナユトユト、イフユト、	ツツカノ	ツツカノ
手は	泣け	ト、トイフユト、	バ	ルユト、	人トナルユト、	ケノユト、	アハレナユトユト、イフユト、	ツツカノ	ツツカノ
に	泣け	ト、トイフユト、	バ	ルユト、	人トナルユト、	ケノユト、	アハレナユトユト、イフユト、	ツツカノ	ツツカノ
つな	泣け	ト、トイフユト、	バ	ルユト、	人トナルユト、	ケノユト、	アハレナユトユト、イフユト、	ツツカノ	ツツカノ
の	泣け	ト、トイフユト、	バ	ルユト、	人トナルユト、	ケノユト、	アハレナユトユト、イフユト、	ツツカノ	ツツカノ
第二課	泣け	ト、トイフユト、	バ	ルユト、	人トナルユト、	ケノユト、	アハレナユトユト、イフユト、	ツツカノ	ツツカノ
分業	泣け	ト、トイフユト、	バ	ルユト、	人トナルユト、	ケノユト、	アハレナユトユト、イフユト、	ツツカノ	ツツカノ
一包	泣け	ト、トイフユト、	バ	ルユト、	人トナルユト、	ケノユト、	アハレナユトユト、イフユト、	ツツカノ	ツツカノ
しかし	泣け	ト、トイフユト、	バ	ルユト、	人トナルユト、	ケノユト、	アハレナユトユト、イフユト、	ツツカノ	ツツカノ

第三學年前

第三學年前

- ひどりテ、つく
- やすマズはたら
- ひじよーナ、そ
- マツチノ、せい
- ぞーしよニイッ
- テミル、
- さいもくチ、き
- かいニカケル、
- じくぎチ、ひデ
- かはカス、
- てわけ、くすり。
- おんしつ。かみ
- はこ。
- べつべつノ、し
- ぶんぎよートイ
- フ、
- できたかガタイ
- ツー、おホヒ、
- ひかくニハナヲ

フコ	造る	休まず	働いて	賣
ツて	非常な損	職人	手分	器械
モノチ、ユシラ	職人	職人	手分	器械
軸木	乾かす	乾かす	乾かす	乾かす
マツチノ、クスリノツ	乾かす	乾かす	乾かす	乾かす
ケテナイ、ホソイ木、	乾かす	乾かす	乾かす	乾かす
の	出来	出来	出来	出来
ワカレワカレ	出来	出来	出来	出来
の	限らず	限らず	限らず	限らず
ワレソートイニ	限らず	限らず	限らず	限らず
改めて	大略	大略	大略	大略
ベツダンニ、	大略	大略	大略	大略
兼れたる	場所	場所	場所	場所
ヒトリテ、イロイロノ	場所	場所	場所	場所
時間を費す	一種の仕事	一種の仕事	一種の仕事	一種の仕事
ブスコト、ツ	一種の仕事	一種の仕事	一種の仕事	一種の仕事
手數	手數	手數	手數	手數

●せいぞろいノミニ
 ●かぎラズ、
 ●どけいノかくぶ
 ●ふんチたにんず
 ●たすいにつくル
 ●か
 ●くみたてノかん
 ●せんナルモノ、
 ●たはたチ、たが
 ●やス、
 ●しよーにん。か
 ●んり。せいむ。き
 ●よーい。く。しや
 ●かい。けつ。くわ。
 ●りねきチ、かん
 ●がヘル、
 ●しんたい。さい
 ●の。せいしん。の
 ●はつめい。かい
 ●りよー。きよー。ご
 ●し。ちゆーい。せ
 ●んたい、

身體シニ カラダノ

才能サウ キノコト、

適テキ アフコト、

しぜん

オノツト

精神セイ をこらす

リニ、イレテ、スルコト、

發明ハツ マイマ

ナキコトヲ、考

改良カイ 今マデアリシコトヲ、サ

ラニ、ユクナホスコト、

注意チウイ キヲツケ

全體ゼン ソノコト、

一部イチ ヒトツケブン、

共同キョウ 大ニシテ

心ヤラカシン ヲ

チアハセテ、一

多人數タニ オホクノ、人デ

別々ベツ に造つて

メイ

ニスル

隨意ズイ オモフトホリ、ノ

組み立て

完全カン ケ

タノ、ナ

田畑タハ を耕カ し

カハスコトヲイフ、

家屋カ イヘ

商人ショ 人

アキンド

物品モノ を賣買バイ し

カイ、スルコト、

官吏カン カミノ、ヤ

ニ

ト、

政務セイ マツリ

取扱トリ ひ

教育キョウ オシヘ、ソダ

従事ジュ カカリ、

會社カイ 數人組合スウ ヒテ、商工ショウ ナド

業ギョウ ナ、イトナム所ショ チ、イフ、

考カウ へて

心ココロ を向ける

キチ、ツケ

結果ケツ ナリユキ、

第三課 胃の説諭

胃イ 動物ノ體内ニアル機關キカ ノ名ナル、形、袋ノ

如クニシテ其中ニテ食物シヨク チユナス、

ある時

相談ソウ 談

會カイ 諸君シヨ イフコト、

今日コン ケフ

わざく

お

集アツ り食物シヨク を送オク って

いッ、

手傳テ 傳

ケチス

ルコ

返禮ヘン ノコト、

おなむら

まつたく

ト、

つまらなひ

以後イ コレカラ、

一同ド ミナ

ノ、モノ

ぶしよーもの

ハダラカナイ、モ

こらして

テヤロ

賛成サン した

食シヨク 堂ドウ 食物シヨク チクフ、

ベキ

嗅カ ぐ

報知ホウ シラセル

衰弱スイ ヲツツテ、

鳴ナ り

- みみはなり、めはくらミ、てあしはうごかヌ、それはおほヒナ、ごかいデア、ないぶニゐテ、がいぶハしレナ、しよーカシテ、かもノ、よーニ
- はらはた。ち。ち。
- こころチ、あらたメ、メイメイ、ソノしよくむチおつくシナサイ、かいふく。しよ。く。たれ。

第四課

さばースル、ぶ

ミエヌ、ユ一 ニナルユト、	こんだ、こも	オモイモ、ヨ ランユト、	相談してゐる
ハナシ、ア フテナル	胃が来て	胃カラデテ、キ タユトナリ、	誤解です トリチガイ デア、
外部 ソトガハ	内部 ウチラノ	起 ツタ	大なる誤解
ヒドイ、トリチガ イ、トイフ、ユト、	消化し	ユト、	粥のよーなもの ユ一ナ カユノ
ドロドロシ タモノ、	腸で	チユ一、ノユ トナリ、	乳血 たつしや ユト、
道具 職務を盡す	ツトメニ、シユ一 ン、セイダスユト、	誰 職務を怠る	ツ
マナセヌ ユト、	いちめよう	ユマラセル、 ユトナリ、	心を改め カイシンス ルユト、
説諭した	ユウテキ カセタ、	回復 モトノ、トホリ ニナホスユト、	

第四課 貨幣

貨幣 貨幣ハ金屬ニテ製ス、大判(大判)、小判(小判)、一分、二朱(二朱)ナド、楮圓形(楮圓形)又ハ長方形(長方形)ノモノハ、古ノ貨幣ナリシガ、今ハ

第三學年前

第三學年前

- つびんとこーか
- ソノよーチべん
- そー、ぞースル
- ニあまりアリ、
- ぎよふ。さんり
- ん。おりもの。こ
- め。
- ところ、ところ
- ニほんそースル
- こんなん。ばい
- かい。かへい。も
- 一ひ。なめしか
- は。
- うし、ひつじノ
- かちくチ、もち
- ふルユトアリ、
- ぞーげ。かひが
- ち。さんぎん。
- ちこくトハちが
- ヒテしよーりよ
- 一ニテモ、あた
- い、たかシ、

形ハ圓(圓)クシテ金又ハ銀、銅、につけるニテ造ル、一 定ノ價ヲ定メテ品物ノ賣買ノ便ニセルモノナリ、	用ヒ カヒタルユト、	希望 ホシイ、 ノゾムユト	交換 カヘユト、スルユ
ト、	用チ辨ジ ユ一シチ、トト	種々ノ不都合 シユ イロイロ、 グアヒノワ	
ルイ、	想像 アヘダロト心ニオ モイハカルユト、	漁夫 リユ一シ	魚チ携へ
サカナチ	近隣 トナリノ	タヅネ サガス	織物 木綿、絹ナドノ 織リタルモノノ
フ、	不幸 ハセ、	所々ニ奔走 アチヲ、ユチヲト、ハ シリ、アルクユト、	困難
ナンギノ	ア二人ノタフル、	コトナランヤ	ナント人 ノユラヘ
シノベル、ユトデアラフカ、	イッパンニ希望スル	タレモ、カ レモ、チガ	
シノベルユトデハナイ、	イ、ノヅ	媒介 ナカダチト、	カ、
ムユト、	ヨ一イニ	イフユト、	
ルカユ一	昔ヨリ一定セルニハアラス	昔カラ、貨幣ノ ユトハ、キマツ	

- けいたいスルニモ、ほぞんスルニモ、つごい、ヨシ、さんち、ことナレドモ、かちナヘンズルコトナシ、いざいと、べんりトノベツアリ、たかくナル、しはらひニせいげんナシ、かへいせいスルニ、てきせズ、はくごいか。せいざいごいか。うけとりになんしよ、だくちヘル、ぎんこいけん。やくじい、しよーもん。

テ、チラヌ「貨幣ハ、仁賢帝ノ朝ニ已ニアリタ レトモ、元明帝ノ朝、銀錢ヲ鑄ルトミエタリ、 毛皮ノ毛ヲ取リテ、柔ニ、ナシタルモノナリ、 家蓄イヘニ、カフケ 五穀米、麥粟、 象	牙貝殻人智チヒトノ金銀チ用フ 金銀チ以テ貨幣ト、 スルニ至リシコト、	違ヒテ少量バカリ、價、携帶ルコト、マワ 保存メ、	オクコ 價値チウチノ産地異ナリ ガチガフコト、成分	ニ異同 フタル、ユトガナイ、チガ 便利ナル ッゴ一ノ、金貨	純金ト參和銅トニテ作り 本位貨幣ニハ本位(純)、補助(合金)ノ 別アリ、本位貨幣トハ、貨幣	ノ標準(純金)ニシテ通用(合金)ノ際ニ制限ナキモノチイヒ、補助貨幣トハ 其用本位貨幣ノ流通(合金)チ補助スルニ止マリ、通用ノ際ニ制限アル モノチ、イ 多額チクサン 支拂ハチヒ、ダ 制限キマリチタ フナリ、イ	通用 世ノ中ニ用チナ スコトチイフ、製スル ルコト、少額チクサン タカ、白銅
--	--	-----------------------------	------------------------------	----------------------------------	---	--	---

第三學年前
第三學年前

- はつこいスルと
ころハ、にほん
ぎんこいナリ、

貨幣 ニツケルト參和銅トチ 合セテ製シタルモノ、 青銅貨幣 銅ト錫ト亞鉛トチ 合セタルモノ、 銀	貨幣 純銀ト參和銅トチ 合セタルモノ、 代用 カハリニ用 フルモノ、 銀行券 貨幣ノ代用 ニ政府元	ヨリ發行(ハツ)シテ國中ニ 通用セシムル券チイフ、 ケネンナク シンバイ、セズ ニトイフコト、 約定	證券 ヤクソクチ、キメタル、 發行セル 銀行 紙幣チ、ユシラ ヘテ出セル銀行	ナ、銀行「かね」ノ預リ貸シ付ケ、カハ セ、ナドチ業トスル會社、 日本銀行 東京日本橋 區ニ在リ、	第五課 物の價	効用 アルコト、 勞して ホチナル きはめてまれ クセニ	スクナキ はじめて得らる ソコチ手ニ入レル、 ユ 實用	チニ、マニ 裝飾リ、 日光 空氣 生命を保つ 人ノ、イノ チチ、ツナ	グ、コ 必要 セヒ入用ナ ルコト、 缺くべからす ナシラ、千バ 地球
--	--	--	--	---	---------	---------------------------------------	--------------------------------------	---	--

よーニテ、かく
ベカラズ、
●ちきゆーノウヘ
ニ、そんざいヌ、
●みづハだいか
いナドニハあた
いナしよーズ、
●いんりよーすい
ニとぼシ、
●じゆよート、き
よーきゆトノた
しよーニヨル、
●こじきノけんぶ
チハソニハ、コレ
チカふベキカヘ
い、ナクテハ、ム
ツカシ、
●きよーねんニそ
なへん、タメニ、
ちよちく、セル
こめ、
●うりいへ、いつ
けんアリ、

上シヨにクシテ、此上ニハ、六大洲ヤ、五大洋アリ、形ハ圓
●あまねく存
在ザイニモ、アルコト、
●買カふ必要ヒツコトなく、カイ入ルル用事ハ
●たしかりヤハリ、ソノト
●大都會ダイトウ東京、大阪、京都、神戸、名古屋ノ如キ大ナル都ヲ云フ、
●價アタヒを生シヨず、チダンノデキル
●おほむねオホムネ、タイテイハ、
●飲料インリョウ
●水スイ乏トしく、人ノノムニ、ツカフ水
●得エる、こゝあたはざる
●手テニ、入イレルコト
●主シユとして、オモニ、ト
●需要ジユ品物ヲモトメ入
●供給キヨウキョウ品物ヲコシラヘ、ア
●多少オホイ、スクナイコト、
●分量ブンリョウカサノ
●乞コ
●食シキ貧人ヒンナリ人ノ門カニ立チ
●テ食シキヲ乞フモノヲ云フ、
●絹布クワンブキヌ糸ニテオリタ
●凶年キヨウネン
●五イコクノ、デキナイ年、キ
●備ソナへん、ヨーイニ、シユ
●貯蓄チヨクヘテオ
●ク、コ
●加カはらざる、ツノ中ニハ
●賣家ウリヤノコト、イヘ
●一軒イツケン他ダ

●ほんたいニぞー
よーナル、うり
いへごけんアリ
●もちぬし。ふつ
し。せいぞー。ひ
よー。
●くつチもちフル
コトリも、こー
シきたり、
●かいて。しよく
にん。きぼー。あ
らそヒ。
●なだかき、こじ
んノしよが、こ
きぶつチじゆよ
ーヌ、

人ニンノホカノヒト
●おそれオソレ、心配シンパイシ
●争アラソひ、イサカフ
●價アタヒをつツく、手テ
●反ハン對ダイナルコト、
●同ドウ様ヤウなる賣家ウリヤ、
●賣ウれざらん、ウレヤス
●普フ通ツウのオ、アタリ、マヘノ、
●費ツヒせる
●費用ヨウイ、イリヨーニ、ツカフ
●流リウ行コウモノノハヤ
●買カ手テ、シナモノ、チ
●云クニ、増マすフエル
●職人シヨクジンを雇ヤトひ入イれ、
●さかん
●にニ、タクサンニ、
●もどる、モト、ドーリニ、
●しだい、ダンダン
●製セイ
●造高ゾウカウを減ゲンじ、
●コシラヘル、カサ
●上ジヨウ下カす、
●價アタヒノアガリ、サ
●名ナ
●高タカき、ヒヨーパーンノ
●古コ人ジン、ヒト、
●書畫シヨガ、書カヤ、エ、ノ
●古器物コキモノ
●フルキ、ドーグ、
●減ゲンずるにあらざるよりは、
●ヘルノデ、ナ
●モノチイフ、
●入用キヨウキョウダケノ、キマツテ、ア
●ルモノハトイフコト、ア
●供給キヨウキョウに限カギある

第六課

- せかいノきかん
- じよーこのおふ
- つナリ
- さんかい、かん。
- かよくかん。
- たかきやまチこ
- エふかきたにチ
- ツタリ
- のはらチよこぎ
- がいぶチれんが
- マタハきりいし
- ニテタタム
- ほーけいノやぐ
- らアリ
- おーとつノきよ
- ーへきアリ
- てきチ、しやげ
- きスルニベンナ
- リ
- ほつぼーノやば

第六課 萬里の長城

奇観	ミモノナリ	上古の遺物	ノヨリモノ	世に聞え
たり	世ノ中ニ、ヒヨーバ	山海關	支那ノ地名ニシテ、直隸省(チリ)	
天津(チン)	チ経テ北京(キ)	及ビ開平(カ)		
心ノ炭坑(チン)	ニ、通ズル鐵道アリ	嘉浴關	支那ノ地名	横切り
トホツテチ	盡く	スツカ	山を越に	七百餘里に及べ
リ	七百里アマリ	城壁	シロノカベ	煉瓦
モ、アルユト				土チカタニ、チリユン
截石	た、み	タルユト	およそ	イフユト
タ、	方形	四カク、ナル	櫓	城門(シヨウ)
ユクユ			遠(ト)	キ所チ、ノヅミ、又ハ矢石チ
放ツテ、敵チ拒	上部	ウエノ	凹凸の胸壁	チチル、アツキ、カ
セグ所ナリ				
ベリ	射撃す	弓ヤ、テツボー	支那	戰國
ト、				支那ノ世ノユトニ

第三學年前

第三學年前

- んじん、ないち
- 二、しんにゆー
- ン、しん、ちよー、る
- ンノさんごく
- しんにゆーチふ
- セグニそなフ
- しこーていとし
- よース
- しゆーせんシ、
- ぞー、ちくシ、ば
- ンリノちよーじ
- ーチせいこー
- セリ
- こくかノ、あん
- ねいとしろノ
- けんご
- こくみん、いつ
- ち、きよーどー
- ス

燕ナドノ國々	ノ時代チイフ、即チ國王ガ互ニ	野蠻人	チエノ、
戰爭チ事トシテ、止ムユトナキ時チイフナリ			
イ、ランボー	内地	秦ノ都チ、カ	亂たれたるに乗じ
人ノユト			世ノ
カハガシキチ、ユ	侵入	ルユト	入
キ、トキトシテ			國境ノユトナリ
築き	萬里ノ長城チユ	うれへを絶たん	心配チ、ヤメユ
シラヘルユト			修
繕	ツクロヒ、ナ	増築	シラヘルユト
ホス、ユト			成功
人夫人足ノユ	使役し	ツカフ	大工事
トナリ			大ナル、ツシ
て知るべし	オシハカル、ユ	今存するもの	今モ、ノユツ
トガデキル			テアルモノ
皇帝	支那ノ天子ノ	非常に強く	ツユエモ、ナク
ユトチイフ			ユトナリ
の安寧	クニガ、アンノ	堅固	ナルユト
ソニ、ユクユト			國民の一致共
同	國ノ人民ハ心チ合セテ、一人ニテ、		
ユトチ、ナスガ、如クナルチイフ			

第七課

- 立つぱナルきゆ
- 一でんヲたテマ
- せいチおもクシ
- ほいれいチ、キ
- ピシクス、
- ゑいゆ、しよ
- ほうニおこル、
- せいりよく、ア
- ルモノハころう
- りゆーほしナリ
- かいおの、ちよ
- かりよ。はん
- かい。
- しんノじんみん
- チはじよートイ
- フところニあつ
- ぼーせいハおこ
- なるハナイ、
- ほーりつ。やく

第七課 鴻門の會(一)

立派な宮殿 立派な宮殿、キレイナルゴテンチイフ「宮殿トハ

税金ヲ、ヒドク 税金ヲ、ヒドク、カケルコト、 **法令** 法令、法律(ホツ)命令

人民の難儀 人民の難儀、シヨイノコ

たいそー怨んで たいそー怨んで、秦ノ始皇帝チ、ヒドク、 **二世皇**

帝始皇帝ノ次ギノ、皇帝 帝始皇帝ノ次ギノ、皇帝 **亂れて** 亂れて、ユツテナリ、

劉邦(ホウ) 劉邦(ホウ)、沛公(ヘイ)トイヒ漢

寛大 寛大、心ガ、ユルヤカニシテ、ユク、人 **楚の懐王** 楚ノ懐王、楚トイフ國ノ

人、 **范增** 范增、項羽ノケライ、ニテ、智謀(チモ)トモニ、スグレタル

良樊噲 良樊噲、此二人ハ皆オ劉邦(ホウ)ノ、ユートモノナリシ、臣ニテ

の都 **劉邦** 劉邦、後ニハ、沛公(ヘイ)トイヒ漢 **霸王** 霸王、トナリシ人ナリ、

覇上 覇上、地名ナ **諸侯** 諸侯、多ク

第三學年前

大名 大名、ヲナリ、 **暴政** 暴政、ツリゴト、 **約束する** 約束する、ル、 **傷つけ** 傷つけ、ツケル

罪す 罪す、ツミニア **盗したる** 盗したる、人ノモノチ、ヌスミ、 **廢して** 廢して、ヤマ

喜んだ 喜んだ、ウレシガ **行く行く** 行く行く、ミチミチト **函谷關** 函谷關、

兵卒 兵卒、ヘイタイ **たちまち** たちまち、スグ **鴻門** 鴻門、地名ナ **しき**

これに従って これに従って、范增ノ話チ、 **陣** 陣、

逃げよう 逃げよう、 **危い時に君を見捨てる** 危い時に君を見捨てる、

不忠 不忠、臣タル道ニツ **もてなし**

寶庫を封じ 寶庫を封じ、ダイセツナイ、庫ニハ、ソレツ

他

- かん。かんこの
- しんがじんみん
- おほいニよろこ
- ンダ、
- ウチやぶツテこ
- 一もんトイフ
- ところニすすン
- ダ、
- じんみんノきび
- んチトル、
- はじよーノぢん
- ニいつた、
- あやぶイ、とき
- ニきみヲみすて
- ルノハふちゆー
- デアル、
- たからぐら。と
- 一ぞく。あくい。

大名	暴政	約束する	傷つけ
罪す	盗したる	廢して	
喜んだ	行く行く	函谷關	
兵卒	たちまち	鴻門	しき
これに従って	陣		
逃げよう	危い時に君を見捨てる		
不忠	もてなし		
寶庫を封じ			
他			

第八課

- あんがい。こい。そい。はんぞい。
- ねんかい。せき。ニツイタ。
- いちびき。ニウチ。ころせ。
- けんぶチ。セヨ。
- ちんちゆ。ニテ。おんがく。チ。ス。
- ぐたいく。つ。デア。ロイ。
- けんチ。ぬ。イ。タ。ガ。ころ。ス。チ。リ。ガ。ナ。カ。ツ。タ。

の盜賊ヨツノ、ワルモノノ、入 惡意ワルイ、リョーケ これ
 を承知劉邦ガ項伯ニ向ツテ、カタリタルハナ いたおーペン
ト、イフ なためた心チヤハラ
ゲルユト、

第八課 鴻門の會 (二)

あくる朝アサ 案外アヘン 外ガイ です心ニ、オモヒ、ヨラナ めく
 ばせ目メ 物モノ ごとゴト 知チ セルセル ヲトヲ 即ト ちチ 劉邦リウパン 刺サ セセ トト イイ フフ ヲヲ トト ナナ ンン
 かく應オウ じジ ないナイ ヨヨ イイ ニニ ハハ 承知オウチ 宴會エンカイ のノ 席セキ 酒サケ チチ 飲イ ズズ、居イ 座ザ
 項コウ 莊シュウ 項羽コウウ のノ 劔舞ケンブ ツルギツルギ チチ、ヌヌ イイ テテ、一イチ 撃キ にニ 撃キ ちチ 殺コロ スス
臣ナリ、 陣中チンチュウ 音オン 樂ガク をヲ 奏ソウ すス るル もノ のノ もノ をヲ
セ ヲヲ シシ テテ、シシ ママ、陣中チンチュウ 音オン 樂ガク をヲ 奏ソウ すス るル もノ のノ もノ をヲ
 りリ まマ せセ ンン 樂器ガク チチ ヒヒ イイ テテ、オオ モモ シシ ロロ ミミ 御退屈ゴタイクツ 抜ヒキ いてテ しシ

第三學年前

- しゆくん。のみ。みや。あやぶき。み。み。た。ざ。た。つ。た。
- かみのけ。た。て。げん。き。お。と。こ。ま。さ。け。チ。の。マ。セ。ヨ。
- さかな。ニ。ぶ。た。ノ。に。く。チ。ヤ。レ、
- し。ろ。い。た。ま。た。ま。の。し。ゆ。き。
- かん。ご。カ。ラ、は。じ。よ。ノ。ちん。ニ。ハ。セ、か。へ。ッ。タ。
- どり。こ。い。ま。ご。ろ。かん。ノ。こ。い。そ。し。な。ノ。こ。い。て。い。よ。い。す。

しシ ヨヨ ーー モモ、かカ ばバ ぶブ よヨ ーー ニニ スス ルル ナナ リリ、主君シュクン 劉邦リウパン、座ザ をヲ
 立タ ヲヲ テテ、イイ テテ、このコノ こコ をヲ 告ツ げゲ たタ 項莊ガ沛公チ、ウウ トト ウウ
マ、 劔ケン をヲ おオ びビ ツルギツルギ チチ、盾タテ をヲ たタ ばバ さサ ンン でデ 盾タテ 防ブ ぐグ 道ダウ 具キ
ナリ、夫レチ、ウキ 幕マク をヲ かカ、げゲ マクマク チチ、ママ クク リリ 裂ツ げゲ んン ばバ
ニ、カイユンデ、 幕マク をヲ かカ、げゲ アア ゲゲ ルル ヲヲ、裂ツ げゲ んン ばバ
かり ルル ババ カカ リリ、あア れレ はハ 何ナニ もモ のノ たタ アア レレ ハハ ドド ーー シシ タタ モモ、酒サケ
ル をヲ 飲イ せセ よヨ ササ ケケ チチ、ノノ ママ シシ テテ、肴サケ にニ カカ ナナ ニニ、豚ブタ のノ 肉ニク をヲ
 やヤ れレ 盾タテ をヲ ふフ せセ ププ セセ ニニ シシ テテ、載オ せてテ 劔ケン をヲ 抜ヒキ いてテ
 言コト をヲ 信シン じジ ウウ ケケ ニニ シシ テテ ナナ リリ、秦シン のノ 一イチ のノ まマ ひヒ だダ 秦シン ノノ ゴゴ トト キキ
ナサルト、イ フフ テテ モモ ヲヲ、かカ はハ やヤ 大ダイ 便ベン 小コ 便ベン スス、間道カンダウ ナナ リリ、はハ せセ 歸カエ ヲヲ ヲヲ
フ テテ モモ ヲヲ、かカ はハ やヤ 大ダイ 便ベン 小コ 便ベン スス、間道カンダウ ナナ リリ、はハ せセ 歸カエ ヲヲ ヲヲ
 たタ カカ ヘルル、玉タマ のノ 酒器サケモノ 玉タマ ニニ テテ 作ス リリ タタ、たタ ぶブ んン、虜トリ にニ

される 生ケドリニセ ばたして アソノトリー、ト、イフユト、 項羽を コウヨウ

亡し ホロシ ナクシテ、 漢の高祖 カンゴウソウ 漢ノ國ヲ興セ

第九課 諸葛孔明

- よ、みだレテは
- いも、しほ
- 二おこレリ、
- かつ
- けい
- りゆいび
- そい
- しょうはい
- らそ
- ちゆいしん
- しおほ
- しょうかつ
- めい
- けい
- カクル
- ふいせつ
- カシテ

漢 カン 支那國ノ古 後漢 ゴカン 前漢(カン)ニ對シテ 亂れに亂れて ミダレ

一ノ上ニモ、ソード カッ 割據 カッ 一方ニ大將トナリテ 三國の世 ゴク 蜀魏

三ヶ國ナ シヨク 蜀劉備 シヨク 蜀トイフ所ニ據リテ、 魏の曹操 ウエイ 魏トイフ所ニヨリ

テ一方ノ、王トナ ゴ 吳の孫權 ウ 吳トイフ所ニヨリテ一方 勝敗 シヨク

を争ふ アソ アフトナ、イフ、 當代の英傑 トウジ 百人ニスグルチ英 智徳かねそな チトク

はり チエモ、ドートクモ、フダツ 下を率ぬたる シモ 我が、ケラ

- よチダツス、
- うをにみづ、ア
- ルガゴトシ、
- しんシタルノふ
- カキチシルベシ
- ごとわシギニア
- ちち、りよ
- シテ、ていいニ
- つカシム、
- いしよーチ、ほ
- ーシテよーし
- りゆいせんチ
- スク、
- いちごモ、てき
- こくノあなごり
- ナシ、
- ぎノしよト、し
- ばちゆいよだつ
- ト、たいじんス、
- ふじんノ、ふく
- チ、オクリテ、ひ

忠臣 チユン チユン サムライ、 義士 ギシ 人ノスギミチチ、重

助けたり タス 諸葛孔明 シヨク 蜀ノ劉備ノ臣ナ 亂を避け ラン

田畝を耕し デン 農業チ、イタシ 風雪をおか フエ

寓居 ウキ スマキチ、シテ 魚に水ある イサ

孔明を信じ メイ 劉備ハ孔明ノ言フユトチ、善 吳と和し ウ 吳ノ國ト

魏にあたり ウエイ 魏國チ、攻 土地を領して チ 土地チ、ワガ

帝位に即かしめ テイ 天子ノ位ニ、 崩じたる ホウ 天子ノ死

遺詔を奉じ イ 劉備ノ殘シオカレタル、オホセチ、 幼主 ヨウシュ

きよナルヲ、あざけりたり、こゝめいノきぎよチとフ、あさハ、はやく、おき、よハおそク、いヌ、しよくノぐん、ソノかんチまもリテ、くにニかヘハ、たチかヘシ、こをナラシテ、むかヘリ、ぐんチ、ひきキテに、グサレリ、しセル、こゝめい、い、い、ゲル、ち、ゆ、一、だ、つ、チ、わ、し、ラ、ス、す、い、し、ノ、ひ、よ、い、か、ん、る、い、く、く、

劉禪リウゼン 劉備ノ子、劉リウ 身をおふるまで、我身が死スルマデ 敵國テキコク

の侮アザケを受けず、外國ガイコクノ、テキヨリ、タイベツセラレタ、ユトハナイトイフユト、司馬仲シマチウ

達タク 魏ノ大將 對陣タイジン 軍勢チ、整ヘテ、敵テキ 戦をいどめどもセン

チ、シカケル 恐れオソて その卑怯ヒキョウなるを嘲アザケりたり 達タク

ケレドモ、 使者シヤ ツカヒノ 孔明コウメイの起居キヨを

ノ、オクビヨナルユトチ、 使者シヤ ツカヒノ 孔明コウメイの起居キヨを

アザケリ、笑ウツツタユト、 使者シヤ ツカヒノ 孔明コウメイの起居キヨを

問ト 孔明コウメイノユトスチ、 使者シヤ答ヘコタヘ 夜ヨは遅オソク

いれて 夜ヨハオソク したしく事コトを、こりたまふゴシ

ニ軍事チアツカ しまもモソレ 久ヒサしからざるべし 長クツ

ヒナナルユト、 幾日イツニチもへざるに イクニチモ、ダ 是たして死シ

イトイフ 蜀國シヨクノ 其の棺カンを護ゴりて 孔明コウメイノ死シ

ユト、 死シ 蜀國シヨクノ 其の棺カンを護ゴりて 孔明コウメイノ死シ

第三學年前

おごろキ。ことわざ。ししや。

レタル、棺カンチ、ダ イツニカケテ、 さわがずアハテス 旗ハタを反カし 旗ハタノムキチ、

ムカフ 鼓ツツミをならし セメダイユチ ナラスユト、 旗鼓ハタツツミ、 すこし

もみだれず ススシモ、ク 軍イクサを率ヒキゐて 引ヒキキツレテ、 逃ノド

げ去サれり ツゲテイ 諺コトワザを作り 諺コトワザチユシラヘタユト 諺コトワザトハ

ルイヒ 劉禪リウゼンに奉マツり 劉禪リウゼントイフ、君キミニ、 出師シュシの表ヒトシ 出陣シュジンノ時トキ

グサ、 意見イケン文章ブツヲカイト 句ク々々一ヒトキリ、一ヒトキリ まごころより マユ

奉マツツタ 文章ブツヲカイト 句ク々々一ヒトキリ、一ヒトキリ まごころより マユ

心ココロカ 感涙カンライ 心ココロニシミツタリ、カ むせばしむ ススリナキチカ

泣ナかざるもの カンシンシテ、ナミダ 不忠フチュウ 忠義チュウギデナイト

第十課 象

陸上リクジョウ ユト、チノ モットモノ、バ 肥大ヒタイ エテチル、チ 熱帶地ネツタイチ

第三學年前

●一ニさんス、ぞ一ノかはハ、かいはいくしよ

●はなはくつきよ、く、じざいニシテさいノかたちヲナセリ、

●くびハ、ハナハダみちかクシテくちヲちじよ一ニたツス、

●はなニすヒ、いレル、

●かんかく、ハナハダするどシ、

●きチユギたほシおもキモノチ、まさテはこブ、

●うはあご。きはくび。

●あごニつキしたガフよはキ、ぞ

方 <small>ホ</small> 地球 <small>チキウ</small> 上 <small>ジョウ</small> デ一 <small>イチ</small> バン熱 <small>ネツ</small> イ、地方 <small>チホウ</small> 熱帯 <small>ネツタイ</small> トハ赤道 <small>チキョウ</small>	多 <small>オホ</small> ク産 <small>サン</small> ス <small>ダク</small> カ <small>カ</small>
●重 <small>オモ</small> サハ	●皮 <small>ヒ</small> 膚 <small>フ</small> ハ
●屈 <small>マ</small> 曲 <small>マ</small> 自 <small>ジ</small> 在 <small>ジ</small>	●灰 <small>カイ</small> 白 <small>ハク</small> 色 <small>シキ</small>
●短 <small>ミ</small> ク	●地 <small>チ</small> 上 <small>ジョウ</small> ニ達 <small>ダツ</small> セシムルコトアタ
●鼻 <small>ハナ</small> ヲ曲 <small>マ</small> ゲテ	●口 <small>クチ</small>
●吸 <small>ス</small> ヒ	●吹 <small>フ</small> キ
●拾 <small>ヒロ</small> ヒ	●運 <small>ハコ</small> ブ
●群 <small>ムレ</small> ゴトニ	●牙 <small>キバ</small> 群 <small>グン</small> ヲナ
●年 <small>トシ</small> 長 <small>ナガ</small> ケ	●他 <small>タ</small> ニ出 <small>イ</small> ントスル時 <small>トキ</small>
●弱 <small>ヨハ</small> キ象 <small>ゾウ</small>	●中 <small>ナカ</small> ホド
●置 <small>オ</small> キテ	●敵 <small>テキ</small>
●鋭 <small>スレド</small> クシテ	●身 <small>ミ</small> ノカシガ、大 <small>オホ</small>
●コギ倒 <small>タ</small> シ	●ススキテユカ
●群 <small>ムレ</small> ゴトニ	●ヒトムレ
●年 <small>トシ</small> 長 <small>ナガ</small> ケ	●年 <small>トシ</small> ノイッダ
●他 <small>タ</small> ニ出 <small>イ</small> ントスル時 <small>トキ</small>	●ウツトスルニハ
●弱 <small>ヨハ</small> キ象 <small>ゾウ</small>	●中 <small>ナカ</small> ホド
●置 <small>オ</small> キテ	●敵 <small>テキ</small>

第三學年前

●一イチチバ、なかホ

●トニおキテもク

●てきノせメ、き

●たランチふせガ

●ントス、

●しんりんちゆ一

●ニ、あそビアル

●ク、

●よ、すすしクナ

●レバ、ところど

●ころチあもミマ

●ハル、

●どらナドノ、も

●一イチじゆ一モ、も

●ノいきほひニお

●そル、

●きノは。くだも

●の、こくもつ、

●せいしつ、キハ

●メテ、おんじゆ

●ん、ユクひとニ、

●ナル、

●こいさく。うん

●ばん。さいく。ぞ

●ひ。

●攻 <small>セ</small> メ來 <small>キ</small> ルチ防 <small>フ</small> ガン	●避 <small>サ</small> ケン	●カデ、カラダチ、	●アヲフコト、	●テ、チル	●走 <small>ハシ</small> ル	●速 <small>スイ</small> カ	●牙 <small>キバ</small> ヲ怒 <small>イカ</small> ラス	●牙 <small>キバ</small> ヲムキダ	●猛 <small>モウ</small>
●ノ攻 <small>セ</small> メ來 <small>キ</small> ルチ防 <small>フ</small> ガン	●深 <small>シン</small> 林 <small>リン</small> 中 <small>チュウ</small>	●カデ、カラダチ、	●アヲフコト、	●テ、チル	●走 <small>ハシ</small> ル	●速 <small>スイ</small> カ	●牙 <small>キバ</small> ヲ怒 <small>イカ</small> ラス	●牙 <small>キバ</small> ヲムキダ	●猛 <small>モウ</small>
●歩 <small>ア</small> ミマハル	●水 <small>スイ</small> 中 <small>チュウ</small> ニ浴 <small>ヨク</small> シ	●カデ、カラダチ、	●アヲフコト、	●テ、チル	●走 <small>ハシ</small> ル	●速 <small>スイ</small> カ	●牙 <small>キバ</small> ヲ怒 <small>イカ</small> ラス	●牙 <small>キバ</small> ヲムキダ	●猛 <small>モウ</small>
●四 <small>シ</small> 肢 <small>シ</small> 肥 <small>ヒ</small> 大 <small>ダイ</small>	●用 <small>ヨウ</small> 意 <small>イ</small>	●カデ、カラダチ、	●アヲフコト、	●テ、チル	●走 <small>ハシ</small> ル	●速 <small>スイ</small> カ	●牙 <small>キバ</small> ヲ怒 <small>イカ</small> ラス	●牙 <small>キバ</small> ヲムキダ	●猛 <small>モウ</small>
●果 <small>カ</small> 實 <small>ジツ</small> 穀 <small>コク</small> 物 <small>モノ</small>	●捕 <small>ト</small> ヘ	●カデ、カラダチ、	●アヲフコト、	●テ、チル	●走 <small>ハシ</small> ル	●速 <small>スイ</small> カ	●牙 <small>キバ</small> ヲ怒 <small>イカ</small> ラス	●牙 <small>キバ</small> ヲムキダ	●猛 <small>モウ</small>
●人 <small>ヒト</small> ニ馴 <small>ナ</small> レ	●使 <small>ツ</small> フコトヲ得 <small>ウ</small> ツカ	●カデ、カラダチ、	●アヲフコト、	●テ、チル	●走 <small>ハシ</small> ル	●速 <small>スイ</small> カ	●牙 <small>キバ</small> ヲ怒 <small>イカ</small> ラス	●牙 <small>キバ</small> ヲムキダ	●猛 <small>モウ</small>
●土 <small>ド</small> 人 <small>ジン</small>	●運 <small>ウン</small> 搬 <small>バン</small>	●カデ、カラダチ、	●アヲフコト、	●テ、チル	●走 <small>ハシ</small> ル	●速 <small>スイ</small> カ	●牙 <small>キバ</small> ヲ怒 <small>イカ</small> ラス	●牙 <small>キバ</small> ヲムキダ	●猛 <small>モウ</small>
●原 <small>ゲン</small> 野 <small>ヤ</small>	●質 <small>シツ</small> 堅 <small>ケン</small> ク	●カデ、カラダチ、	●アヲフコト、	●テ、チル	●走 <small>ハシ</small> ル	●速 <small>スイ</small> カ	●牙 <small>キバ</small> ヲ怒 <small>イカ</small> ラス	●牙 <small>キバ</small> ヲムキダ	●猛 <small>モウ</small>
●飼 <small>カ</small> ヒ	●細 <small>サイ</small> 工 <small>ク</small> 物 <small>モノ</small>	●カデ、カラダチ、	●アヲフコト、	●テ、チル	●走 <small>ハシ</small> ル	●速 <small>スイ</small> カ	●牙 <small>キバ</small> ヲ怒 <small>イカ</small> ラス	●牙 <small>キバ</small> ヲムキダ	●猛 <small>モウ</small>
●異 <small>コト</small> ナラズ	●靴 <small>クツ</small> 製 <small>セイ</small>	●カデ、カラダチ、	●アヲフコト、	●テ、チル	●走 <small>ハシ</small> ル	●速 <small>スイ</small> カ	●牙 <small>キバ</small> ヲ怒 <small>イカ</small> ラス	●牙 <small>キバ</small> ヲムキダ	●猛 <small>モウ</small>
●光 <small>コウ</small> 澤 <small>タク</small>		●カデ、カラダチ、	●アヲフコト、	●テ、チル	●走 <small>ハシ</small> ル	●速 <small>スイ</small> カ	●牙 <small>キバ</small> ヲ怒 <small>イカ</small> ラス	●牙 <small>キバ</small> ヲムキダ	●猛 <small>モウ</small>
●彈 <small>ダン</small> 力 <small>リキョク</small>		●カデ、カラダチ、	●アヲフコト、	●テ、チル	●走 <small>ハシ</small> ル	●速 <small>スイ</small> カ	●牙 <small>キバ</small> ヲ怒 <small>イカ</small> ラス	●牙 <small>キバ</small> ヲムキダ	●猛 <small>モウ</small>

本五

三十五

● しつかたク、だ
● んりよくアリ、
● うつくシキ、
● いたく、アリ、
● ユ

第十一課

● オモシロキ、ほ
● ーほーチもちヒ
● ル、
● ひとツノさく。
● しんりん。きん
● じよ。
● しゆーいが、す
● ーマイル、アル、
● かりいだカレタ
● ル、ぞーノ、ぐん
● アリ、
● ざじんハ、とほ
● まきニス、
● ぼーヤ、やりチ
● もつテキル、
● いらくちチ、と
● ザル、

スユシラ

第十一課 象狩の話

方法を用ひる

ヤリカタ
チスル、

選んで
ルユト、

柱柵

周囲

數まいる
四五マイル一哩ハ
我十四町四十八間餘ニ

狩り出された

オヒダサレ

てんでに
イニ、

いつせいに

一時

こきの聲
大勢ガ一シヨニ
大ゴエチアゲル

逃口

恐ろしい勢で

かけこむワシリユ

閉ぢる

まんまこ

誘ひをこりに使

ふ他ノモノチ、マチキ、捕フ

あれだす

慰める

セスヨーニ

しづかに

投げ

第三學年前

第三學年前

根びぎ

椰子 熱帯地方ニ産スル椰樹(ヤシ)ト
イフ植物ノ實ナリ、

かうして

命令に従つて

第十一課 ハワイ出稼人の手紙

拜啓

出發の際

御見送

何の障もなく

到着

御安心

方を見物し

ホノルル 是わいの首府ニシテ人
口ハ凡ソ三萬人ナリト

製糖業

御承知の

十二の群島より成り立ち

面

積地

獨立國 政府カラモ支配(チ)受ケズ、ヒトリ
ダナデ自分ノ國チ、チサメテユク國チイフ、

合衆國

都會 人ノ多クスンデナル、ニ

市街

學校

● すきま。さそヒ。
● なくさ。ハ。は。か
● り。ご。な。し。
● ごと。
● かひぬし。め
● がい。ニ。した
● ガフ、

第十二課

● しゆつぱつノさ
● い、じよ、な
● かい、じよ、な
● ンノささわりモ
● ナク、
● しょほーチけん
● ぶつ、いたし、
● せいと、ぎよ
● よニじゆーじ、
● いたし、ととの
● しが、ととの
● へル、
● はくぶつかん。
● こーるん。とか
● ほんぼーノしよ

- ーてん、おほく、そーだいナルたてもの、
- ろーごーしや。
- さいばい。
- きよかくノちよちく、チナス、
- い、しよく、じゆーノありさま、
- ほんぼートそーい、いたシ、おりそろ、
- ところ、ほそき、ことナリ、
- ねつたい、ちほーあつシ、
- うみニかこマレタリ、
- かいふー、ふききたり、
- きこーノへんかすくナシ、

博物館	動物、植物、礦物、天然物、人造物ナド古今、中外、百般ノ物ヲ集メテ衆人ニミシル所ヲイフ、	公園
マレモ、カモ、シユ	備はれる	ヨーイガデ
キテ、ナル、	劣らざるよし	
に	本邦人	日本人チ
マケナイツデー	商店	アキナヒ
トイフユト、	ミセ、	中央
カ、	日本商會	日本人カ共同(キョー)デ建
テテ居ル商ノ會社、	壯大	ナリツバデ大
ナ	匹敵す	オナシ、クライニ、
人外ヨリ來	多人數	オナシ、クライニ、
タル人、	労働者	人ニツカハレテ、チカ
カズノコト、	栽培	クルユテ、ツ
ーきび	壹圓以上	壹圓ヨリ
砂糖ノモトト、	したむつて	サウイフワケ
ナル植物ナリ、	巨額の貯	キョウガク
蓄	衣食住	衣ハキモノ、食ハタベモ
タクサンナ	醫業	イシヤノ
タクハハ、	さら	ニ
いたし居らず	有様	相違
リマセヌ、		

第三學年前

- ーちノもよーもうしあげそろ
- けいぐ。あんちやく。くらシヤ
- すシ。

第十三課

- ふじんノねがけ
- かんざしノたま
- さんご、ちゆー
- トイフ、ごーぶ
- つノつくり、シ
- モノ、
- かいいていニ、ぐ
- んせいス、
- せつかい、しつ
- チキゆーしゆー
- ス、
- ぶんびつシテカ
- たキ、こつシツカ

心細きこころ	心地	よほど暑かる
べし	海に圍まれ	氣候の變化
暮し易き	安着の御報知	かた
かたツレヤコレヤ	當地の模様	敬具
パニ、テツツシンデ申シ		
第十三課	珊瑚	
婦人の根掛	珠	海底
て	群生	石灰質
て	分泌	堅き骨質の殻
吸収	しだいに積み重り	紅色
ラトイフ		穩

第三學年前

- からちつく、ル、かい、じよ、お
- だやか、ナル、ひ、かん、しよ、マ
- マハ、しまナド、ノ、しゆ、い、チ、ね
- ひしほ、しよ、へき、くうき、さよ
- かいよ、ノ、ち、か、ら、ニ、ユル、た
- り、く、ち、ヨリ、た、だ、よ、ヒ、き、タル、
- や、じ、ゆ、ノ、た、ね、
- さい、へん、ふち、やく、
- ふう、けい、うる、は、シク、
- こ、かい、ち、ゆ、ん、ナリ、いつ、き、か

第十四課

なる日	波ノタヌ、シツカ	透し	言はんかたなし
ガ、ナイト	岩礁	あらはる	沿ひて
イフユト	出テ、チラヌ、イハノユト	環の	だへたる
ノ、ヒイダ		生活	海洋
時チ云フ		直徑	大波
ヤ、カキデ、トリマ		海面	外部
ハシタルユト		漂ひ	砕きて
		舟ニテ海上チ	砕片
		風景	附着
		水空	航する

第十四課 にもーこん

第三學年前

第三學年前

- りがくノたいか
- ナリ、
- じんたい、きよ
- じやくナリ、
- めんみつ、ちゆ
- しいアリ、
- たいだニシテ、
- せいせきアシシ
- ふんばつシテ、
- きゆいちゆ、ノ
- しもせきチシメ
- マリ、
- きかい。しかけ。
- かんろ、ぶつ。
- ねすみチシテ、
- かいてん、セシ
- こなひきぐるま
- うんてんスル、
- きかいぐるま、
- しばふ。とけい。
- たいがく。
- もんだいチけん

物理学の大家	物理學、天文學、化學、地質、生理學、解剖學、博物學ヲ總稱シテ	研究	身體	虚弱	成長
つかなし	成人スルユトガ、	得たり	怠惰	奮發	成績
級中の首席を占む	クミノ、ウチノ第一バ	祖母	綿密なる注意	水時	機械
仕掛	モテアツ	何よりの樂	日時計	廻轉	粉磨車
時計	ハカシム	運轉する器械	工		

- きゆーし、
- ちいめいナルい
- んりよくノほい
- そくちはつけん
- セリ、
- いつちよく、せ
- んニすすマズ、
- りんご、かせナ
- キニちじよーニ
- おちタリ、
- ぶつたい。かい
- てん。たいよー。
- しよーめいスル
- ぞくいとセルす
- ーがく、
- せいみつナルけ
- ーさん、
- だいがくノ、き
- よーじゆ、
- しゆーぎいんノ
- ぎいんニねらバ
- ル。
- ぞーへい、きよ
- くちよー、

夫をこらしたイロイロト、カ
退學せしめ 學校ヨリヒカ
セルコト、

所有の田地 シブソノ、モツテ
ナル田地ノコト、

向はざりければ ムカハ
ナカツ

芝生によこた

はりニ、ユニナルコト、

しづかに心ヲオチ

種種の間

題イロイロノ 研究ミガキ、シラ
モンダイ、

叔父ヲザノ 母に説き

てニエイトンノ母ニ 入れしめたり 入レサセ
云フテキカセル、

大いに喜

び大ッ、ウ 數學算術ノ 得意オモフヨーニ
レシガル、

卒業シトゲル

ト、餘念なかりしかば ユユロチ、ホカノコトニ、カケス、ソ
レバカリニヨセタカラ、トイフコト、

発見 スミイダ 有名 セケンニ名ノヒロ 引力の法則 地ノ中心
ナルキツケル力(チカ)ノ マツテ、ナルコト、

何故に一直線には進まず マツ
アルトイフ、キツク、

第三學年前

第三學年前

ニハ、ユカ ズシテ、	疑ひ モフコト、	つねのこころ イトツモノ た
まく 其時ニ、	林檎 梨ニ似タル、ク ダモノノ一種、	一步を進めて
モ一ヒトツサキノ、 コトチ、カンガヘテ、	物體 シナモ	さゝふる モチユダ 正し
こは思ひたれども 思フタケレドモ、	證明 アゲテ、トキ	
アカス ユト、	計算 算用(サン)スル	大學の教授 大學校ノ 衆議院 先生
ギインガ、アツマリテ、クニノマツリ ゴトチツーダンチスル、ヤクシヨ、	老後には トシガユツ テカラハ、	造
幣局長 カヘイチ、ユシラハ ル、役所ノカシラ、		
第十五課 獅子		
王ト稱セラル テナル、	身長 カタダノ	胸張り ム子ガ、 ヒロク、
細シ 長ジタルモノ ツタモノ、ナ	黄褐色 ヤイロ、チ	幼

- じゆーるいノお
- ート、しよーセ
- ラル、
- ぼむねはり、はら
- ほそシ、

- こーかつしよくナリ、
- うすぐろキ、はんもんアリ、
- よーぼー。まなこ。ちよくりつ。
- をニハたてがみアリテ、いげんチクはへタリ、
- をノはしニモ、ながキけあつまリはユ、
- しんたいノ、こーぞー、マタ、にタリ、
- すなはらノやぶがんとつノながくさむらノあいだニ、みチふセテきたルチマツ、
- とビ、カ、リテ、とらフ、
- ひとさと、ちか

稚 <small>チ</small> チサナイ ユト、	薄 <small>ヒス</small> 黒 <small>ク</small> キ ユト、	斑 <small>ハシ</small> 紋 <small>シ</small> ユト、	タクマシク 勢ガト ユトモナ
容 <small>ヨウ</small> 貌 <small>ボウ</small> ユト、	直 <small>チキョウ</small> 立 <small>リツ</small> シテ マツスグニ	圓 <small>エン</small> 大 <small>ダイ</small> ニシテ スゲク	丸 <small>ウ</small> 大 <small>ダイ</small> キク アツテ、ビ
黒 <small>コク</small> 色 <small>シキ</small> チオビ ソテナル、	群 <small>グン</small> 生 <small>セイ</small> エテ居ルユト、	尾 <small>ビ</small> ノ端 <small>ヘ</small> 集 <small>アツ</small> リ生 <small>セイ</small>	伊 <small>イ</small> ッソ <small>ソ</small> ー威 <small>イ</small> 嚴 <small>ゲン</small> チ加 <small>カ</small>
猫 <small>ネコ</small> 屬 <small>リク</small> チユノタ	身 <small>シン</small> 體 <small>タイ</small> ノ構 <small>コウ</small> 造 <small>ゾウ</small> カラダノ、デ	岩 <small>ガン</small> 窟 <small>クツ</small> イハ	食 <small>シヨク</small> チ求 <small>モト</small>
誤 <small>アヤマ</small> リテヤリ ヅコナフ	サラニ ベツダン	家 <small>カ</small> 畜 <small>チヨク</small> イヘニ、カヘ	攻 <small>コウ</small> 撃 <small>キキ</small> チ受 <small>ウケ</small> ケタルト
沙 <small>サ</small> 原 <small>ハ</small> スナハラノユトニテ、あふりか、あ	草 <small>クサ</small> 叢 <small>ソウ</small> ハエテ居ル所、	身 <small>ミ</small> チ伏 <small>フ</small> セテ カクシテ	
運 <small>ウン</small> ビ去 <small>キ</small> リ クモツテユ	吼 <small>ウ</small> ユ オホキナコ	オソレ伏 <small>フ</small> ス ハ	
萬 <small>マン</small> 獸 <small>ジウ</small> オホクノ	會 <small>カイ</small> ス フデア	會 <small>カイ</small> ス フデア	

第三學年前

- クすメリ、
- しよくニウエタ
- ルトキ、マタこ
- ーげきチウケタ
- ルトキノほかハ
- ひとチがいスル
- ユトナシ
- おほク、やかん
- ニほユ、
- ひびき。みぞ。か
- き。かちク。うし
- しか。
- ちれつチあら
- そフ

第十六課

檻 <small>ケ</small> 鐵 <small>テツ</small> ニテ造 <small>ゾウ</small> リ タルカゴ	叫 <small>セウ</small> ぶ聲 <small>セイ</small> ハゲシク大聲 <small>ダイセイ</small> デ	逃 <small>ニ</small> びをのゝき
オソレフル フユト、	人 <small>ヒト</small> 影 <small>カゲ</small> 母 <small>ハハ</small> ノ手 <small>テ</small> ハハソ 樂 <small>ガク</small> し	
さ <small>サ</small> に ユエニ、	心 <small>ココロ</small> 奪 <small>ウバ</small> はれ レテ、	あはれや ウニモ、
たけりにたけりつ、	マスキ、タケリナガラ、タケルトハ	

●よーじハよねん
●ナシ、
●ししノゑトナル
●ぶしニすくハレ
●さす。じあい。い
●のち。くる。ヒ。つ
●め。つる。ぎ。かみ。
●ふじん。ふうん。
●みみ。をし。む。か
●ん。お。い。わか
●キ。

●ひふノ、よーじ
●よーノこと、
●ひよーめんニ
●ル、おほクノち
●ひサキ、けあな
●カラ、あぶらチ
●いだス、
●たいおん。けつ
●わき。けあな。せ
●いけつ。

第十七課
●ま。ド。シ。テ、イ。ノ。チ。オ。シ
●マ。フ。ヅ、オ。シ。ミ。ハ。セ。ス、

第十八課
●く。に。ぶ。ん。めい
●ノ。ご、
●こ。く。み。ん。ノ、お
●も。ン。ズ。ル。ね。ん、お
●い。し。ん。せん。ハ。じ
●ゆ。よ。し、す。く。な
●シ、
●い。し。ノ、ち。り。よ
●し。よ、
●さん。かん、へ。き
●ち、
●せん。だ。く。よ、

狂 <small>クハ</small> ハ <small>アバレル</small>	一口 <small>ヒトクハ</small> に <small>ト</small> 飛 <small>ト</small> び <small>カ</small> ゝ <small>ル</small>	一 <small>イツ</small> 婦 <small>フ</small> 人 <small>ジン</small>	餘 <small>ヨ</small> 念 <small>ネン</small> なし <small>外<small>ゲ</small>ノ<small>コト</small>ハ<small>思</small>ハ<small>ス</small>、一<small>イツ</small>シ<small>ヨ</small></small>	不 <small>フ</small> 運 <small>ウン</small> なる <small>セナ</small>	殺 <small>コロ</small> され <small>ン</small>	慈 <small>ジ</small> 愛 <small>アイ</small>	感 <small>カン</small> じ <small>タリ</small>	一 <small>イツ</small> 念 <small>ネン</small>	ま <small>マ</small> ん <small>ン</small>
包 <small>ツツ</small> む <small>ム</small>	皮 <small>ヒ</small> 膚 <small>フ</small>	内 <small>ナイ</small> 部 <small>ブ</small>	保 <small>ホ</small> 護 <small>ゴ</small>	面 <small>メン</small> 孔 <small>コウ</small>	血 <small>ケツ</small> 液 <small>エキ</small> を <small>セ</small> 清 <small>セイ</small> 潔 <small>ケツ</small> にし <small>血<small>ケツ</small>チ、</small>	毛 <small>モウ</small> 孔 <small>コウ</small>	傷 <small>キウ</small> を受 <small>ウ</small> ける <small>ケガチ</small>	肺 <small>ライ</small> 臟 <small>ゾウ</small>	呼 <small>コ</small> 吸 <small>キ</small>
汗 <small>アハ</small>	體 <small>タイ</small> 温 <small>ウン</small>	血 <small>ケツ</small> 液 <small>エキ</small> を <small>セ</small> 清 <small>セイ</small> 潔 <small>ケツ</small> にし <small>血<small>ケツ</small>チ、</small>	表 <small>ヒョウ</small>	手 <small>テ</small> 拭 <small>シ</small> 浸 <small>ヒ</small> した <small>ツケ</small>	乾 <small>カハ</small> いた <small>ツケ</small>	強 <small>ツヨク</small> く <small>ナ</small> コト <small>プ</small>	限 <small>カギ</small> 作 <small>サ</small> 用 <small>ヨウ</small>	着 <small>キ</small> 物 <small>モノ</small>	妨 <small>サマ</small> げ <small>ル</small>
水 <small>スイ</small>	手 <small>テ</small> 拭 <small>シ</small>	洗 <small>セン</small> 濯 <small>ダク</small>	洗 <small>セン</small> 濯 <small>ダク</small>	着 <small>キ</small> 物 <small>モノ</small>	妨 <small>サマ</small> げ <small>ル</small>	洗 <small>セン</small> 濯 <small>ダク</small>	洗 <small>セン</small> 濯 <small>ダク</small>	第 <small>ダイ</small> 十 <small>ジュウ</small> 八 <small>ハチ</small> 課 <small>カ</small>	し <small>シ</small> や <small>ヤ</small> ぼ <small>ボ</small> ん
傷 <small>キウ</small> を受 <small>ウ</small> ける <small>ケガチ</small>	肺 <small>ライ</small> 臟 <small>ゾウ</small>	呼 <small>コ</small> 吸 <small>キ</small>	第 <small>ダイ</small> 十 <small>ジュウ</small> 七 <small>シチ</small> 課 <small>カ</small>	皮 <small>ヒ</small> 膚 <small>フ</small> の <small>ヨシ</small> 養 <small>ヤウ</small> 生 <small>セイ</small>	包 <small>ツツ</small> む <small>ム</small>	皮 <small>ヒ</small> 膚 <small>フ</small> の <small>ヨシ</small> 養 <small>ヤウ</small> 生 <small>セイ</small>	第 <small>ダイ</small> 十 <small>ジュウ</small> 七 <small>シチ</small> 課 <small>カ</small>	皮 <small>ヒ</small> 膚 <small>フ</small> の <small>ヨシ</small> 養 <small>ヤウ</small> 生 <small>セイ</small>	第 <small>ダイ</small> 十 <small>ジュウ</small> 八 <small>ハチ</small> 課 <small>カ</small>
重 <small>オモ</small> ん <small>ズ</small> る <small>念<small>ネン</small></small>	工 <small>コウ</small> 業 <small>ギョウ</small>	隆 <small>リウ</small> 盛 <small>セイ</small>	維 <small>イ</small> 新 <small>シン</small> 前 <small>ゼン</small>	療 <small>リョウ</small> 用 <small>ヨウ</small> に <small>キ</small> 供 <small>キョウ</small> す <small>ニ</small>	山 <small>サン</small> 間 <small>カン</small> 僻 <small>ヘキ</small>	醫 <small>イ</small> 師 <small>シ</small>	治 <small>チ</small>	第 <small>ダイ</small> 十 <small>ジュウ</small> 八 <small>ハチ</small> 課 <small>カ</small>	し <small>シ</small> や <small>ヤ</small> ぼ <small>ボ</small> ん
國 <small>クニ</small> の <small>文明<small>ブメイ</small>の<small>度<small>タク</small></small></small>	重 <small>オモ</small> ん <small>ズ</small> る <small>念<small>ネン</small></small>	工 <small>コウ</small> 業 <small>ギョウ</small>	維 <small>イ</small> 新 <small>シン</small> 前 <small>ゼン</small>	療 <small>リョウ</small> 用 <small>ヨウ</small> に <small>キ</small> 供 <small>キョウ</small> す <small>ニ</small>	山 <small>サン</small> 間 <small>カン</small> 僻 <small>ヘキ</small>	醫 <small>イ</small> 師 <small>シ</small>	治 <small>チ</small>	第 <small>ダイ</small> 十 <small>ジュウ</small> 八 <small>ハチ</small> 課 <small>カ</small>	し <small>シ</small> や <small>ヤ</small> ぼ <small>ボ</small> ん

第三學年

●あぶらチいだシ
●ひふチ、ナメラ
●カニス、一
●はいぞー。あか。
●あらヒおとス、
●れいすいニひた
●せんたく。きも
●の。ほ。ご。こ。き。ゆ
●い。

第十八課
●く。に。ぶ。ん。めい
●ノ。ご、
●こ。く。み。ん。ノ、お
●も。ン。ズ。ル。ね。ん、お
●い。し。ん。せん。ハ。じ
●ゆ。よ。し、す。く。な
●シ、
●い。し。ノ、ち。り。よ
●し。よ、
●さん。かん、へ。き
●ち、
●せん。だ。く。よ、

狂 <small>クハ</small> ハ <small>アバレル</small>	一口 <small>ヒトクハ</small> に <small>ト</small> 飛 <small>ト</small> び <small>カ</small> ゝ <small>ル</small>	一 <small>イツ</small> 婦 <small>フ</small> 人 <small>ジン</small>	餘 <small>ヨ</small> 念 <small>ネン</small> なし <small>外<small>ゲ</small>ノ<small>コト</small>ハ<small>思</small>ハ<small>ス</small>、一<small>イツ</small>シ<small>ヨ</small></small>	不 <small>フ</small> 運 <small>ウン</small> なる <small>セナ</small>	殺 <small>コロ</small> され <small>ン</small>	慈 <small>ジ</small> 愛 <small>アイ</small>	感 <small>カン</small> じ <small>タリ</small>	一 <small>イツ</small> 念 <small>ネン</small>	ま <small>マ</small> ん <small>ン</small>
包 <small>ツツ</small> む <small>ム</small>	皮 <small>ヒ</small> 膚 <small>フ</small>	内 <small>ナイ</small> 部 <small>ブ</small>	保 <small>ホ</small> 護 <small>ゴ</small>	面 <small>メン</small> 孔 <small>コウ</small>	血 <small>ケツ</small> 液 <small>エキ</small> を <small>セ</small> 清 <small>セイ</small> 潔 <small>ケツ</small> にし <small>血<small>ケツ</small>チ、</small>	毛 <small>モウ</small> 孔 <small>コウ</small>	傷 <small>キウ</small> を受 <small>ウ</small> ける <small>ケガチ</small>	肺 <small>ライ</small> 臟 <small>ゾウ</small>	呼 <small>コ</small> 吸 <small>キ</small>
汗 <small>アハ</small>	體 <small>タイ</small> 温 <small>ウン</small>	血 <small>ケツ</small> 液 <small>エキ</small> を <small>セ</small> 清 <small>セイ</small> 潔 <small>ケツ</small> にし <small>血<small>ケツ</small>チ、</small>	表 <small>ヒョウ</small>	手 <small>テ</small> 拭 <small>シ</small> 浸 <small>ヒ</small> した <small>ツケ</small>	乾 <small>カハ</small> いた <small>ツケ</small>	強 <small>ツヨク</small> く <small>ナ</small> コト <small>プ</small>	限 <small>カギ</small> 作 <small>サ</small> 用 <small>ヨウ</small>	着 <small>キ</small> 物 <small>モノ</small>	妨 <small>サマ</small> げ <small>ル</small>
水 <small>スイ</small>	手 <small>テ</small> 拭 <small>シ</small>	洗 <small>セン</small> 濯 <small>ダク</small>	洗 <small>セン</small> 濯 <small>ダク</small>	着 <small>キ</small> 物 <small>モノ</small>	妨 <small>サマ</small> げ <small>ル</small>	洗 <small>セン</small> 濯 <small>ダク</small>	洗 <small>セン</small> 濯 <small>ダク</small>	第 <small>ダイ</small> 十 <small>ジュウ</small> 八 <small>ハチ</small> 課 <small>カ</small>	し <small>シ</small> や <small>ヤ</small> ぼ <small>ボ</small> ん
傷 <small>キウ</small> を受 <small>ウ</small> ける <small>ケガチ</small>	肺 <small>ライ</small> 臟 <small>ゾウ</small>	呼 <small>コ</small> 吸 <small>キ</small>	第 <small>ダイ</small> 十 <small>ジュウ</small> 七 <small>シチ</small> 課 <small>カ</small>	皮 <small>ヒ</small> 膚 <small>フ</small> の <small>ヨシ</small> 養 <small>ヤウ</small> 生 <small>セイ</small>	包 <small>ツツ</small> む <small>ム</small>	皮 <small>ヒ</small> 膚 <small>フ</small> の <small>ヨシ</small> 養 <small>ヤウ</small> 生 <small>セイ</small>	第 <small>ダイ</small> 十 <small>ジュウ</small> 七 <small>シチ</small> 課 <small>カ</small>	皮 <small>ヒ</small> 膚 <small>フ</small> の <small>ヨシ</small> 養 <small>ヤウ</small> 生 <small>セイ</small>	第 <small>ダイ</small> 十 <small>ジュウ</small> 八 <small>ハチ</small> 課 <small>カ</small>
重 <small>オモ</small> ん <small>ズ</small> る <small>念<small>ネン</small></small>	工 <small>コウ</small> 業 <small>ギョウ</small>	隆 <small>リウ</small> 盛 <small>セイ</small>	維 <small>イ</small> 新 <small>シン</small> 前 <small>ゼン</small>	療 <small>リョウ</small> 用 <small>ヨウ</small> に <small>キ</small> 供 <small>キョウ</small> す <small>ニ</small>	山 <small>サン</small> 間 <small>カン</small> 僻 <small>ヘキ</small>	醫 <small>イ</small> 師 <small>シ</small>	治 <small>チ</small>	第 <small>ダイ</small> 十 <small>ジュウ</small> 八 <small>ハチ</small> 課 <small>カ</small>	し <small>シ</small> や <small>ヤ</small> ぼ <small>ボ</small> ん
國 <small>クニ</small> の <small>文明<small>ブメイ</small>の<small>度<small>タク</small></small></small>	重 <small>オモ</small> ん <small>ズ</small> る <small>念<small>ネン</small></small>	工 <small>コウ</small> 業 <small>ギョウ</small>	維 <small>イ</small> 新 <small>シン</small> 前 <small>ゼン</small>	療 <small>リョウ</small> 用 <small>ヨウ</small> に <small>キ</small> 供 <small>キョウ</small> す <small>ニ</small>	山 <small>サン</small> 間 <small>カン</small> 僻 <small>ヘキ</small>	醫 <small>イ</small> 師 <small>シ</small>	治 <small>チ</small>	第 <small>ダイ</small> 十 <small>ジュウ</small> 八 <small>ハチ</small> 課 <small>カ</small>	し <small>シ</small> や <small>ヤ</small> ぼ <small>ボ</small> ん

● けしよーよー、
 ● こーばノきかい
 ● らしや、もーふ、
 ● こーじよーノき
 ● かいチせんたく
 ● ス、
 ● ぶたノあぶらト
 ● やじゆナドチコ
 ● んわス、
 ● なべニいレテ、
 ● よーかいセシム
 ● よーけきチくは
 ● ヘテ、にたッ、
 ● あわつぶ。もん
 ● しよー。こーり
 ● よー。せんりよー
 ● たねあぶら。あ
 ● さノみあぶら。あ
 ● ぎよ。しよーど
 ● くざい。こーて
 ● い。もくてき。

第十九課

地	その製造業	化粧用
区別	その製造業	化粧用
苛性ソーダ	泡粒	水分
工場	混和	溶解
煮立つ	泡粒	組箱
紋章	香料と染料	価値
差異	良否	高低
消毒劑	ククスリ	ククスリ

第十九課 ウラジオストック

第三學年前

● しんこくニぞく
 ● スル、いちぎよ
 ● そんナリ、
 ● しゆじゆノけい
 ● かくチたッ、
 ● へいびノかんせ
 ● いニねつしんナ
 ● リ、
 ● はんわいチきた
 ● ス、
 ● おほクノせんか
 ● んチイルベシ、
 ● れんざんニテか
 ● こマレ、
 ● しがいのこーて
 ● い、いちよーナ
 ● ラズ、
 ● かんが、へいゑ
 ● い、さんざいス、
 ● ちんじゆふ、ぞー
 ● せんしよ、ホー
 ● だいアリ、
 ● こんきよちトナ

要港	敦賀	一漁村
領し	熱心	計畫
交通	兵備ノ完成	繁榮チ
來ス	港内	船艦
連山	風波	避クル
迫リ	街路ノ高低	一樣ナラズ
家屋	麓山	商店軒チ並ベ
諸官衙	兵營	散在
東洋	軍港	鎮守
造船所	開港場	

●セリ、つてつごいチふせ
 ●がぶつ、しゆい
 ●さんノちナリ、
 ●ちゆいよーノみ
 ●なごナリ、
 ●かんりゆい、ニ
 ●ヨリ、かんき、は
 ●げシ、
 ●ていきせんノお
 ●いらい、たユル
 ●ユトナシ、
 ●ぼうねき、まん
 ●しゆい、きよりゆ
 ●いふもど、ふせ
 ●つりゆいせい、
 ●しよーこーぎよ
 ●い。

第二十課

エキスル、ミ ナトチイフ、	砲臺 大砲チツナヘ チク、ダイバ、	設ケラレ ユシラヘ ラレテ、	東洋 トイ
艦隊 東洋チ巡航スル タメニ一ト組 トナツテ、ナル 軍カン、ノ隊、	義勇艦隊 ユフダンハ、 商船デ ソードーノアル	根拠地 ヨリドコ トシテ、	横切リ ヨユ
トホツテ	布設 シキユシテ ヘル、ユト、	貨物集散地 ポーエキ品 チダシタ リヨセタリス ル土地	
ナ、重要ナル港 ル、ミナト、	寒流 潮ノナガ レノ名、	烈シ ユツイ	
出入チ絶ツ 舟ノデハ イリ	現今 マダイマ ト	居留 外国ヨ リキテ、	
スマイス ルモノ、	定期船 時日チキ マテ出 入スルヲ チ、	往復 ユキキ ス	
るしや國 もす、こー 都ノ名、	人情 ヒトノ ユ	風俗 フイ ギ、	習
慣ナラハ セ、	學問 理學、哲 學、法 律學ナド、	技術 手ニテ ナス所 ノツサ ニ	制

第二十課 べてる大帝

第三學年前

第三學年前

がくもん、ぎげ い。せいご、ぐん りつ。	ぶんめいチすす マ、せいりよく チかくちよース、 いじん。けんめ い。きよーそー がくしきアリ、 さいげいアリ、 しよこくへびこ ーシタリ、 たつとイ、みチ モカヘリミズ、 いたチわユト こーじよーチ、 しさつシ、 かいかく。はん と。	たつとイ、みチ モカヘリミズ、 いたチわユト こーじよーチ、 しさつシ、 かいかく。はん と。	ごーめいシテ ク にチうばヒ、 しよーこーぎよ ーチ、しよーれ
度 オキテ、及ビキ ソクノユト、	軍備 ユイクサノ 整はん國 トイフユト、	非常 カクベツ 勢力を擴張 ヒロメル、	偉人 ヒト、イ 賢
明 モノゴトニ、ツイテ、サトリノ、ハヤ イ、ユクユキトドイ、タ、ヒトチイフ、	強壯 シユト ノユト、	辛苦 を	
つくした ラレタ、	帝位 天子ノク ライ、	學識 あり ガクモン モ、ナエ	
モア 才藝 あり、サイナ、ゲイノ ル、	あぞふ 地名、	海運 船ニテ、 ウンバ	
ニスルニ便 利ナユト、	決心 し キマルユト、	臣下 モノ、イ ノ	諸國 ヘ微
行 ヘテナイナイ デアアルク、	尊い 身 天子タル ミ	職工 サイクス ルヒト、	
橋 カチニテ、ツクリ	厭ふ イヤキニ ナ	造船術 舟チツ クルシ	
カ 視察 シラベテマ タルユト、	改革 イママデ ノユトチア ラタメ、カ ヘルユト、	版圖 をひ	
ろめよーこ 企てた サセユート シカケタ、	同盟 チカヒ、 ヤ		

いし、
 ● がいこくノしよ
 もつちほんやく
 ス、
 ● にんたいトもー
 きトアリ、
 ● しゆふ。せんり
 くち。けつ。か。ほ
 ばしら。つな。ほ
 どフ。お。ど。ル。し
 んく。せ。かい。

シテ互ニ助ケ アフコト、	奪 <small>ウバ</small> ヒ取らん	シテ第一ノ都	すに
一でん	北ノ半島ノ國、	旅行 <small>リョウ</small> キ、	改良 <small>カイリョウ</small>
獎勵 <small>キョウリ</small>	マスマ、コト、	翻譯 <small>ハンヤク</small>	外國ノコトバチ自國ノ
忍 <small>ニン</small> 耐 <small>タイ</small> と勇氣 <small>ユウキ</small>	マシキ、キシヨノアル、	地球 <small>チキウ</small> 上 <small>ジョウ</small>	イカ



第三學年前

第三學年前

高等小學書キ方手本

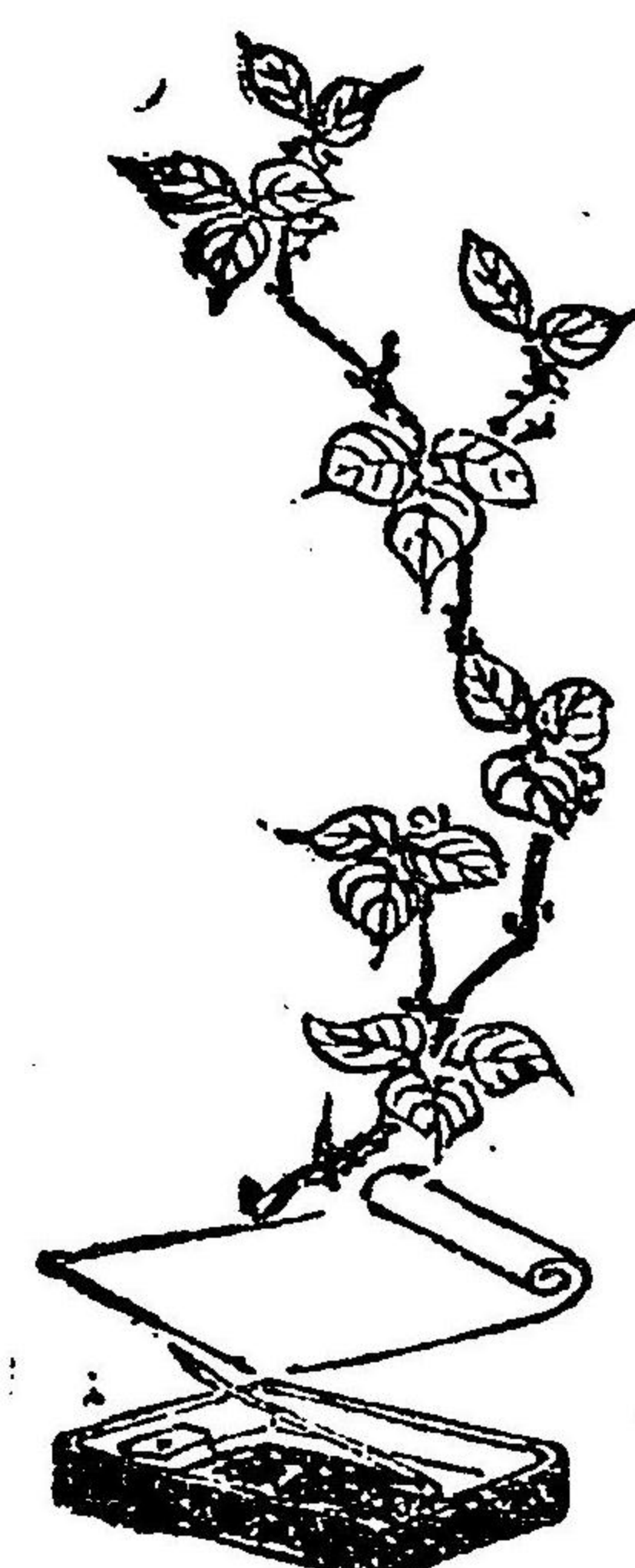
愚 <small>オロカ</small> なるこの男 <small>オトコ</small> ノ名 <small>ナ</small> ヲトコ、	なすべきわざもなし
シトモ	昔 <small>ムカシ</small> の怠 <small>オソカ</small> を
シテ、ナ	老 <small>オシ</small> いて手 <small>テ</small> はきかず
イテモ、	叫 <small>ナゲ</small> び門 <small>カド</small> に乞 <small>コ</small> ひ
惠 <small>メシ</small> サケナリ、	商人 <small>シヤウジン</small> ノ職 <small>シヨク</small> 人 <small>ジン</small> シ、
ナカマ	農夫 <small>ノウフ</small> シヨ、
ヤイ、	官吏 <small>カンリ</small> ノ、
ハ、ソダ	軍人 <small>イクサジン</small> ノ、
ケ、	仕事 <small>シゴト</small> 熟練 <small>ジュケン</small>
改良 <small>カイリョウ</small>	毛皮 <small>モウヒ</small> 、
フ、	違 <small>チガ</small> フ 少量 <small>ショウリヤウ</small>
	携 <small>ケイ</small> 帶 <small>タイ</small> 、
	保 <small>ホ</small> 存 <small>ソン</small> 、

オクニ	都合	価値	産地	異ナリ	デキル、トコロガ	ナガフユト、	コロガ	異
ト、オナシユトヤラ	貨幣	便利	人夫	ノコト、	使	役	成功	堅固
カフコト、	修繕	ツクロヒオ	増築	クコト、	工事	口名	右品	吹呼
吸困	圓國	田男	町番	修身	メルコト、	國語	ノコ	ニ
算術	ソロバ	歴史	ダイダイノ、	コトガラ	地理	理科		
商業	アキナイ	英語	イギリスノ	教科書	學校用具	石		
盤石	筆鉛	筆	筆	硯	針	針箱		
丈尺	足走	徒從	本米	來送	達遲	速拜		

第二學年前

啓	モフシ、	出發	の際	シマ	ツダツ	御見送り	海上	何
の障	ウミノウヘモ、	到着	ツイダ	御安心	諸方	を見		
物	アチコナチ	製糖業	サトーチ	ヨシ	從事	シゴト	ニカ	熱帯
地方	ゴク、アツキ	海に	圍まれ	氣候	變化	カハル	暮	
し易	クシ	理學	問題	研究	ミガキ、	キ	數學	計
算	サンニヨ	證明	アキヲ	カニスル、	發見	ミイダス	溫順	オ
正直	スナホナ	忍耐	ヨイコト、	勇氣	イサマ	シイ	寬	
大	ヤカ、ナル	親切	慈愛	ナサケ	アカキ	ユトニ	日晴	
暖	暑曇	春昔	月有	朝服	ノ、	雨雲	雪要	港
連山	圍風	波ヲ	避ク	カセヤ、	ナミ			

市街 <small>シガイ</small> チ、 神戸市 <small>コウベシ</small> マチ、 街路 <small>ガイロ</small> ノ高低 <small>コウテイ</small> カチノ、 人 <small>ニシ</small>	情 <small>シヨウ</small> ヒトノコ 風俗 <small>フウゾク</small> セ、 習慣 <small>シユウカン</small> セ、 學問 <small>ガクモン</small> セ、 技術 <small>ギジュツ</small> マテ、 制 <small>セイ</small>	度 <small>ド</small> オキ 軍備 <small>クンビ</small> ソナヘ、
--	--	---



第三學年前

第三學年前

小學地理三

第一 アジア洲

總論

全部ほんこんど**赤道**の北にあり
アヒヤ洲ハ、センダイガ、オホ方赤道ノ北ニ

アル、赤道トハ地球(チキ)ノ中央(チュウ)東西ニメグヲシタル、カリニ作りタル、線(セン)ニシテ太陽(タイヨウ)ノ光線(クワセン)ノ、スグ下ニ、テラストコロチイ

フ、長サ一萬百六十里餘アリ、**北氷洋**兩半球(リウキョウ)ノ北ニアリテ、海水ホトシド

最モ小サキ**印度洋**東半球(トウキョウ)テ名ヅク、此大洋ハ島及ビ海少ナク、ハゲシキ

風シバシバ**ウラル山脈**ノ間ニアル山脈ヲ云フ、**裏海**ノ

やよゝろつば兩洲ノ間ニアリ、實ニ地球上第一ノ**黒海**ノ間ニアル

餘まいる、南北二百餘まいるアリ、**六大洲中**もつこも大

暗記問題

- アシヤ洲ノ位置及ビ面積ハ如何ナルモノヲアゲ
- 本洲ノ山脈ノ主ナルモノヲアゲ
- 北氷洋太平洋印度洋ニ注グ各河流ヲアゲ
- 本洲ノ氣候ニツキ知ル所ヲノベ
- 本洲ノ生物及ビ氣候ニツキ記セ

●本洲ノ住民ニ付
キ知レル所ヲ述
ベヨ、

●本洲ニ於ル宗教
ノ種類ヲ述ベヨ

●本洲ニ於テ各宗
教ノ行ハルル地
方ヲ記セヨ、

●本洲ニテ我國ノ
外ノ獨立國及ビ
ソノ政體ハ如何
●本洲ノ獨立國ニ
アラザル國々ノ
模倣ヲノベヨ、

第一あじや、第二あふりか、第三北あめりか、第四南あめりか、第五大洋洲第六よろつばナリ、	パミル高原
支那ノ西ノハシ、印度ノ西北ノハシ、あふがにすたんノ東北ニア ル高キ地方チイヒ、學者ハコレヲ地球ノ屋脊(ヤセ)ナリトイヘリ、	ヒ
ンヅークシ山脈 <small>がにすたん全國ニワタル山脈ナリ、</small>	オビ
エニセイ、レナの諸河 <small>三河ハミナシベ</small>	黒龍江 <small>支那ニ</small>
べりやニイリ海ニ入ル、 あじや第一ノ大河ナリ、	黄河、揚子江 <small>何レモ支那ニア</small>
ン河 <small>一ニカンボチア河トモ</small>	カンガ、インダス <small>イヅレモ印</small>
チギリス、エーフライ <small>イヅレモあじやとるこ、ニア</small>	お
ほむれ <small>オホカタ、ト</small>	東南沿海の地方 <small>東南ノ海ニツヘル</small>
本ナドノ、海ニツ ヘル土地チイフ、	雨量に富めり <small>一年間ニ、フル雨</small>
の差多く <small>寒サ、アツサノ、チ</small>	降雨稀にして <small>雨ノフルコト</small>
	寒暑 <small>ガ、少ナクテ、</small>

第三學年前

沙漠 ハスナ原チイフ 此レ 生物 動物植物 チイフ 氣候の影響を

蒙る シユーノ、サシヒビキチウケル 即チ、シユーノ寒サ その

趣を異にす 其アリサマカ、 椰子樹 シユーロニ、ルイセル植

ノ汁 シ、シボリテ酒ヲ作り、根ハ藥 芭蕉 暖國ニ生スル草ノ名ニ

尺葉ハ一丈ニモイタル、花ハ三年チヘダ 熱帯性の植物

地方ニ生シタル 苔類 キハマテ小サキ草ノ如 灌木 高サ凡ツ一丈

樹木ノ總稱ニシテ、バチ、
山吹ナドノ類チ云フ、

馴鹿 鹿ノ一種ニシテ寒地ニ産ス、形鹿

其角大ニシテ且ツ枝多シ、性 性ヤサシク、シテカアリテ、 白熊 全身

多ク、ソリチヒクニ用ヒ、肉ハ食用トシ皮ハ衣チツクル、

白キ毛アル熊ナリ、寒地ニスム其皮ハ、
シキモノトナシ 貂 毛色黄ナル獸ニシテ、い

イロイロノ象ノ門齒(ゾウノシノビ)ハ長ク口外ニイツ、之レヲ象牙トイフ、性ニ用ユ、	シユクシテ、ユク田畑ナドヲ、タガヤスニ用ユ、	獅子(シシ)身長(シシ)八尺ニモ及ブ、クビニ、マテガミアリ、毛皮ハ、クビカガリニ用ヒ肉ハ食セラル、性質タケシク、獸ノ王トイフ、	水牛(スイギウ)元印度生ノ牛ニテ常ノ牛ヨリ大キク毛ハ粗クシテ青バミタル	灰色(ヒシ)チナシ角ハ大ニシテ、スキトホレリ、色々ノ器具チツクル、	南部(ナンブ)に限らる	南ノ方ニカギツテナル	即チ印度地方半に過ぐイフコト、	マライ人種(マライジン)ヒフノ色、チカス、	シテ其スガマハ、あじや人種ニ、ニマリ、マラツカ半島及ビ此ヘンノ島島ニ住ス、	マシムル	佛教(ブツキョウ)今ヨリ二千四百年釋迦(シヤ)トイフ人印度ニオモノ、	度教(ドキョウ)又ばらもん教トモイフ、印度ニテ一バン古キ宗教ニテ其信ズル神チぶらまトイフぶらまトハ萬物ヲ造リシ神ナリトイフ、	マホメット教(マホメットキョウ)今ヨリ千二百七十餘年前ニまほめつとトイフ人	キリスト教(キリストキョウ)きりすとノ立テタル宗教ニシテ、元也だや教ヨリ出デタル一神教ニシテ仁愛ヲ以テ本トス、分レテ希臘
--	------------------------	---	-------------------------------------	-----------------------------------	-------------	------------	-----------------	-----------------------	---------------------------------------	------	------------------------------------	--	---------------------------------------	--

第三學年前

第三學年前

韓國ノ位置面積地勢及ビ人口ニツキ知レル所ヲ述ベヨ、	我國ト韓國トノ最モ接近セル港ヲ舉ゲヨ、	左ノ諸港ニ就キ知レル所ヲ語レ	(一)釜山浦	佛敎ハ日本、支那、印度ニ行ハレテ信多ク心スル者凡四億餘萬人アリ、	佛敎(ブツキョウ)今ヨリ二千四百年釋迦(シヤ)トイフ人印度ニオモノ、	度教(ドキョウ)又ばらもん教トモイフ、印度ニテ一バン古キ宗教ニテ其信ズル神チぶらまトイフぶらまトハ萬物ヲ造リシ神ナリトイフ、	マホメット教(マホメットキョウ)今ヨリ千二百七十餘年前ニまほめつとトイフ人	キリスト教(キリストキョウ)きりすとノ立テタル宗教ニシテ、元也だや教ヨリ出デタル一神教ニシテ仁愛ヲ以テ本トス、分レテ希臘	東部(トウブ)に行はれて信徒はなはだ多ク	西部(セibu)にびや、べるし	君主專制(クニシユセンセイ)	保護干渉(ホゴカンサウ)	國勢(クニセ)國ノイキ	面積(オウセキ)凡ソ一萬三千方里、南	白頭山(ハクダウサン)高サ凡ソ九千尺餘アリ、	釜山浦(カンサンポ)長港(コウ)ニシテ、	維新(イシン)
---------------------------	---------------------	----------------	--------	----------------------------------	------------------------------------	--	---------------------------------------	--	----------------------	-----------------	----------------	--------------	-------------	--------------------	------------------------	----------------------	---------

- (二) 元山津
- (三) 仁川港
- 首府ニ就キ知レル所ヲ記セ
- 韓國ニ於ケル本邦人ノ經營ニカカル鑛道ヲアゲ
- 氣候ハ如何、
- 主ナル産物及ヒ外國輸出品ヲア
- 韓國ノ沿革ニ就キ知レル所ヲ記セ
- 我國ト韓國トノ關係ヲノベヨ、
- 韓國ノ略圖ヲ畫

後明治(オイ)以來我國ノ政治ノ交通(ユキキ)ノ在留(マツテ)ナル

ノ、仁川港(シム)京城ヲナル、七里ニアリ、京城ニ入ルノ要港ニテ、繁榮實ニ韓國第一ノ開港場(シム)ナリ、**京城**一ニ漢城(シム)トモイフ、市街ノマハリ、長壁(シム)ヲメグラシ、八ツノ門ヲモウク、宮城ハ市ノ北西部ニアリ、我公使館アリ、**本邦人ノ經營**日本

イト、ナン **人參**日本ニテ食ス、ヤカイトスル人參トハ異ニシテ、根細ク、イタクツニモ分レタリ、ムシテ乾カシ藥

ト、**平壤**此地ハ朝鮮ノ開祖箕子(シム)ガ都セシ地ニシテ、シヨイブナル城アリ、豊臣太閤征韓(シム)ノ役、及ヒ日清戰爭ニ其

名高 **寒暑**こもに強けれど 冬ハ寒氣ツヨク、河水ミナ氷ニシ、

ヤクガ **溫和**シユールガ、オダ **米大豆を輸出**米ヲ輸出スル

年凡四百萬圓以上、大豆一百九十萬圓以上(此外牛皮六十六萬圓、人參五十萬圓)等ヲ外國ヘツミイマス、**綿糸綿布**

を輸入ス 紡績(シム)系、木綿(シム)、金巾(シム)ノ類、合セテ一ケ年凡六百四十萬圓餘ニ上ル、**太古**より

第三學年前

第三學年前

わが國ニ關係深く オホ昔ヨリ、我國トカカハ **神功皇**

后の征韓以來 第十四代仲哀(シム)天皇ノ后ナリ、此御方ノ征伐ヨリユノ方、**多くの變遷**

を經て 多クノ、ウツリ、カ **現今の王朝興り** 今ノ王様ノ朝

々其祖ヲ李成桂(シム)トイフ、**つとにその獨立を認め**ハ

今帝(シム)ハ其十三代目ナリ、**まつたうせしめて、東**

クヨリ、朝鮮ハ獨立國デ、支那ノ屬國

洋の平和を保たんがため 朝鮮ノ獨立國(シム)ナルユトナ

東ニアル國)ノ國國ノ、ヤスラカ **皇帝**王(シム)ヨリ一段高キ、**外觀**

ニ、ナルヨ一ニ、スルタマニ、**上**トイフユト、**面目を一新せり** 其スガタチ、ア

シヨトイフユト、**清**

わが國の二十五六倍にあたり 東西一千三百里、南北九

- 清國ノ位置及面積地勢ヲ述ベヨ
- 清國ノ區劃ヲ記セ

●渤海灣ヲ抱ケル
兩半島ヲアゲユ
●威海衛ト旅順口
トニ就キ知レル
所ヲ記セ
●東北部ニ於ケル
情況ヲ記セ
●奉天營口ニ就キ
知レル所ヲ記セ
●天津トハ如何ナ
ル地カ
●北京ニ就キ知レ
ル所ヲ記セ
●河南并ニ西安ハ
如何ナル地カ
●清國內ニ於テ布
設セラレタル鐵
道及ビソノ地方
ヲ記セ
●楊子江沿岸ノ有
名ナル貿易港ニ

リ我國ハ二萬七千餘方里、ナ
ルヲ以テ二十五倍ニアタル
●黃河 青海(羌)地方ヨリ發シ、全長千
餘百里、支那第一ノ大河ナリ、
此河ハ多量ノ黃土ヲフクミテ、流レルヲ以テ、河水常
ニ、ニゴリ黃海マデモ、黃ナラシムルヲ以テ、此名アリ、
●渤海灣 遼東半島ハ、北ヨリ出タルモノ、即チ明治廿八年戰爭(日清)後我國ノ
灣、南西ニアルヲ、直隸灣(仔口)トイフ、
●遼東山東の兩半
島 遼東半島ハ、北ヨリ出タルモノ、即チ明治廿八年戰爭(日清)後我國ノ
屬地トセントセシトユロ、山東半島ハ南ヨリ北ニ出デタル、半島
ナリ、
●威海衛 明治三十一年ヨリ、英國ノ借入地(租借)トナリ、英國政
府ヲオキ、總務太守之レヲ、チサム、然レドモ今英國ハ
東洋艦隊ノ寄航地
●旅順口 明治三十一年ろしやノ借入地トナリ、
トナスノミナリ、
●東亞大總督廳ヲ、オキ之レヲチサム、其
後大ニ修築シテ
●堅固なる砲臺
●關係すこぶ
●困難なる所ナリ
●滿州ニアル、ろしやノ作
●清朝の祖廟のある所ナリ
●北京にいた

第三學年前

就キ知レル所ヲ
述ベユ、
●成都ノ位置ヲ問
フ、
●上海港ノ位置我
國トノ距離及ビ
貿易品ヲアゲユ
●有名ナル運河ノ
通過セル地ヲ問
フ、
●我が臺灣トノ交
通繁シキ港ヲア
ゲユ、
●香港ノ景況ヲ問
フ、
●媽港ハ何國ニ屬
スルカ、
●廣州ハ如何ナル
地ナルカ、
●萬里長城ニ就キ
知レル事柄ヲ語

●鐵道あり 京津鐵道トイフ、其
間八十まいるアリ、
●貿易港 ヨーロピヤノ港ニ
一年間ノ輸出入高凡
一千萬圓以上
●城壁 府ノ、グルリチアツキ壁ニ、トリカコミ城トナ
ニイタル、セリ、其周圍十里ニアマル、ミナ、レンガ石ヲ以
テ、キツ
●内城 高サ三丈五尺餘ノ、アツキ壁ニテ
●皇城官衙 皇帝ノ御城ヤ、
●京漢鐵道 今工
キ壁ニテ、トリカ
コミ七門チマウク
●外城 高サ二丈
ニツクス、其出來上リタル
分四百三十まいる餘アリ、
●歷朝の帝都 代代ノ皇帝
●史上に
●名高き洛陽は今の河南 歴史上ニ名タカキ、昔ノらくよ
ナル「此地ハ支那ノ、オホムカシ周ノ世ニ平王始メテ此地ニ都ヲウツ
セシヨリ後東漢ノ世、隋(唐)ノ世ユニ都セリ故ニ今ニ至ルモ名高キ、
アトナド多ク
●長安は今の西安なり 漢ノ世及ビ唐ノ世、都
ノユレリ、セシ地ニシテ渭水其北
チ流レ、風景ヨロシ、カノ名高キ阿房宮
●漢口 湖北省(シホク)ニアリ
(鄂)及ビ其他名所キユセキ等多シ、
テ、人口八十五萬餘
アリ、年年五百五十萬圓以上ノ、ボーエキアリ、楊子江(江)ニ
ニソヘル地ニ於ケル第一ノ、ハンジョーナル地ナリ、
●内地商

第三學年前

●蒙古新疆ハ何ノ地方カ、
●蒙古ニ於ケル陸上貿易地ヲトフ
●コビ沙漠ノ位置ヲ問フ、
●西藏ノ地勢及ビ位置ヲ問フ、
●清國東南部ノ産物ヲ擧ゲヨ、
●外國貿易品ヲ問フ、
●清國民ノ性質及ビ婦人ノ惡習ヲ問フ、
●清國ノ沿革ニ就キ大略ヲ述ベヨ
●清國ノイギリスト戦ヒタル顛末ヲ語レヨ、

業の一大中心 中部ニ入りタル地方ニテ商賣(貿易)ノ、タメニ四方ヨリ、ヨリアツマツテクル、大ナル場所(市場)ナリ

楊水江 發(源)シ黃海ニソツグ、全長一千四百里アリ、水量分ノ

往來自由 ヲキキガ、シザイナユト、此河ハ重慶ニ至ル
六百里間ハ汽船ガ通ルコトヲ得ルナリ、

望 ヲレカラ先キハ盛(盛)ニ 成都

南京 北京(ペキン)ニダイシテ、イフナリ、人口五十萬アリ、古ヨリ文學盛ニ行ハレ風景(ケシ)ミヤビヤカニシテ文學者ナドノ多クアツマレル地アリ、名所古蹟多ク我國ノ京都ニニタリ、古三國ノ世及ビ近世明ノ時代此ニ都セリ、

ばしば帝都たりし 明ノ時代ノ天子
カマノミヤユデ、アツタ

支那第一ノボーエキ港ニシテ、年年
二億四十萬圓ノボーエキ高アリ、

綿布 金巾木綿
ヨリトリタル種ノシビレグスリニシテ、支那人ハミヅカラスキテ、其煙(タバコ)チノム、タダシ此モノハ大ニ人身チガイスルドクブツナリ、

蘇州 人口凡ソ三十萬、商業盛ニシテ、清人ノ「ユトワザ」ニ「天ニ王道アリ、地ニ蘇江アリ」(テンニ、オードーアリ、チニ、ソユーア

第三學年前

●清國ト「ロシヤ國」トノ關係ヲ問フ
●我國ノタメニ、失ヒシ地、
●西洋諸國ノ租借地ヲ問フ、
●近時ニ於ケル外交ノ有様、
●清國遼東半島ノ圖ヲ畫ケ、
●支那東南部ノ圖ヲ畫キ有名ナル港ヲ擧ゲヨ、
●滿州ノ圖ヲ畫ケ
●支那ニ於ケル鐵道線路圖ヲ畫キ有名ナル都會ヲ記入セヨ、
●渤海灣ノ沿岸ヲ圖シ有名ナル港ヲ記セ、

有名なる 有名ナル地ナリ、二十七八年前
役後、馬關條約(マカウ)ノタメニ、開キシ開港場ナリ、

運河 名高キ、ホリワリノユト、此運河ハ今チサル、千四百七十年前
隋(イ)ノ煬帝(イ)ガ、ホリワリタルモノニシテ、天津ヨリ、杭州府
(イ)ニイタル、長サ二百六十四里、幅セバク、水深シ、白河、黃河、揚子江ノ三河ノ水ヲヒク、運輸(運)ノ便モツトモ大ナリ、

杭州 人口凡ソ一百万アリテ、水利ニ、ベソリニシテ、商業盛ナリ、二十七八年戰役後、馬關條約(マカウ)ノタメニ、ヨリテ開キシ港ナリ、

州 人口凡ソ六十萬支那南部ノ要港(要)ナリ、臺灣(タイ)淡水(タン)ハ百三十七海里(イ)アリ、我國トハ、カンケイ甚ダフルク、開港(カ)以前

交通 厦門 厦門ハ西南方ノ海上ニアル、厦門島中ノ一港ナリ、
セル處ナリ、南洋貿易(南洋)ノ要港ニシテ、福州ト共ニ、我日

本郵船會社航路(本)ニアル、澎湖島(澎湖)ト
ト百三十海里ヲヘダテテ海底電線ノモウケアリ、

交通繁シ

香港 人口十六萬餘、廣東(カント)ノ一小島ニアリ、
トガ多ヒ、我長崎ヲサル一千七十里アリ、自由貿易港ナルヲ以テ、各國ノ船、幾萬トナクアツマリ、商業ノ盛ナルユト、東洋第一トス、我國ノ砂糖ハ、此地ヨリ輸入スルモノ多シ、日本郵船會社ノ航路ニアタル、此地ハ今ヨリ六十五年前、阿片ノユトヨリ、英國ト戦ヒ、終ニ敗レテ六十三年前南京條約ニヨリ此地ヲ英國ニアタヘタリ、

第三學年前

一年ノ、ポーエキ高凡ソ 七百萬圓バカリアリ、	百貨の集散盛にして 品物が、ア	ツマツタリ、又出タリスル ユトガ、サカンデアツテ、	わが國この取引 物ノ、ウリカヒ、	媽港 香港ノ西ニアル、小半島ニシテ又澳門(マカオ)トイフ、徳 川家康時代ニハ、我國人ノ常ニ、オーライセシ所ナリ、 廣州	廣東トモイフ地ニシテ、人口六十萬餘、支那南部第一ノ都會ナリ、人 民ハ商業ニサトクシテ、住民ノ三十萬餘ハ、廣東河上ニ大小四萬ノ船 ヲウカベテ、市ノ如ク、ミチヤ、ハナバタケヤ、イヌ、ニハトリナドモ、 其中ニソナハツテ、一生陸ヲフマズシテ、死スルモノアリトイフ、絹 布ノ製造、シヨーズニシテ、廣 東繻子(シヨーズ)ハ此地ヨリ産ス、 有名なる萬里長城 名高ヒ「バ キ城二千百餘年前、秦(シ)ノ始皇帝(シロ)北ノ方ノエビスチ、フセグダ マニ、此レヲ造ル、長サ七百餘里、東ハ山海關(ハルビン)ヨリオユリ、山チ ユエ、谷ニマダガリ、西嘉峪關(カン)ニ達ス、壁(シ)ノ高サ二丈五尺、アツ サ一丈五尺、外ハ「レンガ」ニテ、タ、ミ、内ハ土石チ、ミダス、六十間 毎ニ「トリデ」アリテ、要 二大工事 二ツノ大キナル、「フシ 害ノ地ハ三重トス、 運河ト長城チサス、 業	古 元代ノ祖先、忽必烈(コッピ)トイフ人、此地ニ起レリ、其人民ハ大ニタ ケキ性質デアツテ、我弘安四年ニ九州ニセメ來リシモ、又ヨロツ
---------------------------	--------------------	------------------------------	---------------------	--	--	---

第三學年前

パ州ニセメ入りシモ、此地方ノ人民ナリ、シカシ今ハムカシノ、ユ 一ナタケキ風ナク、亦「チエ」モナキオロカナル民ノミトナレリ、 コ	ビ沙漠 全部砂原ニアラズシテ、ヒクキ岩山、ダテユニ、アリテ、 其間ニママ平地アリ、雜草(ワツ)ヤ灌木(カク)チ生ス夏短カク、 冬長ク、寒氣ツヨシ、人民ハ天マク中ニ スミ、牛、馬、ラクダ、ヤギ、ナドチカフ、 賣買城 あじやろしやノキ やたニチカク、ボ	一エキ、サ カンナリ、 西藏は世界屈指の高原なり チベットハ、世 界中デ、ユビオ	リノ名高イ高キ地デアル、 至土海面上 東南部は土地一般 一萬尺ヨリ、一萬二千尺以下ノ地ナシ、	に肥はて 東南ノ楊子江(リ)ノヘンハ土地 蠶糸 カイコノ お	もむき ナリユキ 綿糸 木綿糸、即チ「ポーセキ糸」ニシテ、我國ヨ リ輸入スルユト、一年一千七百六十餘萬	圓、 石炭 一年ノ輸入高凡ソ 六百五十餘萬圓、 まつち 一ケ年ノ輸入高凡ソ 二百八十餘萬圓、 水産	物 スルメ、ユンブ、カンテン、其他ホ シ魚類一ケ年凡ソ二百餘萬圓、 油糟 豆ナドノ油チトリタル カスニテ、ユヤシトス	ルモノ、我國ニ輸入スル高 一ケ年凡六百九十餘萬圓、 綿 一ケ年ノ輸出高、凡 六百四十餘萬圓、 豆類 豆チ大
---	---	--	---	--	---	--	---	---

ス「一ヶ年凡ソ二
百六十萬餘圓、**勤勉**にして**商業**に巧シテ**商賣**ニ上手
ト、**婦人の纏足** 女ハ小サキ、時ヨリ足ヲ、木綿ギレナドニテ、
シマヌユト「此國ノ風トシテ、女ハ足ノ
小サキヲ、モットモ、タツトブガ故ナリ、**悪しき風習**ヲハシ、ナ
早く開け ハヤクカラ、國民ノ、ナ
ビタリシテ、其タビ毎ニ時
代ノカワルユトナイフ、**他に例少**シ他國ニ其ノタマ
州より興りて一統の業をなしたるものなり 州
カラ、オユリ、イデテ、明ノ天子ヲ亡ボシ
支那ヲ一ツニ、オサメタモノデアル、**其國運** 其國ノ、イ
交上に失敗を重ねたり 外國トノ、ツキアヒ上ニヤ
片賣買の事 兩廣總督(ウイゴ)林則徐(シユン)、アヘンノ、人民ニ害ト
入セシアヘン、二萬函ヲ、ヤキ
テ、輸入ヲ、トメタルユト、**イギリス、フランス、一國**

第三學年前

の連合軍に破られ いざり、すふらんす一ヶ國ノ一ツニナリ
賊(ツウゲイ)ナルモノオユリ、此賊ノ外國船ニノリヨミ、ノガルル者多カ
リシ時、タマママ、英國ノ商船ある一號ニ此賊ノガレケレバ、清國官
吏、カツテニ其船中ニ入りテサガス、故ニいざりすノ領事大ニイカル
此時ふらんす國ノやそ教師モ亦人民ニ殺サレケレバ、二國ハ心ヲ合セ
兵ヲ一ツニシテ、攻メ入り、終ニ北京ヲ、セメオトシ清
國政府ハ償金(シヨ)千八百萬兩ヲ出ダシテ事ヤミタリ、**ロシヤ**
國に北境の地を割き ろしや國ノタメニ、タビタビ、セマラ
方ヤうすり一地方ナド **西洋の諸強國** 西洋ノ強キ國國「いざ
チ分チヤリシユト、**争ひ迫りて** 我レ一トイ
ナドノ國チカス、**おのれに利**
益ある條約を結び ケイヤクナスルユト、**おのおの租**
借地を得たり 入地チエタ、**ドイツ國の膠州灣** 山
省(シヤン)ニアリといつノ宣教師(セン)二名ガ殺サレタルノ故ヲ以テ九
十九年間ノ借入地トナリ今といつヨリ太守ヲ、チキテ、オカム、

- あじやろしやノ位置ヲ問フ、
- あじやろしやノ區劃ヲ圖セ、
- しべりやノ位置地勢面積ヲ問フ
- からふと島トかむちやつか半島

ロシア國の旅順口 遼東半島(ラオント)ノサキニアリテ、明治三十一年旅順口ト大連灣(ダレン)ト九十九年間ノ借入地トナレリ、今ハろしや國ヨリ總督ヲ、チキテ其地ヲオサメ港ヲカラヘ、砲臺ヲ、キツキテ軍港トナサントセリ、

イギ

リス國の威海衛 直隸灣(チヨクシ)ノ南岸ニアリ、明治三十一年ヨリ借入シ、總務大守(トウジウ)ヲ、オキテ之ヲオサム、今ハいざりすノ東洋艦隊(トウヨウ)ノ寄航地(キコウ)トナセリ、

北清の變亂 義和團(ギョウ)トイフ、(カシ)ノ寄航地(キコウ)トナセリ、

北京ニアル、外國公使館ヲカユミタル、ソード、

アジヤロシヤ

西北部は一大平原 西ヨリ北ノ部ハ一ツノ面積およそ

わが國の三十倍にあたり 其土地ノヒロサ、八十萬餘方里アリテ、我日本ノ三十倍ニアタ

ル支那全國ヨリ大キク、あじやノ大凡三分ノ一ニアタル

サレド人口ハナハダ少ナク、我國人口ノ八分ノ一ニスギヌ、

チャツカ半島 我國ノ千島トムカ **カラフト島** モト其南半分ハ我國ニ

第三學年前

第三學年前

- ニ就キテ知レル所ヲノベヨ、
- うらじおすとつ
- くニ就テ知レル事情ヲ問フ、
- しべりや鐵道ノ通過セル地方ヲ舉ゲヨ、
- ばいかる湖ノ位置ヲ問フ、
- さやふた及ビヒト
- むすくトハ如何ナル地ヅ、
- しべりやノ氣候
- チノベヨ、
- しべりやノ産物
- チノベヨ、
- 中あじやノ位置
- 中あじや鐵道布設ノ地ヲ問フ、

ヅクセシガ明治八年我國千島諸島ト、ユー

カンセシ所ナリ、又サガレン島トモイフ、

多し 海中ヨリノ産物ガ、マイヘン多ヒ、サケ、

トツク港 人口三萬餘アリ、我國ノ箱館ヨリ、四百二十餘海里アリ、

すこつくナル名ハ「東方チ雄鎮(トウホウ)スル」ノ意ナリトイフ、サレバ砲臺チキツキ、軍艦チウカベ、陸海ノ要害ハナハダ、ゲンシユナリ、

定期航海 ユーカイスルユトチイフ、

港内凍りて 港ノ

海水ガユホリ **妨ぐ** シヤマチス

シベリヤ鐵道 西ハろしやノ

すぐヨリオヨリ、東方うらじおすとつニ至ル四千九百五十マイル

即チ、我二千二十八里餘、凡ツ三億萬圓ノ、ヒョーヲ以テ、シキタル大

鐵道ナリ、**東清鐵道** 北ハうすり鐵道ノぐるでこーをヨリシ

イカル湖 長サ凡二百里幅平均二十里

深サ四千尺ノ山湖ナリ、

ノボーエキ地ニシテ、毎年ユニニ、アツマル、商

人二萬餘、一千二百萬圓以上ノ貿易高ニ達ス、

陸上貿易場ニ

●このかしやノ位置及ビ地勢ヲ話セ、
 ●ばくちヨリ産スルモノハ何カ、
 ●しべりやノろしや領トナリシ關係ヲ記セ、
 ●中あじやノ露領トナリシハ何時頃ナルカ、
 ●ろしやがあじやろしやヲ得シ頃末ヲ擧ゲ、

アラザルユ
 一エキ場、
重要の都會 カンヂンナ
 一般に寒さはな

はだしく
 一ダイニ寒ムサガヒドイ「うらちおす」とつくニテ
 モ一月ノ平均温度氏ノ〇下十六度ニイタル、

ムスク
 をび河ノ岸ニ近クあるたい山脈ノ礦物ノ産地ノ中心地ナ
 リしべりや中部第一ノ都會ニシテ大學校ノモウケアリ、

イルクツク
 ねにせい河ノ南西ヨリ北西ニムカヒ、マガソル處ニ
 アリ、やこーつく州ノ首府ニシテ、ゾーグ、毛皮ナド

ノ取引サカ
世界最寒の地 地球上デ一バン、サムキ土地「冬ハ
 攝氏ノ〇下七十度ニ下リ、樹木ノ

如キ中マデ、ユゴリ、斧モ、ハリノ如ク、モロクナリテ、木チキツク
 ルコトサヘ、デキズ、川水ハ、其ソユマデ氷リ、地中モ亦數尺ニ及ビ夏

ニイタリテ、漸ク、其表面ノミトクルニイタ
 ル、故ニ人畜共ニ生活スルコトアタハズ、
沃野 ヲクユエ、
穀

類五コクノ
毛皮 ぱノ市場ニイヅルオモナル、産物ナリ、
中ア

ジャ
 ろしや行政區劃(待ガセ)上ノ名ニ
パミル高原 あじや中央
 ヨリ少シク

西南ニシテ、印度ノ西
裏海 前ニイ
鐵道裏海の岸より

第三學年前

第三學年前

東に向ひ 裏海ノ鐵道トイヒ、裏海ノ東岸ヨリ起リ、清國
 ノ西境ニ向ヒ、全長一千四百百まいるニタツス、
 タシ

ケント する河ノ流レニアリ、
コーカシヤ 面積我國ヨリ少
 シ大ナリ、こー

かさす山脈ニヨリテ
黒海 前ニイ
バクー 此地ノ石油ハ世界有
 名ノ物産ニシテ我國

ヘモ、サカンニ、輸入ス、此ゴロ長キ鐵管(分ツ)チ通
 シテ裏海ノ岸ヨリ黒海ノ岸ニオクソリトイフ、
侵略 土地チオカ
 トリテ

我モノトスル
四十餘年前清國と條約を結びて いぎ
 コトチイフ、

ふらんす連合軍ノ清國ニ、セメ入リシ時、ろ國公使いぐなちふトイ
 フ人、其仲裁(待行)ニ入リタル、ノ故ニヨリ、清國ト、ヤクソクチ、ムス

ビテ、土地チ、
日本海沿海の地 日本海ニ、ソヘル地「即チうす
 り」江ヨリ、東ノ土地ニシテ

うらちほすどつくナ
占領 セメテ其土地
根據 ヲリドコロト
東

方の經營 東ノ方チヨクオサメテ、イロ
 イロノ、ソナヘチナスコト、

アジヤトルコ附アラビヤ

●あじやとるこノ位置ヲ問フ、

- あじやとるこハ如何ナル地方チイフカ、
- 小あじやトハ何レノ地方カ、
- あじやとるこ第一ノ都會チアゲヨ、
- しべりやハ如何ナル地方カ、
- ゆるされむ及めじなノ有名ナル所以チ問フ、
- めそぼたみやニツイテ知レル事柄チノベヨ、
- あらびやノ地勢氣候及産物ヲ述ベヨ、
- べるしや灣口ノ小國チ問フ、

海峡をへだててヨーロッパに對す ぼすば
 峽及びだるだるなる海峡チ中ニシテより
 ろつばとるこニムキヤツテオル、
 同名灣ニノヅミ古ヨリ有名ノ都ニシテ
 貿易盛ナリ、人口十六萬餘アリ、
 きユダヤ國 ユーモンニツキテ名高ヒ也
 ルサレム 此地ハ地勢高ク海面上二千五百尺ニ達ス、
 スト教祖キリストの墓あり、
 カガアル「きりすくと教ハ、よゝろつば洲のめりか洲ニテ信セル、宗教ニ
 テ、きりすと、トイフ人、ゆるされむノ近傍ベツレヘむトイフ地ニ生
 レ三十歳ノユロ、ミツカラ一ノ教チトキオコシ始メテ、ばれすちなト
 イフ地ニテ此教チ、トク、信ズルモノ日ヨリ多シ、シカルニ此時也
 教チ信ズル民コレチ、ニクミ終ニきりすとチゆるされむニ於テ十字
 架(架)ニクギニテ、ウチツケ、カシユロシタリ今此地ニ墓及ビ其他ノ
 フルキアト、ナド多ク、ノコレリ、西洋ノ曆(ヨ)ノ紀元ハ此きりす
 とノ生レシ年チ以テス、實ニ我國垂仁天皇ノ三十年ニアタレリ、

第三學年前

第三學年前

- あでんとハ如何ナル地カ、

그리스、ユーフラト兩河 西洋歴史上ニテハ此河ノ、ホト
 む、いぶトイフモノ生レタリ
 トテ此國トトモニ名高シ、
 ナ、馬 アラビヤ馬トテ其
 アブリテユナトナシ飲料
 トスルユト茶ノ如シ、
 マホメット教祖マホメットの墓
 百餘年前ニめつかトイフ地ニ生レ始メ也
 セシガ終ニ自ラ一ノ宗教チオコシ終ニ其教法ヲ軍隊ニクミ兵力チ以
 テ四方ニセマリあじやノ西南部よりろつばノ南部あふりかノ北部へ
 其教チヒロメタル人ナリ、今ニイタリ此教チ信ズルモノ一億人ニ上
 ルトイフめじなニハ市内ニ大ナル寺アリテ其内ニまほめつとチ、ホームル、
 ルチモツテ貿易盛ナリ、我横濱ヨリ凡六千七百海里アリ、
 南ニアル、一國ニテ、長ク、あらびやノ、東南及ビ西南ノ、海岸チ、フチ
 トレル國ナリ、面積八萬餘方里、人口百五十萬ニスギズ、首府チます

- いらんノ位置并ニ地勢ヲ述ベヨ
- いらん地方ハ如何ニ、ワカタレタルカ、
- べるしやニツキシレル事情ヲ記セ、
- あふがにすたんノ國勢ヲ問フ、
- べるしや及ビあふがにすたんノ首府ヲ問フ、
- へらつとトハ如何ナル地ナルヤ
- べるちすたんノ國狀ヲ問フ、

けーとトイフ、

イラン地方

内地には沙漠多シ

内地ハ高原ニシテ、其地ハ、沙原ニシテ、鹽湖多ク、鹽氣地面チ、オホヒ、植物ヲ作

シ、

ペルシヤ

南北大凡七百マイル、東西大凡九百マイルニシテ面積六十二萬八千平方マイルアリテ、人口大

凡七八百萬人アリトイフ、人民ハまほめつと教ヲ信シ其四分ノ一ハ住所定メナキ人民ナリ政體ハ君主專制(センゼイ)ニシテ君主シヤトイフ

兵力貿易トモニ盛ナラズ、海軍ハ小

獨立國なれども國勢

振はず

獨立セル國ナルモ、國ノイキホヒ、甚ダサカナンナラズ、

アフガニスタン

北南

五百マイル東西又五百マイル面積二十一萬餘平方マイルアリ人口大凡四百萬人ニスギズまほめつと教ヲ信ズルモノニシテ住所定マリナキ民ナリ、**兩國の干渉を受くる、ここ多しいざりす、ろし**

ツチ、ウクル

隊商交通の要路

隊商トテ何百人トイフホド隊チナシテ貿易ニユク商人ニテ

第三學年前

第三學年前

此等ノオーライスル、カベルチスタン 南部中央あじやニ、ア

凡五百五十マイル南北四百五十マイルアリ酋長チ、みる、もはむつと汗(シ)トイヒ人口四十六萬農業盛ナリ又石炭チ出マス、

印度

印度 又天竺(ツシ)或ハ前

ネパール

ヒマラヤ山ノ高原ニ、ユクタ

最モ廣キトコロ百五十哩(ハ)最モ長キトコロ五百哩アリ、面積五萬四

ノタメニ、國土チ **ブータン** ヒマラヤ山脈東部ノ獨立國ニシテ

ニスギズ、面積一萬六千方哩人口二萬餘アリトイフ、首府クブカナト

イフ、國民多ク佛教ヲ信ズ、産物ハ米、シヤユ、小馬、絹、諸金屬等ナリ

附近

には**沙漠**連れり 其キンペンニハ、さばくガ、ツツヒ

デリ

古ノもしごる帝

ベナレス

ばらもん教ノ

カルカッタ

度印

- 印度ノ位置面積及人口ヲ語レ
- 世界第一ノ高山并ニ其高サヲ問フ、
- ひまらや山脈間ニアル二小國チアケヨ、
- べらん高原トハ何レノ地方カ、
- べらん并ニいんだす河ノ流域チ問フ、
- べらんが河沿岸ノ名高キ都會チアケヨ、

<ul style="list-style-type: none"> ● かるかつたニ就キ知レル所ヲ記セ ● 左ノ諸港ニツキ知レル事柄ヲ語レ ● (イ) ぼんべい ● (ロ) まごらす ● (ハ) ころんぼ ● 半島ノ南ニアル島名 ● 印度ノ氣候ヲ記セ ● 産物并ニ外國貿易品ヲアゲヨ ● 沿革ニツキ知ル所ヲ問フ ● 印度ト英國トノ關係ヲ述ベヨ 	<p>大總督ノナルトコロナリ、</p> <p>ボンベイ ぼんべいトイフ小島ニアリテ、良港ナシ、人口八十萬、貿易かるかつたニツグ</p> <p>日本郵船會社、ノ航路ニアタ</p> <p>マドラス 印度第三ノ開港場ニシテ人造ノ良港ナリ、</p> <p>セイロン島 ぼんべいトイフ海峽ヲヘダテテ印度半島ノ南東ニアリ、其面積我北海道ニスユシク小サク、佛教ノ祖シヤカノ墓</p> <p>及ビ其他修業セシ山等ノアト多シ、</p> <p>印度洋航海の要路 印度洋ヲ航海スルニ、其カンザンナル路筋</p> <p>ニアタ</p> <p>一般に暑い 一ダイニアツキユト</p> <p>夏日雨多し 夏ハ百度以上ニ上ル</p> <p>ナツ雨ガ多イ一 かんがす河ノ流レル</p> <p>地方ハ世界第一ノ雨多キ地ナリ、</p> <p>古代において大いに</p> <p>文明に進み 古ノ時代即チ大凡三千年以前ニオイト、ステニ</p> <p>教の祖釋迦の出生地 佛法ノ元祖シヤカノ生レ地「しやかハ</p> <p>るたトイフ凡ツ二千四百餘年前中 印度カビラ城ニ生ル、父チじよー</p> <p>ぼん王トイフ、二十九歳ニシテ帝ノ貴ト妻子ノ恩愛ヲシテ宮中チ</p> <p>出テ山林ニ入り難行(ナンギ)六年ニシテ、始メテ道理ヲ、サトリ、人ハ、イ</p> <p>ロイロノ階級アルベカラズ、一切ノ人民皆平等(ヒト)ニテ何人モ、ユク</p>
--	--

第三學年前

第三學年前

<ul style="list-style-type: none"> ● 印度支那ノ位置ヲ問フ ● 印度支那トハ如何ナル國々ヨリナルカ ● びるま海峽殖民地、しやび、ふらんす領印度支那以上各國ノ位置ヲ記セ ● びるまノ沿革ヲ語レ ● らんぐーんノユ 	<p>此道理ヲサトレバ未來(イラ)ニ幸福チウクル</p> <p>コトヲ、得ベシトノ説ヲトキタル人ナリ、</p> <p>ホルトガル人海</p> <p>を航して、この國に來り ぼんべいトイフ人始メテ海ヲウツリテ支那</p> <p>ニ來</p> <p>政權を握るに至れり 政治ノケンリチ、ト</p> <p>地一切ヲ、シハ</p> <p>イスル役人、</p> <p>印度支那</p> <p>印度支那一ニ又、後印</p> <p>ビルマ 面積我國ヨリ稍大ナリ、</p> <p>支配 支ウケ</p> <p>テ治メサス</p> <p>米の輸出多し らんぐーん米ト、トナヘ我國</p> <p>ルユト、</p> <p>海</p> <p>峽殖民地 領分地トイフニ同シ、</p> <p>シンガポールは東</p> <p>西交通の關門 しんがぼーるハ同名島ニアリ、東洋西洋ノ、オー</p> <p>リ、人口凡ツ十四萬いざりす、といつ、及ビ支那人住居シ我領事館(シ</p> <p>シアリ、横濱ヨリ二千九百二海里ナリ、砂糖、米チ多ク我國ニ輸出シ、</p>
---	--

- トチ記セ、
- しんがぼしるト
- ハ如何ナル地カ
- しゃむノ沿革ヲ
- 問フ、
- ふらんす領印度
- 支那ノ沿革ヲ記
- セ、
- さいごんノ事ヲ
- 記セ、
- しゃむ及ビふら
- んす印度支那ノ
- 首府及ビソノ位
- 置ヲ問フ、
- 印度支那中ノ獨
- 立國チアグモ、
- 印度支那中ノ屬
- 地并ニソノ本國
- ナ記セ、

我國ヨリハ、金巾、石炭、まつちチ輸入ス、此地ハ、あじや洲ノ一バン南ノハシニシテ、赤道ノ直下ニアル故、太陽常ニ頭上ヲ通り、四季ナクアツサ

シヤム 獨立ノ王國ニシテ我國トノ條約國ナリ、行政權ハ國王ト内閣ト共ニ之レヲトリ、且ツ、議會(イカ)ヲマウケ、教育大ニ進ミ、諸官立學校、八十餘校アリ、且ツ陸海軍ヲソナヘ、其他開明日ニススメリ、

徳川時代の はじめに**山田長政**といふものの戦功を立てし所なり、徳川將軍ノ、始メニ、山田長政トイフモノガ、イカサノ手柄ヲシタ處デアル長政ハ仁左衛門ト稱ス、駿河ノ人ナリ、徳川二代將軍秀忠ノ元和年間ニしゃむニ至ル、ママママ國內亂レ、國王らこんチ攻ムルトモ、勝ツコトアタハズ長政即チ日本人ノ彼地ニアルモノチ、集メ、自ラ、シキシテ、大ニらこんチヤブル、國王大ニヨロコビ、其女ヲ以テメアハシ、らこん王トス、後、人ノタメニ毒殺セラ

興廢 王ガオコリタチタリ又**今の王朝**今ノ王様ノ時代一

んごるん第**安南**我國トノ、カンケイ古ク、足利ノ末ヨリ南洋ニ航一セナリ、スルモノ多ク、**豊臣氏**、**徳川氏**ノ初代ニハ御朱印船(フネ)トトナヘテ、重ニ此地ニ貿易シタリ、面積二十二萬哩人口凡六百萬人アリトイフ、

カシボチヤ 西南

第三學年前

第三學年前

- まらい群島ノ位
- 置及ビ其内ニテ
- 著名ナル島島チ
- 記セ、
- 此群島ニスマル
- 人種ハ如何、
- まらい群島ノ大
- 部ハ何國ニ屬ス
- ルカ、カツ其首
- 府ヲ問フ、
- じゃば島ノ有様
- ナ問フ、
- ぼるねおノ北部
- ハ何國ニ屬スル
- カ、
- ふいりびん群島

クユエタル地方ナリ、此地元かんぼちや王國タリシモ、安南ノタメニ屬地トナリ、後又、安南トトモニふらんすノ領地トナル、

イゴン 人口八萬餘支那人モットモ多シ外國米、南京米ナドト稱シテ輸入スルハミナ此地方ヨリ産スルモノナリ、

マライ群島

ジャバ島 ハ石油、砂糖、こーひノ産多ク、おら

ボルネオ島 世界第三ノ大島ニシテ金剛石イト多

北部にはイギリス國の領地あり、ぼるねおノ北部

領分ナリ、面積三萬一千方哩、海岸ノ長サ

フィリピン群島

土地オホムチ、火山質ニシテシバシバ地震(シ)アリ、河流又少ナカラズ、其河スサハ、ユクヒラケ、**稻田**及**甘蔗畑**(サトウ)多シ、煙草又多ク、其

他マニラ麻、ユーヒー等、我國ニ輸入スルコト大ナリ此群島ハ元いすばにやノ領地ナリシモ、八年前ヨリ合衆國ニ屬ス、群島ノ數二千餘、面積十一萬一千方哩

ルソン島 我臺灣ノ南方ニ對セル、大

人口八百萬アリ、

マニ

ノ沿革及ビ首府
トツノ産物ヲ記
セ、

●大洋洲ノ位置及
ビ區劃ヲ語レ、

●大洋洲ニ於ケル
氣候ト海風トノ
關係ヲ記セ、

●おしすどらりや
ノ内地ノ氣候ヲ
問フ、

●おしすどらりや
ノ面積ヲ問フ、

●たうんすびる、
しごにー、める
ぼるん諸港ニ就
キ知レル事柄ヲ
語レ、

●おしすどらりや
ノ生物礦物ヲ記
セ、

ラ マニヲ灣ニノヅミ、南洋オーテイノ要地ニテ、日本郵船會社ノ航
路ニアタリ、我國人ノ在留(ザイリ)多ク、我領事館アリ人口十六萬、煙
草ハまにら煙草トテ製出サカンナリ、我國ヘモ砂糖ト共ニ
輸入スルコト多シ、香港チナル、東南六百三十海里ニアリ、

第二 大洋州

海風の影響を受く 海ノ風ノカシヒビキ 溫和なり 氣候

寒暑の差多く降雨はなほた少し 沿岸

シドニー 人口四十二萬おしすどらりや最古ノ都府ニ
シテ炭田(タン)ノ中心ニアリテ良港ナリ、おし
すどらりや艦隊ノ根據地(コンキ)ナリ、我日本
郵船會社ノ航路ニアタリ我領事館アリ、メルボルン 人口ニ
第一ノ都會ナリ四十五萬餘ア
リ日本郵船會社ノ航路ナリ、

メルボルン 人口ニ
於テハ

タウンズビル 港 北東ニ
アリ我

シドニー 人口四十二萬おしすどらりや最古ノ都府ニ
シテ炭田(タン)ノ中心ニアリテ良港ナリ、おし
すどらりや艦隊ノ根據地(コンキ)ナリ、我日本
郵船會社ノ航路ニアタリ我領事館アリ、メルボルン 人口ニ
第一ノ都會ナリ四十五萬餘ア
リ日本郵船會社ノ航路ナリ、

メルボルン 人口ニ
於テハ

タウンズビル 港 北東ニ
アリ我

シドニー 人口四十二萬おしすどらりや最古ノ都府ニ
シテ炭田(タン)ノ中心ニアリテ良港ナリ、おし
すどらりや艦隊ノ根據地(コンキ)ナリ、我日本
郵船會社ノ航路ニアタリ我領事館アリ、メルボルン 人口ニ
第一ノ都會ナリ四十五萬餘ア
リ日本郵船會社ノ航路ナリ、

メルボルン 人口ニ
於テハ

タウンズビル 港 北東ニ
アリ我

シドニー 人口四十二萬おしすどらりや最古ノ都府ニ
シテ炭田(タン)ノ中心ニアリテ良港ナリ、おし
すどらりや艦隊ノ根據地(コンキ)ナリ、我日本
郵船會社ノ航路ニアタリ我領事館アリ、メルボルン 人口ニ
第一ノ都會ナリ四十五萬餘ア
リ日本郵船會社ノ航路ナリ、

メルボルン 人口ニ
於テハ

タウンズビル 港 北東ニ
アリ我

シドニー 人口四十二萬おしすどらりや最古ノ都府ニ
シテ炭田(タン)ノ中心ニアリテ良港ナリ、おし
すどらりや艦隊ノ根據地(コンキ)ナリ、我日本
郵船會社ノ航路ニアタリ我領事館アリ、メルボルン 人口ニ
第一ノ都會ナリ四十五萬餘ア
リ日本郵船會社ノ航路ナリ、

メルボルン 人口ニ
於テハ

タウンズビル 港 北東ニ
アリ我

シドニー 人口四十二萬おしすどらりや最古ノ都府ニ
シテ炭田(タン)ノ中心ニアリテ良港ナリ、おし
すどらりや艦隊ノ根據地(コンキ)ナリ、我日本
郵船會社ノ航路ニアタリ我領事館アリ、メルボルン 人口ニ
第一ノ都會ナリ四十五萬餘ア
リ日本郵船會社ノ航路ナリ、

メルボルン 人口ニ
於テハ

タウンズビル 港 北東ニ
アリ我

シドニー 人口四十二萬おしすどらりや最古ノ都府ニ
シテ炭田(タン)ノ中心ニアリテ良港ナリ、おし
すどらりや艦隊ノ根據地(コンキ)ナリ、我日本
郵船會社ノ航路ニアタリ我領事館アリ、メルボルン 人口ニ
第一ノ都會ナリ四十五萬餘ア
リ日本郵船會社ノ航路ナリ、

メルボルン 人口ニ
於テハ

タウンズビル 港 北東ニ
アリ我

シドニー 人口四十二萬おしすどらりや最古ノ都府ニ
シテ炭田(タン)ノ中心ニアリテ良港ナリ、おし
すどらりや艦隊ノ根據地(コンキ)ナリ、我日本
郵船會社ノ航路ニアタリ我領事館アリ、メルボルン 人口ニ
第一ノ都會ナリ四十五萬餘ア
リ日本郵船會社ノ航路ナリ、

メルボルン 人口ニ
於テハ

●おしすどらりや
ノ沿革ヲ述ベヨ

●おしすどらりや
ノ政治組織
ヲ問フ、

●にゆーじーらん
諸島、ばぶあ島、
はわい島、以上
諸島ノ位置ヲ問
フ、

●おしすどらりや
如何ナル地カ、

●はわい群島并ニ
ソノ首府ニ就キ
知ル事ヲ述ベヨ

●おしすどらりや
にゆーじーらん
諸島、ばぶあ島、
はわい群島ノ管
轄國チアゲヨ、

シテ前脚短ク後脚甚ダ長シ、ユク後脚ノミニテトビ歩ク腹ノ中央ニ
皮ノ、ヒダアリテ袋チナシ兒チ其中ニ入ル、ヤヤ成長スレバ常ニ之レ
チトモナヒモシ危害(イガ)ニアフ

トキハ直ニ袋ニ入レテハシル、**鳴嘴獸** ハ形ト毛ト全ク「カハウ
嘴(ハシ)アリテ鴨ノ、アシニニマリ足ユビモ
ユク鴨ニニテ水カキアリ、水中チオユグ、**珍しき** 移し**探検**

土地チ、サガシ **殖民** 人民チウツシ土地 **従事** シダガ **進歩** を
マハルコト、**チヒラクコト**

促進 シダマシ **聯邦** を組織するに**至れり** 各州相聯
デ來タコト、

テ一ノ内閣ヤ議會チ、クミ **ニュージーランド島** 南北ノ二
ダテテ政治チスルコト、

ナリ形長靴(ツツ)ノ如シ、住民ハ多クいざりす人 **凍肉** 肉チ氷ニテツ
ニシテ金、石炭ニトミ穀物、家畜ノ産多シ、

イ、**パプア島** 其面積我國ニ二倍シ世界第二ノ大島ナリ氣候ア
フ、シクシテ熱病ナド多シ土人ハ最モヤパンナリ、

分領 分ケテ領分 **ハワイ群島** 又さんごういつち島トモイフ、
トスル、

火山質ニシテ、多クノ活火山(カッカ)アリ牧羊、製糖、ノ業、盛ナリ「元王
國ナリシガ、我明治二十六年移住ノ米人終ニ王チ、ハイシ、共和政府

- よりろつば洲ノ位置境界並ニ面積ヲ問フ、
- 海岸ノ有様ヲ述ベ、
- 地勢ヲ語レ、
- 主ナル山脈ト位置ヲ問フ、
- 主ナル河流ト流域並ニ河口ヲ述ベ、
- 本洲ノ氣候ヲ述ベ、

チマテ三十一年ツイニ、米國ニガツメイセリ、合衆國さんふらんしすこヨリハ二千海里アリ、太平洋ヲ航海スルモノノカンシナルヨリバニアタツテナル、

ホノルル 人口三萬餘アリ、港内水フカク商業盛ナリ我領事館アリ、

太平洋交通の要路にあたる

第三 ヨーロッパ洲

總論

面積はアジヤ洲の四分の一に足らざれども其地ノ廣サハ、あじや洲ノ四分ノ一ニマラヌケレドモ「あじや洲ノ面積ハ二百九十萬方里ニシテ、よりろつば洲ハ僅ニ六十三萬方里ニスギズ故ニ、カク海岸には出入多く」海岸ニハ、デ、ハイリガ多ク、交通の便に富めること 海岸線ノ多キマメ、ユキカヒスル、便利ニツゴエガユイ、

他の大陸に類少し ほかノ五大洲ニ スカンデナビヤ

第三學年前

- 本洲諸國ノ國勢并ニ政體ヲ語レ
- 住民ノ人口人種ト其ノ住地宗教ヲ語レ
- よりろつば洲ノ全圖ヲ畫ケ、

半島	バルガン	アルプ	アペニン	ピレネ
半島ノアル半島チイフ、	このこ、ざりしや、るまにや、せるびや、もんでねぐるの五ヶ國ノアル半島チイフ、	此山脈ハ、すいす國ノ南方ヨリオユリ最モ、高クケハシク、且ツ大ニシテ、其全體ノ高サ、我富士山ニスギ、脈中ノもんぶらんノ如キハ、高サ一萬六千尺ニ及ブ、	いはりや國ノ一セ	
ポチ「チナセ	ガルパチャ	ボルガ		
ル山脈ナリ、	はんがりノ平原ノ北境チ、メケレル山脈、	ろしやノ東部チ流レル		
山脈	ボルガ			
裏海ニ入ル、本洲第一ノ大河ナリ、	ダニューブ			
洲第二ノ大河ニシテ其流レ七百餘里、	ライン			
舟航の便多し	北温帯に位し			
舟ノ通行スル便利が多ヒ、	温帯ノ内ノ北ノ部ニア			
海洋の影響を受くる、この割合に多ければ				

- 左ノ事柄ヲ記セ
- (イ)ろしやノ位置
- (ロ)境界、(ハ)面積
- (ニ)人口、(ホ)地勢

大洋ノ、シホノ流レノ、サシヒビキチ、受ケルコトガ割合ニ多イカラ
熱帯地方ヲ流レタル、海水ノ來ル、地方ハ、其タメニ、氣候温ク、寒帯
ヲ流レタル、洋流ノ來ル
地方ハ氣候大ニ寒シ、**同緯度の地に比するに、すこ
ぶる暖なり** 同シ緯度ノ土地ニ、クヲアレバ、大ニ暖デアル、其
故ハ、よーろつぱハめさしこ暖流トテ、熱帯地方ヲ
經タル、洋流來リテ、其海
岸ヲ洗フ故大ニ暖ナリ、**文明に赴きたる所** 國民文學ニマ
ク、ユクヒヲケ **寒暑の差** ノ、チガヒ、**國勢** たいてい
國ノ勢ガ、**立憲政治** 憲法ヲ、定メ、其レニヨツテ
オホカダ、**共和國** 政治ヲ、トリ行フチイフ、**大統領** 人
ヨリ、エヲバレテ、其國ノ政治ヲトリ
行ヒ、其國ノツカサトナルモノ、**共和國** ぶらんとす國ノミナ
リ、**東部北部** には、東部ハ、とるこ國、北部ハ、ろしや
ロシヤ

大部を占め 大ナル、地方ヲ
占メテオル、**バルト海** ろしやトすねーでん
トノ間ニアル入海ヲ

第三學年前

- 首府ニツキ語レ
- 我國ヨリ首府ニ
- イタラシニハ海
- 路ニヨルベキヤ
- 或ハ鐵道ニヨル
- ベキヤ何レガ早
- キヤ、
- 「もすこー」ノコ
- トヲ述ベヨ、
- 「くりみや」半島
- ノ位置トソノ端
- ナル軍港ヲ問フ
- 軍港ノ西北ナル
- 貿易港ヲ記セ、
- 氣候並ニ産物ニ
- ツキ知レル所ヲ
- 記セ、
- 沿革ヲ述ベ、
- 「ろしや」ノ圖ヲ
- 示セ、

イ、本州の二分一に過ぎ 南北二千四百哩、東西千八百哩、
面積二百〇九萬哩アリ、よーろ
ば全洲ノ三百七十萬方哩ニクブレバ
二分ノ一以上ニ當ルヲ以テナリ、**ベテルブルグ** 此府ハ二
カムシキ、處ナリシモ、べてろ大帝都ヲ此地ニ、ハジメ、もすこー、
ヨリ人民ヲ、移セリ、冬ハ河水氷リテ、航路タユルモ、夏ニ至レバ、大
船ヨリ集リ、繁盛ナリ、灣口ノろんすたつと
ハ有名ナル、砲臺アリテ、世界無比ト稱ス、**連絡** し ヲクガリ、ツ
上陸 船ヨリ陸ニ
上ルコト、**海路** ウミ
カヨ、**モスコー** 人口九十八萬餘アリテ
國內第二ノ都會ナリ、
この國の舊都 首府べてるぶるぐハ二百年前ニモウケシ都ニ
シテ、其レ迄ハ、此府ヲ以テ、首府トナセリ、
宮殿 ノ、**寺院** ラ、**壯麗** 大キク、美
シキコト、**オデッサ** 人口四十萬
アリテ、此
地方ノ要
港ナリ、**凍野** 野原、**肥沃** 土地、**材木** 穀物
地方ノ要
港ナリ、**麻内治を改良** 國內ノ政ヲ、改メ
善クスルコト、**外征に成功** 外國ヲ
征伐シテ、
ガ、ツゴーユクデキ上ツタ、**移り** **現今** 今ノコ
ト、**版圖地** 一リヨ

- 兩國ノ位置及ビ地勢ヲ問フ、
- 兩國ハ如何ナル君主ヲ戴ケルヤ
- 兩國ノ首府ニツキ知レル所ヲ語レ、
- 兩國ノ氣候及ビ産物ヲ述マユ、

地

スエーデン、ノルウェー

同一君立を戴く 兩國共ニ同シ、王ヲ、戴イテナル、
ノ王ハ、おすかる第二世トイフ、
海に

迫り 海濱ノトコロヘ、カ
シセマツテオル、
海岸げはしく 海ノ岸バダガ、キツ
立ニナレルユト、

小出入多し 小サキ、出入ガ
多イユト、
ストックホルム 人口二十七
萬餘アリ、

クリスチャニヤ 人口十
五萬ア

リテ、同名ノ灣頭ニアリ、
肝油ノ輸出甚ダ、盛ナリ、
其趣を異にす 其アリサマチ、ベツ
ニシテナル、

氷結の憂あり 海ノ水マデ、氷トナルノ
シンバイガアル、
海水

良質の鐵 處二百七八十萬噸ニ至ル、
海産物

ニシン、サバ、サケ、カキ、クジラ、カイ
バ、カイヒヨ、フカ、等ノ産多シ、

デンマルク

デンマルク 王國ニシテ、現時ノ王ヲ、
ユトランド半

島と其近傍の諸島より成る 半島トソノチカクノ、多ク
ノ島々ヨリナル、「小國ニシ

テ面積一萬五千方哩アリテ、我九州ヨリモ、少ナシ、然レドモ、あいす
らんど、ぐりーんらんど、西印度等ニ屬島アリテ、面積ハ八萬六千餘哩

ニ及 地勢一般に低く 地ノアリサマガ、一ダイニヒクク、「國
中最高キ處ニテモ、海面ヨリ高キユト

五百餘呎トニ過ギズシ 穀物 小麥、大麥、燕麥、
及ビ、其他ノ穀類多シ、
牛酪

「バター」或ハ乳油(トモイフ、牛乳ヨリ乳皮ヲ分カチ、コレヲカキ
マシルトキハ、油ハコレヨリ分レテ、固形ヲナシ、チバリ合フニイタ

貯フ、其色普通黃色ナリ、
コペーハーゲン 人口三十一萬餘
アリテ、じーら

んご島上ニアリテ、ばると海ノ口ヲヤクシ、貿易上
軍事上ノ要地ニシテ、港口ニ堅固ノ砲臺アリ、
要所

洋中に離れて 沖ノ方ニハ
アイスランド 嶋北氷洋中ニ

- 「でんまるく」ノ位置ヲ語レ、
- 「でんまるく」ハ如何ナル地方ヨリ成ルヤ、
- 産物ヲ擧ゲヨ、
- 「こべー」ハ如何ナル地カ、
- 「あいすらんど」島ニツキ知レル事柄ヲ問フ、
- 「すわーでん」ノ「のるうい」及「ビ」でんまるく」ノ地圖ヲ畫ケ、

んまるくヨリ海上千六百哩(ソツ)チナル、面積四萬方哩アリ、氣候寒サハゲシク、土地オホムチ氷原(アイスランド)、雪野(ヤシ)ナリ、あいすらんど即チ氷洲ノ名アル故ナリ、樹木ナク、穀物ナク、只馬鈴薯ト甘藍(キャベツ)トノミ、然レドモ七萬餘ノ人口アリ、牧畜(チブ)漁獵(サシ)ヲ業トシ、教育ニキトドキ、無學ノモノナシトイフ、

間歇溫泉 カンカクオンセン 此溫泉ハ時チ定メテ、熱湯チハキ出ダスシトイフ、

ビキ雷ノ如ク、實ニ壯觀(カシ)ナリ、

ドイツ

臨む廣きこゝ其四分の一に及び リンムヒロキココシヨウブンノイチニ及び 其面積日本ヨリ、四

積二十一萬二千方哩アリ、わが國に過ぐ シヨクニジュウニマンニマンニヘキ 人口五千六百三十餘萬人アリテ、我國ヨリ七八百萬人多シ、

ライン ライン すいす國ノこんすたんす湖ヨリ發シ、國ノ西邊チメグリ、流レ、おらんだ國ニ入り、又運河ニヨリテ、だにゆいぶ、る

三河ト連絡(カシ)セリ、エルベ ミツカワトレンゴク(カシ)セリ、エルベ 此河ハうねいせる河ト共ニ西北ニ流レテ、北海ニ入ル、

デル デル 此川ハぶひすちのらト共ニ北向シテばると海ニ入ル、

本洲著名の貿易港 ホンシュウセimeiノメイギヨウコト

第三學年前

第三學年前

知レル事情ヲ問フ

- 一) はんぶるぐ
- 二) らいぶちひ
- 三) ざれすでん

- 交通ノ要路ナル都會并ニヒールノ産地ヲ問フ、
- 主ナル産物ヲ擧グユ、
- 沿革ト現今ノ國勢ヲ語レ、
- 「ざいつ」ノ略圖ヲ示セ、

「ざいつ」ノ略圖ヲ示セ、

るハンブルグあり ハムブルグ ねるべ川ノ河口七十五哩ニアル、此國ニテ名高キ、ユーエキツヨイデアアル」人口

五十七萬餘アリテ、大船ノ入港自在ニシテ、又其上流おすどらりや領内ユリ、通過スル船少ナカラズ、カレバるんごん、りばぶいるニツ

グ、商業ノ要地ナリ、ベルリン ベルリン よいろつば洲ニテ、第三ニ位スル都會ナリ此地ハ現今世界學者ノ、アツマリナル地ニ

シテ、又タビタビよいろつば各國ノ會議(カシ)チ開ク地トナリ、政治ノ中心タリ、我國ノ留學スルモノ百數十人アリ、

プチヒ プチヒ 人口四十五萬餘アリテ、世界第一ノ書書籍ノ出版

書物チ、ハンニス ハンニス ドレスデン ドレスデン 人口三十九萬餘セトモノノ製造盛ナリ、

藝術盛なり ゲイサカシ 色々ノウツクシキ、カイクノ品ケルン ケルン 人口三十

リ、ミューンヘン ミューンヘン 人口四十九萬餘アリ、ビ藥品 ヤクヒン 種類ノ、クスリ

萬「マーク」ニ マルク 聯邦 レンゴク 多クノ國ガレンゴイシテ、君チイタダキ、タル及ブ、

兼ねてドイツ皇帝たり カシ ふろしや國ノ、王ト兼アハセテ、ざいつ即チ聯邦全體ノ天皇トナツテ

ナルコ ウイルヘルム一世今ノ皇帝ノ父君ナリ、今ノ皇帝ハ第二世ナリ、英主

スグレテ、エライ 君トイフコト、

ビスマルク ういるへるむ一世ニ、仕へた世界ニ名高キ、政治家ナリ、

名士名高キ 兵制兵事ニオケル、イ 改良ヨイヨイニ、ア 外

國コノの戦タカヒに勝利を得ユ 外國トセンツイーシテ、推されて

オシアゲ 普及フキエ キワマルコト、 海外カイガイに廣ヒロき領地リョウチを有チ

外國ニヒロイ領分地チ、モツテナル、あふりか、あじや支那ノ膠州灣、太平洋諸島等ニ總計百萬餘方哩、人口一千三百餘萬ノ領地アリ、

オーストリヤハンガリー

聯合ゴッペイニガツ 同一ドウの君主クワンシユを載イく 同ドウシ君チ、イタマイテナル、おーすとりのや

帝ニシテ、はんがりノ王タリ、今王ハふらんつ、よせふ一世トイフ、

ウイーン よーろつば第四ノ都會ナリ、商工業

第三學年前

セ、

●兩國ハ如何ナル君主ヲ戴ケルヤ

●「おーすとりのや」ノ首府ト位置并ニ人口ヲ問フ

●「はんがり」ノ首府ト其位置ヲ記セ、

●あじりや海ニ臨メル良港ヲ問フ

●氣候並ニ産物ヲ語レ、

●沿革及ビ現今政治ノ有様ヲ語レ

ノ中心ニシテ、寺、宮殿等大ナルモノ多シ、

ブダペスト 人口五十餘萬アリ穀ト

リエスト 人口十六萬餘アリ、あじりや海ニ面セル、良

寒暑の差多く一タイニ、寒サ、暑サ、穀類五ゴクルイ、此

エタレバ農業サカンニシテ、五穀類最モヨロシ、

羊毛ヒツツ 盟主カシヲ、 勢力セイリキ

イキホ 権力ケンリキ 衰へオト 關係ケイカ 現今ケン 統一トウの政治セイジ

の種族シュ 困難コンナンなる事情ジキョウ ユトガラ、

一ツニヒツク 困難コンナンなる事情ジキョウ ユトガラ、



復習問題

- 豊葦原瑞穂ノ國トハ、何處ノ稱ヘナルカ、
- 大國主命ニ付テ知ル所ヲ述ベヨ
- 素盞鳴尊ニ付テ知ル事ヲ述ベヨ
- 出雲大社ハ、誰ヲ祭レルカ、
- 日向ニ降り玉ヒシ、天孫ヲ問フ、
- 三種ノ神器ヲ擧ゲテ、其由來ヲ語レ、
- 神代ニテ重ナル

小學日本歴史三

第一 神代

太古 <small>オホムカシ</small> ノコト、	詔 <small>ミコトノリ</small> 天子ノ、オホセ	のたまはく <small>オホセ</small> ラルル
ト、豊葦原 <small>トヨアシハラ</small> ノ別名ナリ、古	瑞穂國 <small>ミズホクニ</small> ノ別名ナリ、古	君 <small>キミ</small> たる
べき地 <small>チ</small> なり <small>天子ト、ナルベキ土地デアアル、</small>	大國主命 <small>オホクニヌシノミコト</small> 須佐 <small>(スサ)</small> ノ男 <small>(オト)</small> ノ尊 <small>ノミコト</small>	御 <small>ミ</small> 子 <small>コ</small> ニ、アマヲセラ
方 <small>ル</small> 、御 <small>ミ</small> 勢 <small>イキホヒ</small> をふるひ、たまひき、イセイチ、フリマハ	方 <small>ホ</small> を征服 <small>セイフク</small> したまひ、シタガハナイ、クニグニチ、セ	一族 <small>イツソク</small> 一
方 <small>ホ</small> を征服 <small>セイフク</small> したまひ、シタガハナイ、クニグニチ、セ	二神 <small>ニカミ</small> をして <small>フタリノ神サマ</small>	コトナリ、イヒツケル
コト、旨 <small>メ</small> ト、オオセゴ	仰 <small>オホセ</small> をかしくみ申シツケラレタコトナリ、	い
さぎよく <small>ユク</small> ユク、ユクロモチ	國土 <small>クニツチ</small> クニ	杵築宮 <small>キツキミヤ</small> 出雲大社 <small>イツモノオホヤシロ</small> 大國 <small>オホクニ</small>

第三學年前

第三學年前

神々ヲ記セ、

主ノ命 <small>ミコトノミコト</small> ヲ、祭 <small>マツル</small> ル、社 <small>ヤシロ</small> デアアル、	瓊瓊杵尊 <small>ニギハヤヒノミコト</small>	中臣氏 <small>ナカトミノミヤ</small> ノ祖 <small>ソノミヤ</small>	中臣氏 <small>ナカトミノミヤ</small> ノ一族 <small>イツソク</small> ノ名 <small>ナ</small>
ナリ、天兒屋根命 <small>アメノコヤネノミコト</small> 齋部氏 <small>イハベノミヤ</small>	八咫鏡 <small>ヤタノカガミ</small> ノ三種ノ神器 <small>ミヤタケノミカタケ</small>	太玉命 <small>フタマタノミコト</small> 從 <small>ツカ</small> ひて	八尺瓊勾玉 <small>ヤチノカガミ</small> ノ三種ノ神器 <small>ミヤタケノミカタケ</small>
ツレテ、八咫鏡 <small>ヤタノカガミ</small> ノ三種ノ神器 <small>ミヤタケノミカタケ</small>	御魂 <small>ミタマ</small> 敬語 <small>タマシイノコトニテ</small> ニイフコトバ、	あひ傳 <small>ツタ</small> へて	叢雲 <small>ムラカモ</small>
ツリユツツテト、ナリ、	御三代 <small>ミサンダイ</small> の間 <small>マヒダ</small> 瓊々杵尊 <small>(ニギハヤヒ)</small> 、タケウガヤ葦不合尊 <small>(ワカ)</small>	大和 <small>ヤマト</small> に、うつり、たまひき	大和 <small>ヤマト</small> ニオウツリ
間 <small>マヒダ</small> ヲ三代 <small>ミサンダイ</small> ノ間 <small>マヒダ</small> トイフ、	第一 <small>ダイイチ</small> 神武天皇 <small>カムヤマトノミコト</small> ノ創業 <small>ソノキヨミ</small>	東方 <small>トウホウ</small> ノ諸國 <small>シヨクニ</small> 大和 <small>ヤマト</small> 地方 <small>トコロ</small> ヲ	亂 <small>ミダ</small> れて
御曾孫 <small>ミソソノ</small> オノヒマゴ	東方 <small>トウホウ</small> ノ諸國 <small>シヨクニ</small> 大和 <small>ヤマト</small> 地方 <small>トコロ</small> ヲ	亂 <small>ミダ</small> れて	人民 <small>シミン</small> を
ガオユツテ、	統一 <small>イツイツ</small> ヒトツニ、スベ	平定 <small>ヘイテイ</small> ツメルコト、	人民 <small>シミン</small> を
安 <small>ヤス</small> ぜん <small>コ</small> 心 <small>タミヒヤクシヨ</small> ト、安	安 <small>ヤス</small> ぜん <small>コ</small> 心 <small>タミヒヤクシヨ</small> ト、安	おぼしたちたまひ	

●神武天皇ノ日向
チ、出テ玉ヒシ
ハ何故ナルカ、
●長髓彦ニ付テ、
知レル事ヲ述ベ
ヨ、
●饒速日命ニ付テ
知レル事ヲ述ベヨ
●五瀬命ニ付テ、
知レル事ヲ述ベヨ
●長髓彦征伐ノア
リカマヲ問フ、
●土蜘蛛ニ付テ、
知レル事ヲ述ベヨ
●神武天皇ノ即位
ナサレシ所ヲ、
問フ、
●中臣齋部ノ二氏
ハ、如何ナル役
ヲ致セシカ、

オボシ、メサ レテナリ、	難波 <small>ナニハ</small> 地名、今ノ大 阪ノ古名、	長髓彦 <small>ナガスチヒコ</small> 當時ノ賊 名ナリ、	皇軍利 <small>ウラシムリ</small>
なく、神武天皇ノ、イクサ ガ、マケデ、アツタ、	皇兄 <small>ウラミ</small> 神武天皇ノオア ニサマノユト、	大伴氏 <small>オホトモ</small> 一族 ノ名	諸將を率 <small>ヒキ</small> ぬ
ニテ、昔ハ天子ヲ、守ルタメニ 兵ヲシタガヘシモノナリ、	道臣命 <small>ミチノミコト</small> 臣ノ名 ナリ、	諸將を率 <small>ヒキ</small> ぬ	賊を平 <small>ヒラ</small> げ
て、オホクノ、大將ヲ ヒキツレテナリ、	いたる所 <small>トコロ</small> ユクサキ、ユク サキチ、イフ、	土蜘蛛 <small>ツチヅメ</small> アナズマ イチシテ、	やわて <small>ホドナ</small> 敵 <small>トク</small>
ワルモノヲ、ウ チホロボシテ、	降参 <small>コトサン</small> センツイーニ、マケテ、テ キニ、クダルユト、	生活シタル、ヤ バンノ一族、	檀原 <small>カシハラ</small> の宮 <small>ミヤ</small> 神武天皇ノオ ミヤナリ、
傍山 <small>ビヤマ</small> 山ノ名、大和國高市 郡ノ西北ニアリ、	安置 <small>アンチ</small> タイセツニ、オ サメテオク、	を定め <small>サズ</small> イク千萬年マデモ、ツツク、 ドマイチ、キメラレタ、	祭 <small>マツリ</small> を掌 <small>ツカサ</small> り オマソリノ事ヲ トリ扱フユトヲ
イ、物部 <small>モノノベ</small> 昔ハ朝廷ヲマモルタメニ、兵士ヲシ タガヘシガ、後ニハ氏トナレリ、	中央政府 <small>チュウカイセイフ</small> の 組織 <small>ソウジ</small> マンナカニ、役所ヲ置キテ政ヲオコナ ハレル、役所ノクミタテ、カマタイフ、	功 <small>コト</small> を論 <small>ロン</small> じ テガラ	功 <small>コト</small> を論 <small>ロン</small> じ テガラ

第三學年前

●鳥見山ニ付テ、
知レル事ヲ述ベヨ
●神武天皇ノ御代
ニテ著シキ事柄
ヲ答ヘヨ、

モノチ、トリ
シラベル、
賞カガミを行イふ
ホービチ、ア
皇神天神ウラシムテン皇神トハ、
天皇ノ御先
祖ニテ天照大神サマノ、ユトナリ、
天神トハアマツカミノユトナリ、
鳥見山トリミヤマ山ノ名ニテ、大
和國ニアリ、
國造クニノミヤツコ
地方ヲオサムル、役ニテ
今ノ知事ノ如キモノ、
縣主アガタスシ縣ヲオサムル役ニテ
地方官ニオナシ、
朝廷テウテイの厚アツ
き御惠オンメグミ天皇ヘイカノ、アツ
キオナサケ、ユト、

第三 崇神天皇と垂仁天皇

●神器ヲ笠縫ニウ
ツシ玉ヒシハ、
何故ナルカ、
●伊勢ノ神宮ニ付
テ、知レル事ヲ
述ベヨ、
●熱田神宮ニ付テ
知レル事ヲ述ベ
ヨ、
●四道將軍ハ、誰

事コトなかりし
カクベツ、カワツ
タ事モナカツタ、
事コト繁シブくなりき
用事ガタク
カンニ、フ
エテキタ
宮中キユウチュウゴテンノ
殿テンを同ドウじうして
オスマイシユチ、
オナシ所ニナサ
テ、ましましき
敬語ナリ、
神威シノイをけがさん、こと
を恐れオソレ
神サマノ、ゴイユーチ、ユゴス
コトヲ、ジンバイナサレテ、
模造モゾウウツシツク
ルユト、
眞シンの
鏡カガミ大和ヤマトの笠縫カサヌイ
大和ノ國
ニアリ、
五十鈴川イソズガハ伊勢國度會イセノクニタヒ
ノ地ニアリ、
日ヒ

- 々ナルカ、四道將軍ヲ、置カレシ地ヲ問フ
- 崇神天皇ノ御代ニテ、著シキ事柄ヲ問フ
- 此御代ノユク治リシ、ワケヲ問フ
- 任那ノ日本府ニツイテ、知レル事ヲノベユ
- 垂仁天皇ノ御代ニテ、著シキ事柄トハ何カ、
- 殉死ヲ禁セラレシ、ワケヲ問フ
- 殉死トハ、如何ナル、ユトカ、

● 本武尊 景行天皇ノ皇子ナリ、	● 東夷征伐 東ノエビスチ、ウチヲヒラゲル、	● 携へた
● まひ 御歸途	● 尾張の熱田 地名	● 熱
● 田神宮 日本武尊ノ神レイト、クサナギノ劍ヲサマテアル宮ナリ	● 大彦命 武渟川別	
● 命 吉備津彦命 丹波道主命 朝廷に從はざる	● 皇族の御方 天子サマノゴシンセ	
● もの 皇族の御方	● 豊城入彦命をして 治めしめたまひ	
● き 皇威遠方に及ぶ	● 天皇家ノゴイユイガ、遠キニグニマデモ、ユキトドイ	
● 心を民事に用ひ	● 獵の	
● 獲物 手業の織物	● 池を堀り溝を開かし	
● 調 此時代ニハ品物ヲ納メタルナリ		

第三學年前

第三學年前

- 埴輪トハ、如何ナル、モノカ、

● 埴輪トハ、如何ナル、モノカ、	● 池ヲホリタリ、溝ヲ開カセタルハ、農業ノ便利ヲハカリテナリ、	● 家家富み	● ドコノイヘモカシ
● 一人ノナキ	● 人人足りて	● フソクナキコト、	● 天下大いに治
● れり 韓土	● 貢物	● 任那國	● 新羅
● 國內亂れたり	● 將軍	● つか	
● はし 日本府	● 任那國ニオキテ、三カンチ	● 政治に	
● 注意したまひ	● 慈愛の心に		
● 富み、たまひ	● 殉死	● 天子サマノ、チカ	● 從
● 貴人死すれば	● 從		
● 者トモヒ 習慣	● 殉死	● スルコト	
● その代 殉死ニカフ	● 墓の周圍	● 埴輪	● 土ニテ

人、馬、カメナド、貴人ノハカノ周
圍ニ、ウツメ、ダテルモノナリ、

第四 熊襲と蝦夷

熊襲 ムカシ、九州南部ノ種族ニシテ、今
蝦夷 今ノ北海道ニ、スマ
ルアイヌノ一種ナ
リ、

熊襲ノ日向、大隅、サツマ、地方ナリ、
女ノ装をなして 女ノナリフリチ
川上梟師 賊名ニテ
カシラナ

不意 オモヒモヨ
刺し殺し ヲツキユロス
日本武 大和ニ
テ、

ケシキオカダ
ト、イフユト、
静になりき オダヤカニ
ナツタ、
武

神功皇后 仲哀天皇ノ、オ
朝ニツカヘシ人ニテ、年二百八十餘或バイフ、三百歳ナリ

内宿禰 孝元天皇ノ曾孫(孫)ニテ、景行、成務、仲哀、應神、仁徳ノ五
朝ニツカヘシ人ニテ、年二百八十餘或バイフ、三百歳ナリ

諸國を巡視し 諸國ニシテ
命を受けて 天子ノオホセテ、ウ
山河の

ベタルコトヲ、
ドタイトシテ、

第三學年前

第三學年前

位置により 山ヤ河ヤノ、アリバシ
國縣の境を定め 國

アガタノ、クワケチ、
キメタルユト、
地方の政治 マツリゴト、
この

ふに至れり ヨク、チサマル
この

第五 韓土の叛服

早くより ムカシ、カ
わが國に屬し 日本國ニシテ、
征服

しセイバツチ、シテシ
百濟 高麗 強大 國ハヒロイ、
朝

貢を怠り 朝廷へ、奉ルベキミツギ物
無禮のこゝトナ
シツケイ

多かりき アツタ、
國司 國ノ役人
吉備田 狹人
新

羅と結び シラギト、イ
謀反したる ヲツ
その處

置 キカダ、サバ
困難なれり マンドーニ
大連 職名ナ
大

- 熊襲ニツイテ、知レル事ヲノベ
- 熊襲ノツムキシ時、征伐ヲ命ゼラレシハ誰カ、
- 日本武尊ノ川上梟師ヲ、平ケ玉ヒシ有様ヲ問フ
- 武内宿禰ニ付テ知レル、事柄ヲ、
- 成務天皇ノ御代ニ著シキ、事柄ヲ述ベユ、

- 韓土ト我國トノ關係ヲ問フ、
- 神功皇后ノ新羅ヲ、征服シ玉ヒシ有様ヲ語レ、
- 新羅ノ、シバシバ反セルハ、何故カ、
- 大伴金村ニツイテ、知レル事柄ヲノベユ、
- 筑紫國造磐井ニ

付テ、知レル事柄去ノベヨ、
 ●此御代新羅ノツガ、ママナルハ、何故カ、
 ●任那ノ日本府ニ付テ、當時ノ有様ヲ問フ、

伴金村 道臣ノ末ツソニテ、地をさきて、
 大連タリシ人ナリ、
 トチチ、ワケテ、
 偏頗

の處置 新羅と通シ
 エコヒ、
 しづめんこ
 ヲト、
 シラギ

鹿火 皇軍をさへぎり
 ウマ、シマデノ、末ツソニシ
 テ大連トナリシ人ナリ、
 しばしば
 ナリ、
 隣國

ををかし 亡したり 快復のた
 トナリグニチ、
 セメトルユト、
 ホロホ
 セメトツ
 タユト、
 カイフツ

め 問罪の將 兵
 トリモドスタ
 メニナリ、
 モンサイ
 シラギノ、ツミチ、タダシシラ
 ベルタメニ、ユキシ、大將、
 兵

法にくらく わが國より離れんとするに至れり
 イクサノユトガ
 クハシクナイ、
 なかく廢して
 イツマデモ、
 ヤメニナツ

り、イナ、スケユートス
 ルユートニナツタ、

第六 學問工藝の傳來とその發達
 ガクモン
 コーゲイ
 デンライ
 ハツ
 タツ

第三學年前

第三學年前

第三學年前

支那 今ノ清國 すすぶる進みたり
 ナリ、
 ヲホド、
 デキルヨ
 繁

くなるに従ひ 阿直岐
 ハンジユースルユ
 ニナルニ、ツレテ、
 阿直岐
 文學ヲ、モツテ

人、王仁 歸化
 クダラノ學者デ、
 文學ヲ以テ朝廷ニツ
 又論語千字文ヲ獻セシ人ナリ、
 歸化
 ワガ國ニ

イテ、キ 文筆を業とし 西史部
 キ
 ヲサトセルコト、
 カチフヒト
 西史部
 史ハ

ルユヘニ、カハチノフヒトベトイヘリ、 東史部
 キロクチ、ツカサドルモノニテ、河内ニチ
 ヲサトセルコト、
 大和ニオリタル
 ヲヘニ、カクイ

り、史官 記録を掌る
 キロクチ、アツ
 カルヤクニン、
 文章カキツケ、ナド
 チアツカフヤク人、

五經博士 醫學
 ゴキョウ
 ハガセ
 リ此事ニツイタル學者チイヘリ、
 文章カキツケ、ナド
 チアツカフヤク人、

心得タル學者 曆學 工藝
 コヨミノユトチ、心
 得タル學者チイフ、
 カイノクモノヤ、ギ

機織 鍛冶 秦氏 弓月君人
 ハダチ、オル
 ガチ
 ル、シヨク人、
 ヲイノユトナリ、

養蠶 紡織 工女を求めしめ
 カヒユチ、
 シヨク
 シヨク
 タチ、オルユト、
 コー
 シヨ

●我國ノ學問工藝ハ、如何ニシテ發達セシカ、
 ●左ノ人ニ付テ、知ル事ヲ述ベヨ
 ●阿直岐、王仁、稚郎子、
 ●此當時ニハ、如何ナル學ガ、進ミシカ、
 ●欽明天皇ノ御代傳來セシ、モノヲ問フ、
 ●應神天皇ノ御代ニ、著シキ事柄、
 ●支那ヨリ、工女ノ我邦ニ來リシハ、有様ヲ問フ、

ハタオリチスル女
職工ナリ、

第七 佛教の傳來と美術の進歩

物部蘇我両氏の争

印度國 シユニシニテ、佛教、ヤソ教
宗教 天理教ナドノコトチイフ
司馬達 南梁ノ人

國ニ來リ、大和ニ住テ
佛像 釋迦ナドノゴトキ人ノ形ヲキ
禮拜 佛ヲ弘メシ人ナリ、ガミ、ユシラヘタルモノ、

ホトケチ、チ
ガムニト、チ
これを信するものなかりき
佛教ノトク
チ、シンユ

一、スルモノガ
ナカツタ、
經文 ノコト、
功德 を説きたり
アリガタ
キユトチ、

トキ、キ
カセタ、キ
拜するの可否
信ユシテ、ヨイカ、ウルイカチ
臣下ニオタヅチニ、ナツタ、
群

臣 オホクノ
ケライイ、
物部尾興 名、
中臣鎌子 名、
反對 し
ハラ

ニテ、ドイイ
チ、セヌコト、
蘇我稻目 武内宿禰ノ五世ノ孫ニテ
佛教、シンシン者ナリ、
熱心
カリニ

第三學年前

第三學年前

● 物部氏滅ビシ後
ノ蘇我氏ノ有様

● 攝政トハ、如何
ナルコトカ、

● 聖德太子ニツイ
テ知レル事ヲノ
ベユ、

● 我邦ノ政治道德
ノ標準トナル
ベキモノハ何ニ
カ、

● 佛教ノ隆盛ニツ
レテ、工藝ノ進
歩セシ、有様ヲ
説ケ、

● 我邦建築法ノア
ヲマシチ、ノベ
ユ、

● 推古天皇ノ御代
ニ、著シキモノ

心チカケ
ルコト、
賛成 し
テ、タスケルコト、
議論 容易に決せ

ざりき
ユシアシノソ
クニ、キマラ
ナカツタ、
疫病
ハヤリ、ヤマ
流

行して
ツルコト、
奏 して
天子へ申シ
難波堀江
市郡ニア

り、
投じ ヲ
コト、
大臣大連 両家
物ノベ、チ
ゴシ、ソガ
稲目トノ
両家ナリ、
太

古以來
オホムカシ
カ、
齋部 朝廷ノ
祭祀(ウイ)
チツカ
役名ナリ、
政策 を

あやまりて
マツリゴト
ノ、ヤリカ
勢力 を失ひ
チナクシ

タ、
盛 なりき
イキオヒノ、
勳功 多かりき
テガラ、イ
サチ
シガ、ダク
サン

ル、
父 の志を
つぎて
オヤノ、リ
ヨケン
專横 の行
ママ

ナル、ヤ
リカ、
崇峻 天皇
推古天皇
ノ女帝ナ
聖德 太子
用明天
皇ノ御

法、十七條
チ、ツク
ヲレシ御
方ナリ、
攝政
天子ニナ
リ代ツテ、
政

● 何ニカ、
● 曇徴ニ付キ、知
● 鳥佛師ニ付テ、
● 知ル事ヲ、ノベ

佛敎を信じ	弘布	御志
十二階の冠位	群臣ノ秩序を正し	儒佛の敎
憲法を定め	隆盛に伴ひ	建築
治	示し	彫刻
木ニ及ハ板ニ、ホ	造寺の技師	天王寺
法隆寺	寺院	畫工

第三學年前

● 支那ト我邦トノ
● 交通ニ付テ、知
● 日本ト支那トノ
● 政府ガ、直接ニ
● 交通セシハ何レ
● ノ時代ナリシカ
● 推古天皇ノ御代
● ニ、隋國ニ使セ
● シハ誰ゾ、
● 我邦ノ天子ト、

曇徴	繪具	製法
畫師	鑄金	刺繡
鳥佛師	工人	銅佛
早き時代	豪族	少からざりき
兩國の政府	直接	日出處
隋國	天子に致す	翌年
日本國	南淵請安	

<p>● 隋國ノ天子トノ書狀ハ如何、</p> <p>● 留學生トナリテ隋ニ至リシ人ヲ問フ</p> <p>● 支那ノ文化ノ我邦ニ入リシ、有様問フ、</p> <p>● 大化ノ新政ノ基トナルベキ、事柄ヲ問フ、</p> <p>● 遣唐使ノヤミシハ何故ナルカ、</p> <p>● 菅原道真ニツイテ、知ルコトヲ、ノベユ、</p>	<p>● 隋國ノ天子トノ書狀ハ如何、</p> <p>● 留學生トナリテ隋ニ至リシ人ヲ問フ</p> <p>● 支那ノ文化ノ我邦ニ入リシ、有様問フ、</p> <p>● 大化ノ新政ノ基トナルベキ、事柄ヲ問フ、</p> <p>● 遣唐使ノヤミシハ何故ナルカ、</p> <p>● 菅原道真ニツイテ、知ルコトヲ、ノベユ、</p>
<p>名、留學生 外國へ學問ノ修業ノタメニツカハス學生、</p> <p>那にならふこと 支那國チ、ウツシマチスルコト、</p> <p>名ニテ、年號ノ始メノ號ナリ、ユノ年ニ、御政事ムキガ、ヒトカハリ、シタユト、</p> <p>りしもの 新ラシキ、ゴセイシツ、ムキノ、ソイダンニ、入りタルモノ、</p> <p>ナ、唐おこり 唐トイフ國ガデキタ、</p> <p>ト、海路困難 ウミチ、ワタルコトガ、ムツカシク、アツタ、</p> <p>天皇菅原道真 野見宿禰(スヅメ)ノ末孫ニテ、是善(ヨシ)ノ子ナリ、文章博士トナル、北野ニ祀ラレ、天滿天神ト稱セラル、</p> <p>遣唐使 唐ニ國書ヲ、奉呈スルタメニ、使スル役人、今ノ全權公使ノゴトシ、</p> <p>シ上グル 派遣 スカサシツカハスコト、</p>	<p>名、留學生 外國へ學問ノ修業ノタメニツカハス學生、</p> <p>那にならふこと 支那國チ、ウツシマチスルコト、</p> <p>名ニテ、年號ノ始メノ號ナリ、ユノ年ニ、御政事ムキガ、ヒトカハリ、シタユト、</p> <p>りしもの 新ラシキ、ゴセイシツ、ムキノ、ソイダンニ、入りタルモノ、</p> <p>ナ、唐おこり 唐トイフ國ガデキタ、</p> <p>ト、海路困難 ウミチ、ワタルコトガ、ムツカシク、アツタ、</p> <p>天皇菅原道真 野見宿禰(スヅメ)ノ末孫ニテ、是善(ヨシ)ノ子ナリ、文章博士トナル、北野ニ祀ラレ、天滿天神ト稱セラル、</p> <p>遣唐使 唐ニ國書ヲ、奉呈スルタメニ、使スル役人、今ノ全權公使ノゴトシ、</p> <p>シ上グル 派遣 スカサシツカハスコト、</p>
<p>第九 大化の新政</p>	<p>第三學年前</p>

第三學年前

<p>● 大化ノ新政ニ付テ、著名ナル事柄ヲノベユ、</p> <p>● 左ノ人ニ、ツイテ知ル事柄ヲ、ノベユ、</p> <p>● 中大兄皇子</p> <p>● 中臣鎌足</p> <p>● 蘇我入鹿</p> <p>● 古代ノ政治ムキヲノベユ、</p> <p>● 官制ノ改革ニ付テ、知ル事柄ヲノベユ、</p> <p>● 我邦年號ノ始メハ如何、</p> <p>● 班田收授法トハ如何ナルコトカ</p> <p>● 租、庸、調トハ如何ナルコトカ、</p>	<p>● 大化ノ新政ニ付テ、著名ナル事柄ヲノベユ、</p> <p>● 左ノ人ニ、ツイテ知ル事柄ヲ、ノベユ、</p> <p>● 中大兄皇子</p> <p>● 中臣鎌足</p> <p>● 蘇我入鹿</p> <p>● 古代ノ政治ムキヲノベユ、</p> <p>● 官制ノ改革ニ付テ、知ル事柄ヲノベユ、</p> <p>● 我邦年號ノ始メハ如何、</p> <p>● 班田收授法トハ如何ナルコトカ</p> <p>● 租、庸、調トハ如何ナルコトカ、</p>
<p>政權を執り 政ノケンリチ、トツテナル、即チ政ヲシユニスルコト、</p> <p>ぐばかりなりき 天子サマノゴキユーデモ、ソユノケニ、スルイキホヒ、デアアル、</p> <p>子 用明天皇ノ皇子ニテ、即チ天智天皇ノコトナリ、</p> <p>馬子ノ子、ニテ皇極ノ朝ノ大臣ナリ、</p> <p>ふ、政チアラタムルニ、ベシクセノ</p> <p>ト、ほしいま ヲガママノコト、</p> <p>ソユノフ 機會 ヲシテ、</p> <p>ナカノ、ヤカマシキモカマハズ、チモヒキツテ、ヤルコト、</p> <p>阿倍倉梯麻呂 大彦命ノ末孫、</p>	<p>政權を執り 政ノケンリチ、トツテナル、即チ政ヲシユニスルコト、</p> <p>ぐばかりなりき 天子サマノゴキユーデモ、ソユノケニ、スルイキホヒ、デアアル、</p> <p>子 用明天皇ノ皇子ニテ、即チ天智天皇ノコトナリ、</p> <p>馬子ノ子、ニテ皇極ノ朝ノ大臣ナリ、</p> <p>ふ、政チアラタムルニ、ベシクセノ</p> <p>ト、ほしいま ヲガママノコト、</p> <p>ソユノフ 機會 ヲシテ、</p> <p>ナカノ、ヤカマシキモカマハズ、チモヒキツテ、ヤルコト、</p> <p>阿倍倉梯麻呂 大彦命ノ末孫、</p>
<p>入鹿ノ子、改革に力を盡したま</p> <p>一定の職業シゴト、ならばし</p> <p>有力者 アル人、</p> <p>ルコ ほしいま ヲガママノコト、</p> <p>ソユノフ 機會 ヲシテ、</p> <p>ナカノ、ヤカマシキモカマハズ、チモヒキツテ、ヤルコト、</p> <p>阿倍倉梯麻呂 大彦命ノ末孫、</p>	<p>入鹿ノ子、改革に力を盡したま</p> <p>一定の職業シゴト、ならばし</p> <p>有力者 アル人、</p> <p>ルコ ほしいま ヲガママノコト、</p> <p>ソユノフ 機會 ヲシテ、</p> <p>ナカノ、ヤカマシキモカマハズ、チモヒキツテ、ヤルコト、</p> <p>阿倍倉梯麻呂 大彦命ノ末孫、</p>
<p>人民を有し 人民チシブンガツテニ、ケライニス</p> <p>その弊ソノワル その害 人民</p> <p>斷行したまへり</p> <p>官制を改め ヤクムキノ、オキテ</p> <p>蘇我石川麻呂 馬子ノ孫、</p> <p>國博</p>	<p>人民を有し 人民チシブンガツテニ、ケライニス</p> <p>その弊ソノワル その害 人民</p> <p>斷行したまへり</p> <p>官制を改め ヤクムキノ、オキテ</p> <p>蘇我石川麻呂 馬子ノ孫、</p> <p>國博</p>

<p>● 士學者第一位 制度</p> <p>● 收め 朝廷ニトリ</p> <p>● 授 男ト女トニ應(シ)テ、田地ヲ與(ル)ヘ死セバ、政府ニカヘサシムル法ナリ。</p> <p>● 戸籍を調査し</p> <p>● 粗庸調の制</p> <p>● 班田收</p> <p>● 公事</p>	<p>● 整へり</p> <p>● 朝廷に</p> <p>● 租ハ年貢米ノ</p> <p>● 戸籍を調査し</p> <p>● 天子ノミヤコチ、シ</p> <p>● 畿内</p> <p>● 郡司</p> <p>● 要路に關を設け</p> <p>● 驛を置く</p> <p>● 舊來の弊風</p> <p>● 人才登用</p>	<p>● 帝都を修め</p> <p>● 國司</p> <p>● 郡司</p> <p>● 和、河内、和泉</p> <p>● 天子ノ如キチイフ、</p> <p>● 伊セノスズカ、不ハノ</p> <p>● 一ト所ニ、アツ</p>	<p>● 國法上</p> <p>● 外交上</p> <p>● 管せしめ</p> <p>● 大納言</p> <p>● 大寶律</p> <p>● 神祇官</p> <p>● 太宰府</p> <p>● 八省トハ如何、</p> <p>● 太宰府ハ何ノタ</p>	<p>● 大寶令ノ官制</p> <p>● 神祇官トハ、如何ナル、ヤクヅ、</p> <p>● 八省トハ如何、</p> <p>● 太宰府ハ何ノタ</p> <p>● 大寶令ニツイテ</p> <p>● 天智天皇ノ御代</p> <p>● 阿倍比羅夫ニ付</p> <p>● 第十</p>
--	--	---	---	---

第三學年前

第三學年前

第十 律令の撰定

<p>● 阿倍比羅夫ニ付</p> <p>● 天智天皇ノ御代</p> <p>● 大寶令ニツイテ</p> <p>● 律令トニ付テ</p> <p>● 神祇官トハ、如何ナル、ヤクヅ、</p> <p>● 八省トハ如何、</p> <p>● 太宰府ハ何ノタ</p>	<p>● 崩御</p> <p>● 阿倍比羅夫</p> <p>● 渡嶋</p> <p>● 兵を煩し</p> <p>● 律令を撰定し</p> <p>● 不備を補ひ</p> <p>● 大寶律</p> <p>● 公布</p> <p>● 神祇官</p> <p>● 大納言</p> <p>● 大寶令</p> <p>● 國法上</p> <p>● 外交上</p> <p>● 管せしめ</p>	<p>● 一國ノ稱ニ</p> <p>● 肅慎</p> <p>● 内治に注意し</p> <p>● 修正し</p> <p>● 忍壁親王</p> <p>● 公布</p> <p>● 神祇官</p> <p>● 大納言</p> <p>● 大寶令</p> <p>● 國法上</p> <p>● 外交上</p> <p>● 管せしめ</p>	<p>● 府</p> <p>● 神祇官</p> <p>● 大納言</p> <p>● 大寶令</p> <p>● 國法上</p> <p>● 外交上</p> <p>● 管せしめ</p>	<p>● 第十</p> <p>● 律令の撰定</p> <p>● 阿倍比羅夫</p> <p>● 渡嶋</p> <p>● 兵を煩し</p> <p>● 律令を撰定し</p> <p>● 不備を補ひ</p> <p>● 大寶律</p> <p>● 公布</p> <p>● 神祇官</p> <p>● 大納言</p> <p>● 大寶令</p> <p>● 國法上</p> <p>● 外交上</p> <p>● 管せしめ</p>
---	---	--	---	--

●此御代ノ教育ハ如何、
●軍事ニツイテ、知ルコトヲ、ノベユ、

第十一
●奈良ノ朝トハ如何、
●此時代ノ學問工藝ノ有様ヲ問フ
●留學生中、俊才

たり トリシマリ、**徴兵の法**を布き、兵士ヲメシヨセル、シカ
チ、サセタ、**軍團**今ノ師團ノ如キモノ、**邊要**の

ト、**五衛府**五ツ所ニテ軍人ノヲ、**警備**に任じ、マサカス、

地チヘンピノト、**防人**ヘンピノ土地チ守ルヤクニン、**國學**諸國

ヘニス、**教育**ヨキ人チ、チシヘ**大學**京都ニモフケ、**國學**ニモ

フケアル學、**官吏**を養成する、シラヘル、**多少**の變更

あり、カハリガ、アル、**實**を伴はざる、**形式**

の一部アルトコロ、

第十一 奈良の朝

風俗華美 ナラハセノ、ハ、**吉備眞備** 元正天皇ノ朝留學生ト

シ、**阿部仲麻呂** 元正天皇ノ朝ニ唐ニ留學、**貴重**なる書

第三學年前

ト稱セラレシハ誰ゾ、

●左ノ人々ニ付テ知レル、事柄ヲ

●述ベユ、
●阿倍仲麻呂

●太安麻呂

●吉備眞備

●古事記ハ何人ノ著ナルカ、

●風土記、日本書記ノ著者ヲ問フ

●此時代ニテ、和歌ノ盛ナリシ、有様ヲノベユ、

●左ノ人ニツイテ知レル、事柄ヲノベユ、

●(イ)柿本人麻呂

籍大切ナル、書、**太安麻呂** 古事記ヲ著セ、**勅**を奉じて、天子

ホセチ、ウ、**歴史**を編纂せり、代々ノカキモノチ、**古事記**書

ノ名ナ、**史籍**シヨモツノコト、**焼け**失せたり、クナツタコ

ト、**舍人親王**名、**和歌**日本ノ、**柿本人麻呂**和歌チヨク

武元明ノ朝廷ニ仕、**山部赤人**和歌チヨクシ、持統、文武、元明ノ

ヘタル人ナリ、**萬葉集** 奈良朝ノ時代ノ歌ヲ集メタルモノ、**獎勵** ススマ、ハゲ

國分寺 各國ニ一ヶ所ツ、モフ、**東大寺** 大和ニアリ、聖武天皇

ノ開キ、**興隆**につこめ、サカンニ、オコル、ユニ、**施藥院**

チホドコストコロ、**悲田院** 病人又ハステゼナド、**病**になや

む、**餓**に苦む、食物ガナクテ、ユ、**皇后**光明

- (口)山部赤人
- 此時代ノ佛教ノ有様ヲ問フ、
- 光明皇后ニツイテ、知レルコトヲ、ノベユ、
- 不比等ノ四子トハ誰ヲ、イフカ、
- 此時代ニ、著名ナル寺ヲ問フ、
- 此時代ノ、工藝、美術ノ有様ハ如何、
- 正倉院ノ御物ハ何ヲ藏ムルカ、
- 僧行基ニ付テ、知レル事柄ヲ問フ、
- 玄昉ニツイテ、知レル事柄ヲノ

ゴ、**大功を立て** 大ナル、テガラチ、シタルコトニテ即チ入ナリ、
 ナリ、**大に榮** 大ニツイーシユツセイシテ、
 鹿チ亡シテ中興チタスケタルコトチイフ、
 大に榮に 武智麻呂 不比等ノ房
 前不比等 宇合ノ子、
 麻呂ノ子、
 新例を開きたり
 大ナル、オキテチ、
 ヨシラヘタコト、
 ニアリテ、今ハ其
 趾チ存スルノミ、
 大佛殿 大佛ヲ納メアル
 七重ノ塔 七ツカ
 丈六ノ佛像 一丈六尺ノ佛ヅ
 染物
 布ニイロイロノモヨ
 ナ、ソメヌキタルモノ、
 漆器 ウルシチヌリダ
 行基 和泉大鳥郡ノ人大
 御信任を受
 け 天子サマニ、オモク
 用ヒラルルコト、
 菩薩 佛ノ心ノ、ア
 尊びて エライ、人
 トスル 玄昉 僧ノ名
 學問深かりし
 宮中

第三學年前

- 藤原廣嗣ノ兵チ起セシハ何故ナルカ、
- 左ノ人々ニ付テ知レル事柄ヲ、ノベユ、
- (イ)僧道鏡
- (ロ)藤原百川
- 和氣清麻呂ノ忠誠ヲ話セ、
- 光仁天皇ノ政事ヲノベユ、

ベユ、
 藤原廣嗣ノ兵チ起セシハ何故ナルカ、
 左ノ人々ニ付テ知レル事柄ヲ、ノベユ、
 (イ)僧道鏡
 (ロ)藤原百川
 和氣清麻呂ノ忠誠ヲ話セ、
 光仁天皇ノ政事ヲノベユ、
 第十二 平安朝トハ、何レノ處ヅ、
 平安朝トハ如何
 坂上田村麻呂ニ
 勢振ひしより 兵を太宰府に
 軍敗れて 道
 天位 和氣清麻
 呂 稱徳帝ノ朝ニ 忠誠
 遂げざりき
 前代ノ弊政
 官を除き 官吏チ
 百川等 人々チナリ、
 迎へて 臣下ヨリシテ、オ出
 延暦 桓武大皇ノ 政權武家にうつり
 政治ノ中心
 移リシコトニテ、即チ頼朝
 ガ天下チ、トリタルコト、

第三學年前

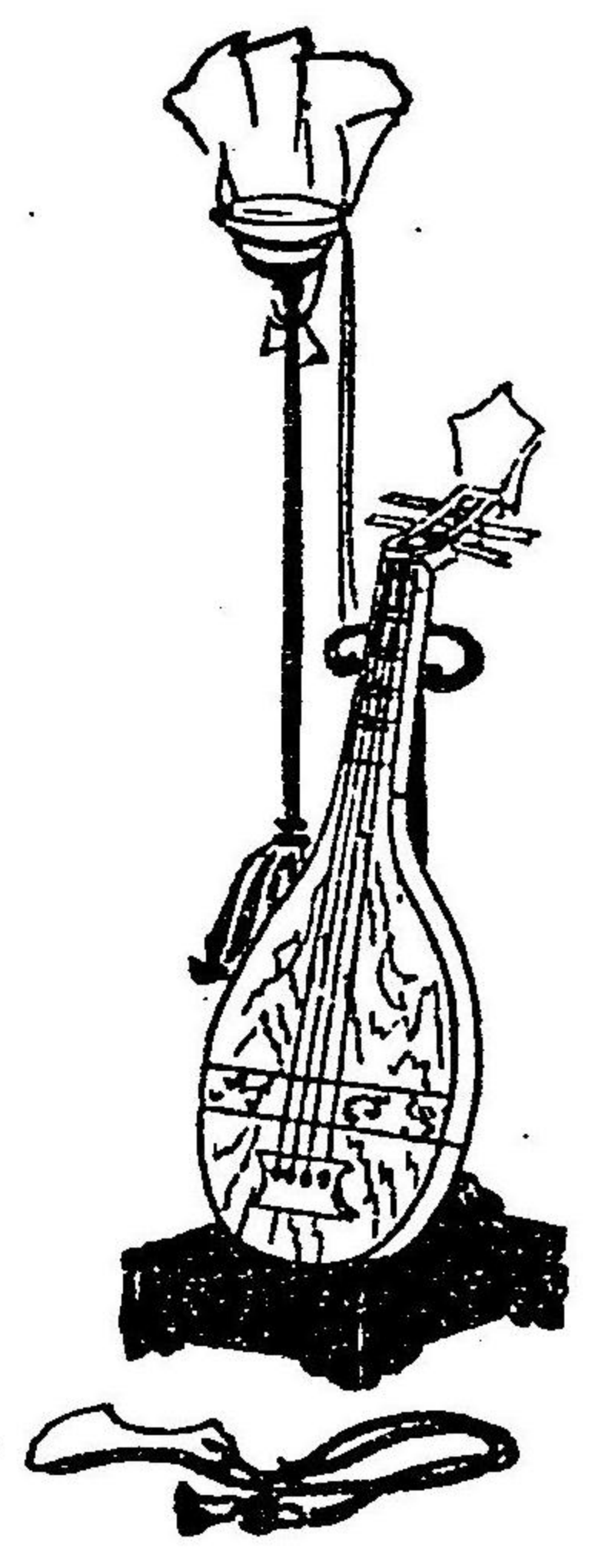
付テ、知レル事柄チノベヨ、
 ●蝦夷ノ征討ニ付テ、知レル事柄チノベヨ、
 ●此時代ノ佛教ノ有様チ、ノベヨ、
 ●左ノ人ニ付キ知ルコトチ、述ベヨ、
 ●最澄
 ●(口)空海
 ●神佛モト一ナリトノ説チ、立テシハ誰ゾ、
 ●嵯峨天皇ノ御代ニ名高キ事柄、
 ●此御代ニ有名ナル漢學者チ答ヘヨ、

平安朝初期	朝廷の威光	兵を
發し兵出ス	なほやまざりければ	マダチサマラナ
ト、阪上田村麻呂	荻田マロノ子、蝦夷チウ	叛亂あり
ト、文屋綿麻呂	嵯峨天皇ノ三代ノ人、	藤原保則
リ功セキ、多	渤海國名、	最澄
キ人ナリ、	名僧	歸朝
海弘法大師	入唐	天台宗
ト、布教	おぼしたまふ	機密の文書
ノ開キシシ	檢非違使	非法を檢せし
ウツタヘゴ	役人ニテツノツメ所ナリ、	藏人所
トナリ、	大寶令の官制	書道に長じたまひ
	淡海三船	滋野貞主
	都良香	貴族
	淳和院	勸學院
	學院	陽成天皇ノ元慶五年ニ、立テラレタ

第三學年前
 第三學年前

●此時代ニ名高キ學校チ、答ヘヨ、

め	大寶令の官制	書道に長じたまひ
目チサダメ、タルモノチイフ、	淡海三船	滋野貞主
クコトチヨクナ	漢學	都良香
學者ナ	小野篁	貴族
ラ、	勸學院	淳和院
學院	陽成天皇ノ元慶五年ニ、立テラレタ	學院



算術科

目次

第一編 分數

第一課	繁分數	百二十一頁
第一	練習問題	百二十二頁
第二	練習問題	百二十六頁
第二課	分數ト小數トノ關係	百二十九頁
	〔一〕分數ヲ小數ニ化スル法	百二十九頁
第三	練習問題	百三十頁
	〔二〕小數ヲ分數ニ化スル法	百三十一頁
第四	練習問題	百三十二頁

第三學年前

第三課 分數雜題……………百三十二頁
第五 練習問題……………百三十三頁

第二編 單比例

第一課 正比例……………百四十五頁

第六 練習問題……………百四十六頁

第二課 反比例……………百四十九頁

第七 練習問題……………百五十頁

第三課 單比例雜題……………百五十五頁

第八 練習問題……………百五十五頁

第三編 複比例

第一課 正比例……………百六十四頁

第三學年前

第三學年前

第九 練習問題……………百六十五頁

第二課 反比例……………百七十頁

第十 練習問題……………百七十一頁

第三課 複比例雜題……………百七十八頁

第十一 練習問題……………百七十九頁

答數及解式……………百八十五頁

附錄 珠算割リ聲表

算術科

第一編 分數

第一課 繁分數

繁分數

分數割算ノ式ヲ一ツノ分數ノ形ニ書キ、アラハシタルモノヲ繁分數ト名ヅク

例、

$$\frac{2}{\frac{3}{\frac{1}{2}}}$$

$$\frac{2}{3} \div \frac{1}{2}$$

チ一ツノ形ニ書キ表ハシタルモノナリ

ユレヲ讀ンテ二分ノ一分ノ三分ノ二トイフ

●繁分數ヲ又重分數トモイフ算式ヲ重ヌルノ意ナリ

●分數ノ分子ヲ通分ニ整數トナルヲ常分數トイヒ分數ノ分子ノ中一數ハ分子ノ共ニ分數ナルモノ及ヒ混分數ナルモノモナリ

●繁分數ヲ作ルニ
ハ除數ニ當ルモ
ノヲ横線ノ下ニ
記シ被除數ヲ横
線ノ上ニ書ケバ
ロシ

第一 練習問題

左ノ割算ヲ繁分數ノ形ニ書ケ

1. $2 \div \frac{1}{3}$.
2. $\frac{1}{5} \div 6$.
3. $\frac{1}{4} \div \frac{1}{5}$.
4. $2 \frac{1}{3} \div 3 \frac{1}{4}$.
5. $(2 - 1 \frac{1}{3}) \div 6$.
6. $4 \div (1 + 2 \frac{1}{3})$.

第三學年前

●繁分數ヲ簡單ニスル法左ノ如シ

7. $(\frac{1}{3} + \frac{1}{4}) \div \frac{1}{5}$.
8. $\frac{1}{5} \div (\frac{1}{9} - \frac{1}{4})$.
9. $4 \div (\frac{1}{5} \times \frac{1}{6})$.
10. $(\frac{1}{5} \times \frac{1}{6}) \div 4$.

第三學年前

●繁分數ヲ運算ス
ルニハ先ヅコソ
ナ、通分數ノ形
ニ、ナホシ後計
算スレハヨロシ

例一、
 $\frac{\frac{2}{3}}{\frac{1}{2}}$

$$\frac{\frac{2}{3}}{\frac{1}{2}} = \frac{1}{2} \div \frac{2}{3} = \frac{1}{2} \times \frac{3}{2} = \frac{3}{4} \text{ 答}$$

例二、
 $\frac{1}{\frac{2}{3}}$

$$\frac{1}{\frac{2}{3}} = 1 \div \frac{2}{3} = 1 \times \frac{3}{2} = \frac{3}{2} = 1\frac{1}{2} \text{ 答}$$

例三

$$\frac{1 - \frac{1}{3} \div 3}{1 + \frac{1}{2} \times \frac{2}{3}}$$

$$\frac{1 - \frac{1}{3} \div 3}{1 + \frac{1}{2} \times \frac{2}{3}} = (1 - \frac{1}{3} \div 3) \div (1 + \frac{1}{2} \times \frac{2}{3})$$

$$= (1 - \frac{1}{9}) \div (1 + \frac{1}{3})$$

$$= \frac{8}{9} \div \frac{4}{3} = \frac{8}{9} \times \frac{3}{4}$$

$$= \frac{2}{3} \text{ 答}$$

第二 練習問題

左ノ繁分數ヲ簡單ナル分數若クハ整數トセヨ

1. $\frac{1}{\frac{1}{3}}$

2. $\frac{\frac{4}{2}}{\frac{5}{5}}$

3. $\frac{\frac{3}{4}}{\frac{3}{3}}$

4. $\frac{7}{\frac{10}{14}}$

5. $\frac{\frac{4}{10}}{\frac{2}{5}}$

6. $\frac{\frac{1}{3}}{\frac{7}{9}}$

7. $2\frac{\frac{3}{4}}{\frac{1}{12}}$

第三學年前

●11. 繁分數ニア
ヲハセハ

$12\frac{1}{2}$
 $\frac{36}{86}$

●12.
ハ
 $15\frac{3}{5}$
 $\frac{24}{24}$

◎算術

百二十七

11. 十二町二分ノ一ハ一里ノ幾分ニアタルカ

12. 十五時五分ノ三ハ一日ノ幾分ニアタルカ

13. 二日間ニ五分二十秒進ム時計アリ今五十分進ム
トモバ幾日間ヲヘタルカ

14. 茶二斤四分ノ一ヲ買ヒシニ其價二圓五十錢ナリ

8. $\frac{\frac{5}{12}}{5 - \frac{5}{6}} \times 5\frac{1}{5}$

9. $\frac{2 + \frac{1}{15}}{\frac{4}{25}} \div \frac{1}{20}$

10. $\frac{\frac{1}{2} + \frac{1}{4}}{\frac{3}{4} - \frac{6}{17}}$

15. シト一斤ノ價何程

三里ノ四分ノ三ノ道ヲ二時二分ノ一ニテ行クト
キハ一時間ニ何程行クカ

16.

甲乙二管ヲソナフル桶アリ甲管ヲ開ケハ一時間
ノ三分ノ一ニテ滿テ乙管ノミナレバ一時間ノ四
分ノ一ニ滿ツトイフ今二管同時ニ開ケバ一時間
ノ幾何ニテ滿ルカ

17.

本箱ヲ作ルニ甲工ナレハ一日四分ノ一ニ作り乙
工ナレハ三日六分ノ一ヲ要ス今二工共ニナセハ
何日ニデキ上ルカ

18.

甲乙二工ニテ家ヲ建ルニ甲工ナレハ四十五日ニ

第三學年前

第三學年前

作り乙工ナレバ六十日ヲ要ス今二人共ニ働ケハ
何日ニデキ上ルカ

19.

或人旅行ヲナスニ其四分ノ三ノ地ニ達スルニ五
日六分ノ五ヲカ・レリ残りヲ歩ムニハ幾日ヲ要
スルカ

20.

五日間ニ七段五分ノ四ヲ耕ストキハ三町六段十
分ノ七ヲ耕スニハ何日ヲ要スルカ

第二課 分數ト小數トノ關係

(一) 分數ヲ小數ニ化スル法

分數ヲ小數ニ直スニハ分子ニ零ヲ附ケテ分母ニテ割

●分数ヲ小數ニ化セ
 ホスニアタリ或
 小數位ニ至リ
 餘ナキユトアリ
 亦利餘アリテ際
 限ナク且ツ同シ
 數字同シ順序
 出ツルカヘテ
 此ク同シ數字
 此ク同シ數字
 循環小數トイ
 ナリ

ルベシ

例 八分ノ五ヲ小數ニ化セ

答 六分二厘五毛

$$\frac{5}{8} = 0,625$$

$$8 \overline{) 5000}$$

0,625 答

第三 練習問題

左ノ分数ヲ小數ニ化セヨ

1. $\frac{3}{4}$
2. $\frac{1}{16}$
3. $\frac{3}{8}$
4. $\frac{15}{16}$
5. $\frac{7}{8}$
6. $\frac{2}{25}$

第三學年前

第三學年前

7. $\frac{3}{64}$
8. $\frac{3}{800}$
9. $\frac{1}{125}$
10. $\frac{17}{250}$

(二) 小數ヲ分数ニ化スル法

小數ヲ分数ニ直スニハ其小數ヲ整數ト見テコレヲ分子トシ次ニ1.ニ小數ノ位ノ數ダケ零ヲ附ケタルモノヲ分母トシテコレヲ約スレバヨシ

例 三分七厘五毛ヲ分数ニ化セ 答 八分ノ三

$$0,375 = \frac{375}{1000} = \frac{3}{8}$$

左ノ小數ヲ分數ニ化セヨ

第四 練習問題

- 1. 0.2
- 2. 0.4
- 3. 0.5
- 4. 0.6
- 5. 0.12
- 6. 0.25
- 7. 0.45
- 8. 0.72

- 第三課 分數雜題
- 9. 0.125
 - 10. 0.164
 - 11. 1.26
 - 12. 1.48
 - 13. 2.65

第三學年前

第三學年前

●分數雜題ハ、
 ロシク其運算法
 ナ順序ニ變化シ
 テ變化式ヲ示ス
 ナヨシトス

第五 練習問題

- 1. $\frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \frac{1}{4} + \frac{1}{5} + \frac{1}{6}$
- 2. $7 + 2\frac{1}{4} + 5\frac{7}{12} + 4\frac{13}{18}$
- 3. $2 - \frac{5}{16} - \frac{13}{16}$
- 4. $2 - 1\frac{1}{5} - \frac{2}{15}$
- 5. $6\frac{7}{8} - \frac{11}{12} + 1\frac{5}{16}$
- 6. $24\frac{3}{5} + 21\frac{14}{15} - \frac{23}{25}$

7. $2\frac{1}{2} - (13\frac{2}{3} - 11\frac{1}{4})$.

8. $5\frac{5}{13} + 6\frac{1}{2} - (3\frac{1}{2} + 2\frac{3}{4})$.

9. $64\frac{3}{4} - 32\frac{5}{6} + 67 - 14\frac{1}{8}$.

10. $\frac{9}{125} \times \frac{75}{387}$.

11. $10\frac{4}{5} \times 21\frac{7}{18}$.

12. $8\frac{5}{12} \times 324$.

● 17. ハ繁分数トナ
スモ同一ナリ
● 18. ノ繁分数ハ又
普通分数ノ割算
リトナスモ同一ナ

13. $(9\frac{1}{2} + 8\frac{1}{3} + 7\frac{1}{6}) \times \frac{14}{25}$.

14. $(3\frac{1}{5} + 7\frac{1}{6} - 8\frac{3}{4}) \times 2\frac{49}{79}$.

15. $(2\frac{1}{4} + 10\frac{5}{8} + 2\frac{1}{6}) \times \frac{12}{175}$.

16. $\frac{15}{16} \times 48 + 35 \times 12\frac{5}{7} - (\frac{5}{8} + \frac{2}{3})$.

17. $\frac{11}{12} + 22$.

18. $\frac{\frac{31}{75}}{\frac{31}{50}}$.

19. $5\frac{5}{8} + 2\frac{13}{16}$

20. $9\frac{4}{7} + (1 - \frac{3}{70})$

21. $(3\frac{5}{12} - 2\frac{5}{6} + \frac{1}{4}) \div 11\frac{2}{3}$

22. $2\frac{2}{13} \div (1\frac{3}{52} - \frac{3}{4} + 1\frac{11}{13})$

23. $\frac{2\frac{1}{3} \times 5\frac{2}{7} \times \frac{3}{37}}{12\frac{1}{4} \times \frac{4}{7}}$

第三學年前

第三學年前

26.

甲乙二人ニテ一事ヲナスニ甲ハ其八分ノ五ヲナシ乙ハ其十二分ノ一ヲナセリ二人總テ何程ヲナセシカ

24. $\frac{2\frac{1}{2}}{1\frac{1}{4} \div 1\frac{7}{8} \div 3\frac{3}{4}}$

25. $\frac{9\frac{1}{2} - \frac{1}{3}}{5\frac{1}{6} + \frac{1}{4}}$

●27. 全校生徒數ヲ
1ト見テ計算ス

27.

或學校ノ生徒數ハ一年生ハ全生徒ノ三分ノ一、
二年生ハ四分ノ一ニシテ残りハ三四年生徒ナリ
ト三四年生何程

28.

石油一罐アリ初メニ其五分ノ二ヲ賣リ次ニ十分
ノ三ヲ賣リ次ニ又十五分ノ一ヲ賣レリ賣高總計
何程ナルカ又残りハ何程

29.

或生徒初メ五圓四分ノ三ヲ貯ヘ次ニ三圓八分ノ
五ヲ貯ヘ其内四圓八分ノ七ヲ費セリ残り何圓
或人十五里九分ノ五ノ地ニ行クニ午前中ニ其三

30.

分ノ二ニ達セリト残り何程

31.

十里十一分ノ四ノ所ヲ行クニ午前ニ其六分ノ二

●31. 六分ノ二ト九
分ノ四ヲ加ヘ其

和ヲ十里ニ乗シ
其積ヲ更ニ十里
ヨリ減シテ残り
リチ得ルハ一箇
又六分ノ二ト九
分ノ四ヲ減シ其
残りヲ十里ニ乗
シテ直チニ残り
數トナストノ二
法アリ

32.

ヲ行キ午後ニ其九分ノ四ヲ行ケリ残り何程
或人金六十五圓ヲ所持シ其十五分ノ一ヲ費セリ
ト其金高何程

33.

人アリ金百圓ヲ所持シ初メ其六分ノ一ヲ費シ又
四分ノ一ヲ費セリ其金高何程

34.

米三石七分ノ三ヲ買ヒ其二十一分ノ五ヲ食ヒタ
リト其高及ヒ残り何程

35.

金十圓三分ノ二アリ之レヲ九人ニ分ケバ一人ノ
取分何程

36.

木綿若干アリ其五分ノ四ハ一丈二尺ナリトイフ
何程ノ木綿アルカ

●38. トハ其間
 題ヨク似タルガ
 如キモ其意味大
 ニ異レハヨク考
 ヘテ間違フコト
 ナカレ

●40. ハ其残リノ
 七、五升等ニ
 對スル分數ノ割
 合ヲ見出スユト
 ニ注意セザル可
 ラス

- 37. 所持金ノ九分ノ二ヲ費セシニ其金高ハ二十圓ナ
 リシトイフ初メノ所持金何程
- 38. 或生徒五十枚ノ書物ノ四分ノ三ヲ讀メリ其讀ミ
 シ枚數何程
- 39. 或生徒書物ノ四分ノ三ヲ讀ミシニ五十枚ナリシ
 トイフ此書物ノ紙數幾枚ナルカ
- 40. 礦石アリ其中二十一分ノ四ハ金ニシテ七分ノ一
 ハ銀其他ハ銅ナリ而シテ銅ノ重サ七匁アリシト
 イフ全量幾何
- 41. 麥一俵ヲ買入レ初メ五分ノ一ヲ出シ次ニ又十分
 ノ七ヲ出シ、ニ尙ホ五升殘レリ一俵ニハ何程ア

第三學年前

第三學年前

●43. ハ殘リノ一尺
 ハ竿ノ全長ヲ一
 個ト見ナセハ分
 數ニテ幾何ニ當
 ルカヲ見出スユ
 ト肝要ナリ

●45. 乙各工ノ一日ノ
 46. ニ於テハ甲

- 42. リシカ
 炭商アリ初メ其三分ノ一ヲ賣リ又二分ノ一ヲ賣
 リシニ初メニ賣リシ俵數ハ後ニ賣リシ俵數ヨリ
 四俵少ナシトイフ最初何程アリシカ
- 43. 竿ヲ水中ニ入ル、ニ最初其五分ノ三ヲ入レ次ニ
 其殘リノ三分ノ二ヲ入レタルニ僅ニ一尺殘レリ
 竿ノ長サ何程
- 44. 絹若干ヲ買入レ其四分ノ三ヲ以テ姉ノ羽織ヲ作
 リ其殘リノ二分ノ一ヲ以テ妹ノ着物ヲ作りシニ
 尙四尺殘レリトイフ初メ何程ヲ買ヒシカ
- 45. 机ヲ作ルニ甲工一人ナレハ三日乙工一人ナレハ

カチ見出スコト
第一ナリ

46.

六日ニ成就ス今二人共ニナセハ何日ニ出來ルカ
甲工一人ナレバ二十五日ヲ費シ乙工一人ナレハ
三十日ヲ費ヤス家アリ今甲乙共ニ働キテ其五分
ノ二ヲ作ルニハ幾日ヲ費ヤスカ

又問フ全部落成セシムルニハ二人ニテ幾日ヲ費
スカ

47.

水槽ニ甲乙兩管アリ甲管ヨリ入ルレバ四時間ニ
満水シ乙管ヲ開キテ水ヲ出セバ五時間ニ全ク空
トナル今同時ニ甲乙二管ヲ開ケバ幾時間ニシテ

満水スルカ
甲乙二童競走セルアリ甲ハ二十五分間ニシテ達

48.

●47. 甲管又ハ乙管
ノ一時間ニ注入
スル分量ヲ見出
スコトニ注意ス
ベシ

49.

シ乙ハ三十三分間ヲ要ス今乙先ニ走リテ五分間
ノ後甲之レヲ追フトキハ幾分ニシテ追ヒツクカ
甲乙二人アリ甲ハ東村ヨリ西村ニ行クニ五時四
十分間ヲ費シ乙ハ西村ヨリ東村ニ行クニ七時間
ヲ要ス今兩人兩方ヨリ出立セハ幾時間ニシテ出
會フカ

50.

林檎七十五個ヲ大中小ノ三籠ニ入ルニ大籠ニハ
其五分ノ二ヲ入レ中籠ニハ三分ノ一ヲ入レ小籠
ニ其残りヲ入レントイフ各籠ニ何個ツ、ヲ入ル
ルカ

51.

一千圓ノ四分七厘ト又五分ノ二トハ其差何程

●51. 以下分數ト小
數トノ混セルモ

ノハ小數ヲ分數ニ換算シテ後ニ行フベシ

52.

五百圓ノ金ヲ三子ニ分配スルニ長子ニハ五分五厘ヲ與ヘ次子ニハ其五分ノ一ヲ與ベ三子ニハ其残りヲ與フ第三子ノ得分何程

53.

酒商アリ初メ其二分五厘ヲ賣リ次ニ又残りノ三分ノ一ヲ賣リシニ尙四石餘レリトイフ最初何程アリシカ

54.

會社アリ資本金一萬五千圓ニテ一期間ニ其利益二分五厘ナリ而シテ利益ノ十五分ノ一ヲ賞與金トス問フ賞與金何程

55.

資本金十萬圓ノ會社ニテ一期ノ利益三分七厘損失二分二厘ナリ而シテ其純益ノ五分ノ一ヲ役員

第三學年前

第三學年前

六人ニ分與セハ一人ノ得分何程

第二編 單比例

第一課 正比例

例、鉛筆五本ノ價二十一錢ナルトキハ同シ鉛筆十五本ノ價何程 答六十三錢

●分數式モ比例式モ其意義ニ於テハ少シモ相異ナシト云フナキモ只其形式ヲ異ニセルノミ而シテ比例式ハ其一種ノ便法ナルニ過ギカルナリ

分數式

$$21 \times \frac{15}{5} = 63$$

比數式

$$5:15 = 21:x$$

運算法

$$x = \frac{15 \times 21}{5} = 63$$

學者便宜ニヨリ
テ其何レニヨル
モ敢テ不可ナシ

●比例問題ヲ解ス
ルニハ先ヅ何故
ニ正比例チナス
カトイフコトヲ
考ヘ後ニ式ヲ作
ルコト肝要ナリ

●名數ハ必ず同種
ノ名數ニアラザ
レバ比チナサズ
假令ヘバ尺トサ
石數ト石數ト尺
於ケルガ如シ

第六 練習問題

1. 米十三石ノ價百六十九圓ナレバ米二十七石ノ價幾何
2. 二十一石ノ價二百七十三圓ノ米八百五十六圓ニテ何石ヲ買ヒ得ルカ
3. 絹二丈八尺ノ價七圓八十四錢ナルトキハ一丈二尺ノ價何程
4. 布一丈八尺ノ價二圓七十錢ナレバ九十錢ニテ何程ヲ買ヒウルカ
5. 絹五端半ヲ以テ木綿二十端ニ代ユ絹二丈七尺五

第三學年前

第三學年前

●8.ノ如ク比ノ何
レカガ分數チナ
ストキハ分數乘
除ノ法ニヨルベ

6. 寸ヲ以テ木綿何尺ニカユルカ
6. 酒七升ノ價二圓六十二錢五厘ナルトキハ一斗八升ノ價何程
7. 氣車ト氣船ノ速力ヲ比スルニ七ト三ナリ今氣船二百十里ヲ行ク間ニ氣車ハ何里ノ陸ヲ走ルカ
8. 書ヲ寫スアリ三日三分ノ一ニ五冊ヲ寫ストキハ三十日ニテハ幾冊ヲ寫スカ
9. 農夫アリ五日間ニ二段五畝歩ヲ耕ス然ラハ二十四日間ニハ何程ヲ耕スカ
10. 二段六畝歩ノ價五十六圓四十錢ノ畑地アリ然ラバ七畝ノ價何程

●反比例ハ正比例
トノ異ナル理
ヲ考フルコト
ヲ肝要トス

例、十四日間ニ毎日二十五人ニテ成ル工事アリ之ヲ
三十五日ニササシニハ毎日幾人ツ、ヲ要スルカ

答、十人

分 數 式

$$25^{\text{人}} \times \frac{14^{\text{日}}}{35^{\text{日}}} = 10^{\text{人}}$$

比 例 式

$$35^{\text{日}} : 14^{\text{日}} = 25^{\text{人}} : x^{\text{人}}$$

運 算 法

$$x = \frac{14 \times 25}{35} = 10^{\text{人}}$$

第七 練習問題

●大工ノ人数減
スレバ却テ多ク

1. 大工十五人ニテ八日間ニナス事ヲ十二人ニテハ

第三學年前

第三學年前

ノ日數ヲ要スル
カ故ニ反比例ヲ
ナス

幾日ヲ要スルカ

2. 奥行三十間間口十七間ノ屋敷アリ今間口十五間
ニシテ同シ面積ノ地ト交換セントス其奥行何間
ナルベキカ
3. 十二人ニテ食セハ七ヶ月食フベキ米ヲ八人ニテ
ハ幾月ニ盡クルヤ
4. 四斗五升入十四俵ヲ以テ四斗二升入ニ入レカユ
レバ幾俵トナルカ
5. 墨三挺ト筆五對ト其價等シ墨一挺ノ價七錢五厘
ナレバ筆一對ノ價何程
6. 工兵九十名四日ニシテナス一工事ヲ三十名ニテ

●4. 四斗五升俵ニ
テ十四俵ノモノ
ヲ四斗二升俵ニ
入レ代ユレバ其
俵數ハ却テ多ク
ナルベキニヨリ
反比例ナリ

●9. 時分チ分ノ單位トナスカ又ハ時ノ分數トナスチ要ス

- 7. 馬四匹ニテ一週間ニ耕ス地ヲ六匹ニテハ幾日ヲ要スルカ
- 8. 六尺ヲ隔テ、八百十本ノ柱ヲ要スルモノヲ五尺四寸ヅ、ノ間隔トスレバ幾本用ユベキカ
- 9. 九人ニテ八時十五分ニ或地ヲナラス今六人ニテハ幾時間ニナラスカ
- 10. 絹三尺ト麻布アサギ十六尺ト價等シ今絹一反ノ價六圓四十錢ナレバ麻布一反ノ價幾何
- 11. 水槽アリ三個ノ管ヨリ注入セバ五時二十四分ニ充ツベシ五個ノ管ニテハ幾時ニ充ツルヤ

第三學年前

第三學年前

●13. 里町チ町ニ下スカ里ノ分數トナスカノ二様アリ

- 12. 甲乙ノ健脚家ケンキョウカアリ甲ハ一日ニ六里ヲユキ乙ハ一日ニ七里ヲユク今甲二十八日間ニ達スル地ハ乙ハ幾日ヲ要スルカ
- 13. 一時間ニ三十四町ヅ、歩メバ二時二十分間ニ達ス今毎時一里三十二町ヅ、ノ速力ニテ歩メバ幾時間ニ達スルカ
- 14. 毎日二圓五十錢ヅ、ノ割ニテ十四日間分ノ費用ヲ一日ニ三圓ヅ、費セバ幾アルカ
- 15. 密柑ミカンアリ之レヲ六人ニ分配スレバ各十二個ヅ、ヲ得ベシ今之レヲ九人ニ等分スレバ各幾個ヅ、ヲ得ルカ

●19. 五月一日ヨリ
六月十一日マデ
ノ日數ヲ數ヘテ
算セ

- 16. 甲乙二人ノ大工アリ其力ハ三ト二ノ如シ甲一人ニテ十日間ニナス業ヲ乙一人ニテハ幾日カ、ルカ
- 17. 甲乙工ノ力ハ三ト二ノ如シ甲一人ナレバ十日ニナス仕事ヲ二人ニテナセバ幾日ニテナシ得ルカ
- 18. 板塀ヲ作ルニ巾九寸ノ板ニテハ三百五十七枚ヲ要ス今八寸四分ノ板ナレバ幾枚ヲ要スルカ
- 19. 毎日米五合ヅ、食ヒテ五月一日ヨリ六月十一日マデアル飯米ヲ毎日六合ヅ、食ヘバ何日マデア
ルカ
- 20. 三人ニテ竹ヲ切ラシムレバ八時四十五分間ヲ要

第三學年前

第三學年前

●正比、反比相混
ズルモノヲ雜題
トス

●2. ハ反比例ナリ
●4. ハ反比例ナリ
後ヨリ來レル援

ス今五人ニテハ幾何ノ時間ヲ要スルカ

第三 單比例雜題

第八 練習問題

- 1. 絹十四端ノ代ハ木綿三十五端ノ代ニ當ルトイフ
木綿二十五端ハ絹幾端ニ相當スルカ
- 2. 馬三十三匹ヲ二十八日間飼フ牧草アリ之レヲ以
テ馬二十一匹ヲ飼ヘバ幾日長ク飼ヒ得ルカ
- 3. 或人十二日間ニ米六升七合二勺ヲ食ス然ルトキ
ハ四十二日間ニハ幾程ヲ食スルカ
- 4. 兵士三百五十人アリテ六十日ノ糧アリ然ルニ今

兵ハ前ノ兵ニ加
フベシ

●5. ハ反比例ナリ
而シテ幾日遅ル
ルカトイフニハ
前ノ日数ト差引
スベシ

援兵百五十人來リ加ハラハ此糧ニテ幾日チサ
ヘ得ルカ

5. 大工十八人ニテ十六日間ニナス事ヲ十二人ニテ
ナセバ幾日遅ル・カ

6. 三十六斤入二十八袋ノ茶チ一袋ニ六斤ヅ・多ク
入ルレバ幾袋トナルカ

7. 職工三日間ノ賃金一圓六十錢ナルトキ一週間働
ケバコレヨリ幾何多ク受取ルベキカ

8. 茶十二斤ノ價一圓五十錢ナレバ更ニ二十八斤チ
増シテ買ヘバ幾圓多ク拂フベキカ

9. 一丈八尺ニツキ七十五錢ノ木綿若干チ四圓五十

錢ニテ買入レバ更ニ幾何長キヤ

10. 甲市ヨリ乙市ニ行クニ毎日十里ヅ・行ケバ九日
間ニテ達ス今若シ二日早ク行カンニハ日々幾里
ヅ・行クベキカ

11. 毎日七時間ヅ・書シテ四十日ニ終ル筆記ヲ毎日
今一時間増セバ幾日早ク出來上ルカ

12. 工夫八人ニテ三日二分ノ一ニナル事ヲ二日三分
ノ一ニテ成スニハ幾人ノ工夫チ増スベキヤ

13. 一俵四斗二升入ノ米千五百俵アリ今之レチ四斗
五升ニ改ムレバ幾俵減スルカ

14. 大工アリ十四圓チ得ントテ五日間働キシニ一圓

●14. 十四圓ヨリ一
圓七十五錢チ引

●12. 八人ヨリ更ニ
増ス人数チ算出
スルコトニ注意
スベシ

●11. ハ幾日早ク出
來ルカノ問ニ注
意スベシ

キ其殘金ト一圓
七十五錢トノ比
ヲ作ルベシ

七十五錢ヲ得タリ此割合ニテ尙幾日働ケバ此殘額ヲモウケ得ルカ

15. 上酒五升ヲ以テ中酒九升ニカユベシ今中酒一升ノ代金四十五錢ナレバ上酒一升ノ價ハ幾程高キカ

16. 男工ノ力ヲ五トセバ女工ノ力ハ三ニ當ル今男工一日ニ二丈ノ布ヲ織ル割合ニテ界女共ニ織レバ一日ニ幾何ヲ織リ得ルカ

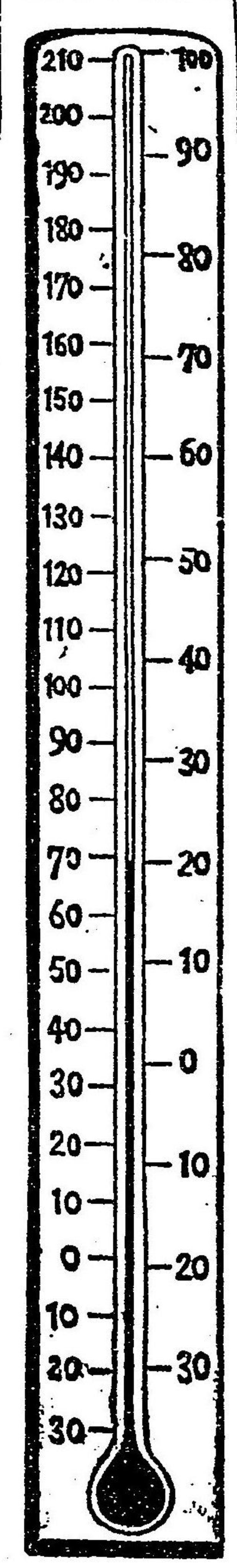
17. 男工ト女工ト各一人ノ力ヲ見出スコトニ注意スベシ
17. 男五人ニテナスコトハ女ハ七人ヲ要ス今女工一人ニテ二十四日間ニナス仕事ヲ男女一人ヅ、共ニ作業セバ幾日間ニナスカ

第三學年前

18. 一箱ノ價七十五錢ノ林檎ヲ一箱ト二百四十個ヲ買フニ一圓二十五錢ヲ要ストイフ問フ其一箱ニハ幾何入ルカ

19. 一箱三十五錢ノ蜜柑ヲ五十錢ニテ買ヒシニ一箱ト四十五個アリタリ此割合ニテ一箱ハ何個入りカ

20. 二「ダース」ノ帽子ノ代金十八圓ナルトキハ三十六個ヲ三十圓ニテ賣レバ其利益何程



●寒暖計ニハ三種アルモ今廣ク世ニ行ハルルモノニ種ヲ上ノ二種ヲ攝氏ト華氏トナリ攝氏ハ沸騰點百度氷點〇度ナリ

21. 攝氏ノ三十五度ヲ華氏ニ改算セヨ

●華氏ハ沸騰點ニ
百十二度ニシテ
氷點ニ三十二度
リ故ニ沸點ト氷
點ノ間ハ即チ三
十二度ヲ減シタ
ル百八十度ナリ

●攝氏ノ兩點間百
度ニ對シテ華氏
ノ百八十度ト比
例スルナリ

●華氏ノ度數ハ常
ニ兩點間ノ度數
ニ氷點下ノ三十
二度ヲ加フベシ

●華氏ノ氷點下即
チ三十二度以下
ハ其度數ヲ三十
二度ヨリ減シ以
テ其度數ト氷點
トノ間ノ度數ヲ
見出シテ後比
マツベシ

22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32.

攝氏ノ四十五度ヲ華氏ニ改算セヨ
攝氏ノ八十五度ヲ華氏ニ改算セヨ
攝氏ノ二十五度ハ華氏ノ幾度ニ當ルカ
華氏ノ四十一度ヲ攝氏ニ改算セヨ
華氏ノ五十九度ハ攝氏ノ幾度ニ當ルカ
華氏ノ九十五度ヲ攝氏ニ改算セヨ
華氏ノ六十八度ヲ攝氏ニ改算セヨ
華氏ノ十四度ハ攝氏ノ氷點下幾度カ
華氏ノ二十三度ハ攝氏ノ氷點下幾度カ
華氏ノ十度四分ハ攝氏ノ氷點下幾度カ
攝氏ノ氷點下十五度ヲ華氏ニ改算セヨ

第三學年前

●攝氏ノ氷點ヲ華
氏ノ度ニナスニ
ハ比例ニヨリテ
出デタル度數ヲ
更ニ三十二度ヨ
リ減シ以テ華氏
ノ度トナスベシ

●複比例ハ單比例
ノ比ヲ増シタル
モノニ過ギズル
複比例ヲ又合率
比例トモ唱フル
コトアリ

33. 34.

攝氏ノ氷點下五度ハ華氏ノ幾度カ
攝氏ノ氷點下十度ハ華氏ノ幾度カ

第三編 複比例

●複比例
二ツ以上ノ比ヲ含メル比例ヲ複比例トイフ之レニ
對シテ唯一ツノ比ヲ含ム比例ヲ單比例トイフナリ
例、大工五人六日間働キテ金二十圓ヲ得タリ然ラバ
六人七日間ニハ幾圓ヲ得ルカ

答二十八圓

人數 $\frac{5}{6}$ 人 日數 $\frac{6}{7}$ 日 金高 $\frac{20}{x}$ 圓
未知數

單比例問題ノ如ク唯人數又ハ日數ノミノ比ヲ以テ金高ヲ求ムルコト能ハズシテ人數ト日數トノ二重ノ比ニヨリテ其金高ヲ求メザル可ラズ故ニ此問題ハ左ノ如ク二ツノ單比例ニ分テ考フルコトヲ得

〔一〕五人ノ大工ガ或日數働キテ二十圓ノ賃金ヲ得タリ六人ガ同シ日數ダケ働ケバ賃金幾何

分數式 $20 \text{圓} \times \frac{6 \text{人}}{5 \text{人}}$

比例式 $5 \text{人} : 6 \text{人} = 20 \text{圓} : x \text{圓}$

而シテ此ハ正比例ナリ

〔二〕或大工ガ六日働キテ二十圓ノ賃金ヲ得タリ七日

働ケバ其賃金幾何

分數式 $20 \text{圓} \times \frac{7 \text{日}}{6 \text{日}}$

比例式 $6 \text{日} : 7 \text{日} = 20 \text{圓} : x \text{圓}$

而シテ此ハ正比例ナリ

此二式ヲ一式ニ組合セバ左ノ如シ

分數式 $20 \text{圓} \times \frac{6 \text{人}}{5 \text{人}} \times \frac{7 \text{日}}{6 \text{日}} = 28 \text{圓}$

比例式 $\left. \begin{array}{l} 5 \text{人} : 6 \text{人} \\ 6 \text{日} : 7 \text{日} \end{array} \right\} = 20 \text{圓} : x \text{圓}$

運算法 $x = \frac{6 \times 7 \times 20}{5 \times 6} = 28$

●複比例ノ正比ト
ハ二式ノ各ガ正
比ヲナスモノヲ
云フ

●複比例問題ヲ解クニハ、モトメントスル所ノ名數ト
同シ名數ニツキ他ノ各組ノ同種ノ名數其モノガコ
レト正比例ヲナスカ又ハ反比例ヲナスカヲ考ヘ分
ケ正比又ハ反比ヲ作りテ運算スベシ

第一課 正比例

●例、或人毎日八時間ヅ、十日間旅行シテ九十六里ノ
地ニ達シタリト云フ今此割合ニテ毎日九時間ヅ
・十五日間旅行セハ幾里ノ地ニ達スルカ
答。百六十二里

第三學年前

第三學年前

●1. 六人ニテ廿七
圓ナレバ廿四人
ナレバ廿七圓ニ
リ大ナル賃金ヲ
要スルガ故ニ正
比例ナリ

◎算術

1. 大工六人ヲ九日間雇ヒ賃金二十七圓ヲ拂ヘリ今
大工十四人ヲ七日間雇ヘバ賃金何程

第九 練習問題

分 數 式

$$96 \text{ 里} \times \frac{9 \text{ 時}}{8 \text{ 時}} \times \frac{15 \text{ 日}}{10 \text{ 日}} = 162 \text{ 里}$$

比 例 式

$$\begin{matrix} \text{(正)} 8 \text{ 時} : 9 \text{ 時} \\ \text{(正)} 10 \text{ 日} : 15 \text{ 日} \end{matrix} \left. \vphantom{\begin{matrix} \text{(正)} 8 \text{ 時} : 9 \text{ 時} \\ \text{(正)} 10 \text{ 日} : 15 \text{ 日} \end{matrix}} \right\} = 96 \text{ 里} : x \text{ 里}$$

運 算 法

$$x = \frac{9 \times 15 \times 96}{8 \times 10} = 162$$

又九日ニテ廿七圓ヲ得レハ七日ニテハ賃錢亦少シ故ニ正比例ヲナスニノ單比例ヲ各正比例ヲナスガ故ニ此複比例ハ正比例ナリ

2. 織女六人ニテ四日間ニ布三十端ヲ織リ織女七人ニテ十六日間ニハ幾何
3. 織女八人十二日ノ賃金三十六圓ナリ然ラバ九十人四日間ノ賃金何程
4. 間口三十六間奥行五十六間ノ畑地アリ其代金四千八百圓ナリトイフ間口四十二間奥行七十二間ノ畑地ノ價何程
5. 或人毎日九時間ヅ、十四日間旅行シテ百八里ノ道ヲ旅行セリ今日々八時間歩ミテ二十一日旅行セバ幾里ノ地ニ達シ得ルカ
6. 寫字ヲナス人毎日八時間ヅ、寫字シ十二日間ニ

第三學年前

第三學年前

7. 三百枚ヲ寫セリ然ラバ毎日七時間ヅ、十日間ニハ何程
7. 五頭ノ馬アリ九十日間ニ秣草七十二束ヲ食フ今十六頭五十日間ノ秣草何程
8. 農夫八人ニテ三日間ニ四町歩ノ草ヲ刈ル今九人四日間ニハ幾何
9. 大工八人ニテ十三日間ニ板三千九百枚ヲ削ル今五人十四日間ニハ幾枚ヲ削ルカ
10. 職工毎日八時間ヅ、働キ十二日ニ賃錢四圓八十錢ヲ得、然ラバ二十日ノ間毎日十二時間ヅ、働ケバ賃錢何程

●11. 四斗五升入ニ
 テ二百十五圓ナ
 レバ五斗入ハ樹
 目ノ大ナルダケ
 價モ大ナル故ニ
 正比例チナス
 五十俵ニテ二百
 五十圓ナレバ十
 八俵ニテハ俵數
 ノ少キダケ價モ
 小ナルガ故ニ正
 比例チナス
 依テ此復比例ハ
 正比例ナリ

- 11. 一俵四斗五升入ノ^{ケンイ}立米五十俵ノ價二百十五圓五
 十錢ナレバ一俵五斗入ノ立米十八俵ノ價何程
- 12. 一俵四貫目入ノ炭十六俵ノ價一圓九十二錢ナレ
 バ一俵十二貫目ノ炭十五俵ノ價何程
- 13. 一家六人ニテ三十五日間ニ白米一斗四升ヲ食フ
 一家五人一ヶ月ニハ白米何程
- 14. 元金百二十五圓ノ一ヶ年ノ利金十圓ヲ得ル割合
 ニテ金五百圓ノ六ヶ月ノ利金幾何
- 15. 二商人アリ會社ヲ設立シ甲ハ毎月二百五十圓ヲ
 八ヶ月間出金シ乙ハ毎月百五十圓ヲ六ヶ月間出
 金シ若干圓ノ利ヲ得タリ之レヲ配分スルニ當リ

第三學年前

第三學年前

●17. 百四十人ニテ
 四十五石五斗ヲ
 要セバ三百十五
 人ニテハ人數ノ
 多キダケ多クノ
 米ヲ要スルガ故
 ニ正比例ナリ
 又五十日ニテ此
 レダケ米ヲ要セ
 バ九十日ニテハ
 尙更ラ多クノ米
 ヲ要ス故ニ亦正
 比例チナスナリ

- 16. テ甲ハ百圓ヲ得タリ乙何程
 アル家ニテ毎夜三個ヅ、ノランプヲ四時間燈ス
 石油代ハ一ヶ月一圓二十二錢四厘ナリトイフ此
 割合ニテ毎夜五個ノランプヲ六時間ヅ、燈ス石
 油代ハ一ヶ月何程
- 17. 乗組員百四十人五十日間ノ航海ニハ米四十五石
 五斗ヲ要ストイフ然ルトキハ乗組員三十五人ニ
 テ三ヶ月ノ航海ニハ何程ノ米ヲ要スルカ
 但シ一ヶ月ハ三十日トス
- 18. 酒五升入三樽ノ代金八圓二十五錢ナリ三升入十
 二樽ノ代幾何

19. 長サ八間横十二間ノ地所代七十六圓八十錢ニテ賣レバ長サ三間横十五間ノ地所ハ何程
20. 十二貫目ノ物ヲ十五里ノ地ニ送ル賃金一圓四十四錢ナルトキハ四貫五百目ノ物ヲ三里ノ地ニ送ル賃金幾何

第二課 反比例

例、工夫二十七人ニテ毎日八時間ヅ、働カバ十六日間ニ成就スル仕事アリ三十二人ニテ九日間ニサシニハ幾時間ヅ、働クベキカ

第三學年前

第三學年前

●1. 六人ニテ十五日ニナル工事ハ十二人ニテ十日ニ成ルケバ人数増セシマテ早ク出来ルナリ

第十 練習問題

1. 六人ノ大工毎日七時間ヅ、働ケバ十五日ニ成ル工事アリ若シ十二人ノ大工毎日十時間ヅ、働ケ

分 數 式

$$8^{\text{時}} \times \frac{27^{\text{人}}}{32^{\text{人}}} \times \frac{16^{\text{日}}}{9^{\text{日}}} = 12^{\text{時}}$$

比 例 式

$$\left. \begin{array}{l} (反) 32^{\text{人}} : 27^{\text{人}} \\ (反) 9^{\text{日}} : 16^{\text{日}} \end{array} \right\} = 8^{\text{時}}$$

運 算 法

$$x = \frac{27 \times 16 \times 8}{32 \times 9} = 12$$

答・十二時間

故ニ反比例ナリ
 七時間働キテ十
 五日ニ出ル事
 ハ毎日十時間
 ツ働ケバ却テ早
 ク出来ルユエ
 ニ亦反比例ナリ
 故ニ此復比ハ反
 比例ナリ

1. バ幾日ニナルカ
2. 石工二十人ニテ毎週五日ヅ、働ケバ六週間ニ出
 來上ル工事アリ之ヲ同シカノ石工五十人ニテ二
 週間ニナスニハ毎週幾日ヅ、働クベキカ
3. 稻ヲ刈ルニ人夫十二人ヲ雇ヒテ毎日九時間ヅ、
 働カシムレバ八日ニ終ル筈ナリ今人夫八人毎日
 十時間ヅ、働ケバ幾日ニ終ルカ
4. 長サ三尺六寸幅二尺八寸ノ壁紙ヲ以テ壁ヲ張ル
 トキハ二千枚ヲ要ス若シ之レニ代フルニ長サ三
 尺二寸幅二尺一寸ノ壁紙ヲ以テセバ幾枚ニテ足
 ルカ

第三學年前

第三學年前

●6. 十八人トテ十五
 人トテ廿五日
 ニ對シテハ反比
 十二時間ト九時
 間トニテ又反比
 ナリ

5. 半紙十二行二十四字詰ノ寫シ物二百七十五枚ア
 リ若シ之ヲ半紙十五行二十二字詰ニ寫シカユレ
 バ幾枚トナルカ
6. 池ヲ堀ルニ人夫十八人毎日十二時間ヅ、働クト
 キハ二十五日ニ成就ストイフ今人夫十五人ナシ
 テ毎日九時間ヅ、働カシムレバ幾日ニナルカ
7. 農夫田ヲ耕スニ七人ニテ毎日八時間ヅ、働クト
 キハ二十四日ニシテ終ルベシ若シ十四人毎日十
 二時間ヅ、働ケバ幾日ニナルカ
8. 日々七時間ヅ、人力車ニ乗り十五日ニ達スル地
 へ日々十時間ヅ、馬車ニ乗りテ行ケバ幾日ニ達

●11. 五千五百人ニテ五合ナレバ四千三百七十五人ニテハ反比例例ニテハ反比例七ヶ月ニテ五合

- スルカ
但シ馬車ノ速力ハ一時間ニ三里人力車ハ其三分ノ二ナリトス
9. 荷物ヲ運ブニ三頭ノ牛ニテ日日十回ヅ、往復スレバ十日間ニ運ヒ盡ス今日々五回ヅ、六日間ニ運ヒ終ラシニハ牛幾頭ヲ要スルカ
10. 米ヲ運フニ、十五人ノ仲仕ニテ毎日七回ヅ、運ベバ六日ヲ要ス更ニ仲仕三人ヲ増シ毎日五回ヅツ運ベバ幾日ヲ要スルカ
11. 四千五百人ノ兵卒毎日一人ニツキ五合ヅ、ノ食料トシテ七ヶ月間支フベキ飯米ヲ四千三百七十

第三學年前
第三學年前

ナレバ九ヶ月ニテハ反比例例依テ本題ハ反比例ナリ

- 五人ノ兵卒ヲ九ヶ月間養ハンニハ毎日一人ノ飯米何程
12. 八人ノ職工アリ一日ノ工賃ヲ二十五錢トシ百八十日間ニ給與スベキ金ヲ以テ一日ノ工賃ヲ二十錢ニ減シ二百日間ノ費用ニアテントス職工幾人ヲ増スベキカ
13. 石垣ヲ築クニ石工十八人毎日十二時間ヅ、働クトキハ二十五日ニシテ成就ストイフ、今十五人ナシテ毎日九時間ヅ、働カシムルトキハ幾日ニシテ成就スベキカ
14. 一升ニツキ十錢五厘ノ上米四十五俵ヲ賣リテ一

●16. 間口十二間ニ
 テノ代金ニテ三
 十二間ノ間口ノ
 地面ヲ買ヒ得ル
 ハ其地坪ノ代價
 ノ安キヲ知ル即
 ナ問ヒノ數大ニ
 シテ其結果小ナ
 ルガ故ニ反比ナ
 ナス
 奥行十八間ノ代
 金ニテ五十四間
 ノ地面ヲ得ラル

- 15. 升ニツキ九錢ノ下米ヲ買フトキハ幾俵ヲ買ヒウ
 ルカ但シ一俵ノ入高上米ハ四斗二升下米ハ四斗
 五升入ナリ
- 16. 米ヲ運フニ二十四輛ノ牛車ニテ毎日七時間ヅ、
 用ユレバ十八日間ニ終ル今二十七輛ノ牛車毎日
 八時間ヅ、用フレバ幾日間ニ終ルカ
- 17. 間口十四間奥行十五間ノ屋敷ヲ一坪十二圓ヅ、
 ニ賣リ其金ヲ以テ縦二十五間横二十一間ノ畑ヲ
 買ヒ得タリ一坪ノ代何程
- 18. 間口十二間奥行十八間ノ屋敷ヲ一坪金四圓ヅ、
 ニ賣リ其金ヲ以テ縦五十四間横三十二間ノ畑ヲ
 買ヒ得タリ一坪ノ代何程

第三學年前

第三學年前

ルハ亦其地坪ノ
 代却テ安キヲ知
 ナル故ニ反比ナ
 ナセリ

- 18. 買ヒ得タリト其畑一坪ノ代幾何
 男工ト女工トノカハ九ト七ノ如シ今男工毎日十
 時間ヅ、働キ六十三日間ニナスベキ仕事ヲ女工
 ガ毎日六時間ヅ、働クトキハ幾日ニ出來ルカ
- 19. 甲乙同シ大イサノ風呂アリ甲ハ長サ六尺幅四尺
 高サ二十三尺ニシテ乙ハ長サ四尺幅三尺ナレバ
 ヲ高サ如何
- 20. 大人ト小人トノカノ比ハ五ト二ノ如シ今大人十
 六人十八日ニ成就スル仕事ヲ小人二十四人ニテ
 ナサシムルトキハ幾日ニシテ成就スルカ

● 雜題ニ於テハ反
正相混スルナリ

第三課 複比例雜題

例、職工八人ニテ十五日間働クトキハ賃金六十圓ヲ得ベシ今十二人ニテ賃金百三十八圓ヲ得ンニハ幾日間働クベキカ
答、二十三日

分 數 式

$$15 \text{日} \times \frac{8 \text{人}}{12 \text{人}} \times \frac{138 \text{圓}}{60 \text{圓}} = 23 \text{日}$$

比 例 式

$$\begin{matrix} \text{(正)} 12 \text{人} : 8 \text{人} \\ \text{(反)} 60 \text{圓} : 138 \text{圓} \end{matrix} = 15 \text{日} : x \text{日}$$

運 算 法

$$x = \frac{8 \times 138 \times 15}{12 \times 60} = 23$$

第三學年前

第三學年前

● 1. 左ノ如ク樹目
ニテ反比ヲナシ
代金ニテ正比ヲ
ナス
四斗二升 反比
五斗 反比
百八十圓 正比
四十圓 正比

● 3. ハ各正比ヲナ
ス即チ左ノ如シ
八升入 正比
廿升五合入 正比
六樽 正比
四樽 正比

第十一 練習問題

1. 一俵四斗二升入ノ麥七十五俵ノ價百八十圓ナリ
トイフ金四十圓ヲ以テ一俵五斗入幾俵ヲ買ヒ得
ルカ
2. 一樽八升入ノ醬油六樽ノ價九圓六十錢ナリトイ
フ金六圓八十錢ヲ以テ一樽八升五合入ノ醬油幾
樽ヲ買ヒ得ルカ
3. 又問フ一樽七升五合入ノ醬油四樽ヲ買フニハ價
幾何ヲ要スルカ
4. 田地二町七段歩ヲ九人ニテ十二日間ニ耕スコト

●5.ハ人数ニ於テ
 正比ヲナシ坪數
 ニ於テ反比ヲナ
 ス
 三十人 反比
 二十五人 反比
 八十坪 正比
 百坪 正比

●7.距離ハ反比ヲ
 ナシ人数ハ正比
 ナス
 三十間 反比
 二十四間 反比
 八人 正比

5. 大工三十人ニテ八十坪ノ家ヲ四十八日間ニ建ツ
 之レト同シ大工二十五人ニテ百坪ノ家ヲ作ルニ
 ハ幾日ヲ要スルカ
6. 旅人アリ五十四里ノ道ヲ毎日十二時間ヅ、歩ミ
 四日ニ行キ盡セリ因テ毎日八時間ヅ、歩ミテ百
 二十六里ノ道ハ何日ニシテ達シ得ルカ
7. 堤ヲ築クニ三十間ヲ距ル地ヨリ土ヲ運ブトキハ
 人夫二人ニテ一日ノ内ニ三坪ノ土ヲ運ビ得ベシ
 今二十四間ヲ距ル地ヨリ人夫八人ニテ土ヲ運ブ

●8.二倍ノ事業ト
 一ツノ事業ト比
 ヲ作ルベシ

●9.力ニ於テ反比
 ナシ工事ノ分
 量ニ於テ正比ヲ
 ナス
 甲ノ力三 反比
 乙ノ力四 反比
 工事三分七 正比
 工事五分五 正比

8. 人夫二十人ヲ用ユルトキハ十二日間ニテ成就ス
 ベキ仕事アリ今二倍スベキ仕事ヲ八日間ニ成就
 セシメンニハ幾人ヲ用ヒテ可ナルカ
9. 甲ト乙トノ力ヲ比スレバ三ト四ノ如シ今乙人ガ
 二十一日間ニテ或工事ノ十二分ノ七ヲナセリ殘
 リヲ甲一人ニテナセバ何日カ、ルカ
10. 農夫六人ニテ野三段六畝歩ヲ八日間ニ開墾ス然
 ラバ十二人ニテ四段五畝歩ヲ開クニハ幾日ヲ要
 スルカ
11. 荷車三輛ニテ三十六俵ヲ八回ニ運ブ今五輛ノ荷

●12. 幅ニ於テ反比
 ナシ價ニ於テ
 正比ナシ
 一尺ニ反比
 一尺ニ反比
 三十六錢
 四十八錢
 正比

12. 車ニテ幾回ニ九十俵ヲ運ビ得ルカ
 ブリキ一尺幅長サ四尺五寸ノ代金三十六錢ナル
 トキ金四十八錢ヲ以テ一尺二寸幅ノブリキ長サ
 幾尺ヲ買ヒ得ルカ

●15. 力ニ於テ反比
 ナシ工事ノ分
 量ニ於テ正比
 ナス

13. 或生徒毎日七時間ヅ、勉強シテ三日間ニ三十五
 枚ノ圖畫ヲ寫セリ此割合ニテ毎日八時間ヅ、勉
 強シテ四十枚ヲ寫スニハ何日ヲ要スルカ
 14. 金百五十圓ヲ八ヶ年間貸シテ十三圓ノ利息ヲ得
 ル割合ニテ利息三十九圓ヲ得ンニハ二百圓ヲ幾
 年貸スベキカ
 15. 甲ト乙トノ力ハ三ト四トノ如シ今二人共同シテ

第三學年前
 第三學年前

甲乙ノ力七三反
 甲ノ力三反
 九分ノ四五正

●17. 三單比例ヲ、
 アツメタルモノ
 ナリ

16. 十二日間ニ一工事ノ九分ノ五ヲナセリ残りヲ甲
 一人ニテナセバ何日ニ成就スルカ
 前題ニテ乙一人ナレバ何日ヲ要スルカ
 17. 甲乙二エアリ甲エハ二十七日間働キテ十三圓五
 十錢ノ賃錢ヲ得タリ今乙エ之レト同額ヲ得ンニ
 ハ幾日働クベキカ

●18. 人数ニテ正比
 ナシ賃錢ニテ
 反比ナシ
 六人ノ正比
 十三人ノ正比
 賃錢
 二反比

18. 但甲乙ノ力ハ甲九日間ニ四端ノ絹ヲ織リ乙ハ
 五日間ニ三端ヲ織ル割合ナリ
 六人ノ旅人二等氣車ニテ六十五哩アル處へ達ス
 ル氣車賃十一圓七十錢ナルトキハ此金ニテ十三
 人ノ旅人三等氣車ニテ何哩ヲ旅行シ得ルカ

但シ賃錢ハ二等
ト三等トノ哩數
ヲ反對ニセシモ
ノ即チ賃錢ノ比
ナリ
瀛車賃ハ双方同
一ナルガ故ニ用
ユルニ及バズ

●20. 里町チ町ノ單
名數トスベシ

但シ二等瀛車二哩ノ賃錢ト三等瀛車三哩ノ賃
錢ト同シ

19. 家族七人ニテ五ヶ月半ニ要スル飯米ハ三石四斗
三升ナリ今若シ三斗五升入四俵ノ米ハ家族五人
ニテ何ヶ月支フルカ

20. 道ヲ修繕スルニ二里十八町チ八十四日間ニ成就
セシコトヲ保ス乃チ工夫六十人チシテ五十四日
間ニ作業セシメシニ僅ニ十八町ノミナリシ由テ
此期限ニ修造セシニハ更ニ幾人チ増スベキヤ

算術科答數及解式

第一 練習問題

1. 答 $\frac{2}{1\frac{1}{3}}$

2. 答 $\frac{1}{5\frac{1}{6}}$

3. 答 $\frac{1}{4\frac{1}{5}}$

4. 答 $2\frac{1}{3} \div 3\frac{1}{4}$

5. 答 $2 - 1\frac{1}{3} \div 6$

6. 答 $\frac{4}{1 + 2\frac{1}{3}}$

7. 答 $\frac{1}{3} + \frac{1}{4} \div \frac{1}{5}$

8. 答 $\frac{1}{5} \div \frac{1}{9} - \frac{1}{14}$

9. 答 $\frac{4}{\frac{1}{5} \times \frac{1}{6}}$